

平成 2 5 年度

事業報告書

決算報告書

綴

自 平成 2 5 年 4 月 1 日

至 平成 2 6 年 3 月 3 1 日

I. 学校法人森ノ宮医療学園 平成 2 5 年度事業報告書.....	1
II. 森ノ宮医療学園専門学校 平成 2 5 年度事業報告書.....	11
III. 森ノ宮医療大学 平成 2 5 年度事業報告書.....	43
IV. 学校法人森ノ宮医療学園附属診療所 平成 2 5 年度事業報告書.....	115
V. 学校法人森ノ宮医療学園出版部 平成 2 5 年度事業報告書.....	119

学校法人森ノ宮医療学園

大阪市東成区中本 4 丁目 1 番 8 号

I. 学校法人森ノ宮医療学園 平成25年度事業報告書

1. 学園の経営課題に対する取り組み

平成25年度、森ノ宮医療学園専門学校においては、文部科学省が本年度新たに制定した「職業実践専門課程」についてその申請を実施し、認可を受けることができた。この職業実践専門課程とは、「職業に必要な実践的かつ専門的な能力を育成することを目的として、専攻分野（本校においては、鍼灸師養成・柔道整復師養成）における実務に関する知識、技術および技能について組織的な教育を行うもの」をいい、文科省の申請にあたって、大阪府からの推薦を受け、それが受理され、平成25年度末に正式に認可に至った。今後高等学校の現場において専門学校の信用性の担保や、厚生労働省の所轄である職業教育訓練給付金の支給に関連してより具体的な意義を持つことが期待される。

森ノ宮医療大学においては、平成19年度の開学から7年が経過し、学校教育法第109条第2項の規程に基づき認証評価機関による認証評価を受けることが義務づけられているが、本学の場合は、その準備を開学以来継続しており、公益財団法人「日本高等教育評価機構」による受審の結果、認証評価機関の定める大学評価基準に「適合」しているとの認定を受けることができた。

大学院保健医療学研究科保健医療学専攻において、新たに看護学専攻を届出で設置する方向を探っていたが、文部科学省から大学設置制度の変更によって認可申請での設置になるとの回答を得、この申請について今後の課題として、申請を延期する決定を行った。

学園としては、中期計画立案の準備として、昨年から実施している専門学校、大学の教職員合同参加による研修を今年度も実施した。その結果、法人本部経営管理室が主体となって、中期計画の策定や人事制度の構築を各事業部署組織体等の現場からのボトムアップで作成し、さらに26年度以降はその計画、実施、チェック、実行のいわゆるPDCAサイクルを回すべく中核施策の策定からそれに基づく主要事業の着手の状況、優先順位等計画を具体的に数値目標まで落とし込み、多くのヒアリングを実施して成果物としてまとめ上げ学園全体でその成果について情報を共有した。今後も継続的に見直しを実施し、より効果的に業務遂行できるように、各部署と連携を図っている。人事制度についても制度設計は完成し、平成26年度からは大学事務局において先行的に試行する計画を持っている。

財務面においては、過去5年間で帰属収入が最大となり、また、消費支出抑制も昨年度の水準以下となったことから、収支差額については、将来を見据えた健全な財政状況であり、適切に学校経営がなされていると思われる。加えて、将来を見据えた、若手教員の採用と組織改編、人事異動など積極的な人事施策をとり、学園全体の質的向上に努めた。

2. 平成25年度の主な事業活動とその動向

1. 平成25年度も継続して専門学校、大学の教職員合同参加による人事考課研修会を実施した。
2. 大学において、体育館西隣に体育館倉庫を新築し、体育館に常置していた器具類を格納することにより、体育館の使用環境を改善することができた。
3. 専門学校の新卒国家試験合格率は「はり師」92.5%（前年度94.2%）、「きゅう師」93.3%（前年度95.0%）、「柔道整復師」90.6%であった。また、大学においては「はり師」91.5%、「きゅう師」93.6%「理学療法士」95.2%であった。
4. 専門学校における就職活動においては、求人数に対して紹介できる就職希望学生が少なく、求人先においても本校学生にとってもできる限りミスマッチの無いような仕組み作りを強化している。大学においても、鍼灸学科、理学療法学科、大学院保健医療学研究科の就職するすべての学生は、就職が実現できた。また、看護学科は最終学年がいないことから、就職の実績はこれからだが、すでに多くの求人を医療機関からいただいております。きめ細かく指導していく体制を構築している。
5. 奨学金関係については、本学園独自の奨学学費ローンの紹介の徹底をはかることにより、利用者も大きく増加した。
6. 大学においては、昨年度同様、看護学科を中心とする「地域子育て支援もりもりクラブ」の開催をはじめとして、本学専任教員及び包括提携している病院からの講師の参画も得て、「市民公開講座」を積極的に開催し、多くの市民からの参加があったとともにこのことについて認証評価機関の（公財）日本高等教育評価機構の評価員による意実地調査時に規模が小さく開学間もない新設大学にもかかわらず積極的に展開し活動している事実について高い評価を得ることができた。さらに、学外のイベント（みどりウォーキング、御堂筋 kappo、ティール&ホワイトトリボンディ、ヘルスジャンボリー等々）にも積極参画し、社会貢献の活動をよりいっそう活発化した。
7. 大学において、「学習支援センター」を本格稼働させて、学習相談の学習指導を本格化させた他、平成24年3月末に大学においては三省堂書店の協力により売店が設置でき、教材の購入をはじめ、多くの学生や教職員の利便性を向上させることができた。
8. 研究活動においては、外部科学研究費の助成を継続して獲得した。
9. 学園附属診療所のみどりの風クリニックにおいては、内科・整形外科とも患者数を前年比104.2%に増加させることができ、みどりの風鍼灸院においても患者数は前年度を上回り、結果として収入も増加した。

3. 森ノ宮医療学園の沿革

昭和48年(1973)	3月	厚生省より鍼灸師養成施設の認可を受ける
	4月	大阪鍼灸専門学校開校
昭和52年(1977)	4月	学校法人「森ノ宮学園」となり、あわせて専修学校医療専門課程となる
昭和57年(1982)	4月	附属診療所、附属鍼灸施術所落成
昭和60年(1985)	4月	卒業教育雑誌「鍼灸 OSAKA」創刊
昭和63年(1988)	5月	鍼灸師養成に関わる法律により修業年限3年となる
	11月	中国、大連市中医医院と学術研究提携を結ぶ
平成3年(1991)	7月	米国、Santa Barbara College of Oriental Medicine と教育提携を結ぶ
平成4年(1992)	7月	中国、南京中医薬大学と学術研究提携を結ぶ
平成7年(1995)	3月	この年の卒業生から文部省告示による専門士(医療専門課程)の称号を授与
平成8年(1996)	6月	中国江蘇省陰市中医医院と交流開始
平成12年(2000)	4月	柔道整復学科開設、法人名を学校法人森ノ宮医療学園、学校名を森ノ宮医療学園専門学校と改称
平成13年(2001)	1月	本校舎増改築工事完成
		はりきゅうミュージアム開設
平成14年(2002)	1月	はりきゅうミュージアムにて代田文誌特別展開催
	4月	緑橋校舎増設
平成15年(2003)	3月	柔道整復学科第1期生卒業
		創立30周年記念式典
		校歌「みどりの風」制定
	4月	全日制アドバンスコース開講
	7月	アネックス校舎(第1期)完成
平成16年(2004)	3月	中国江蘇省江陰市中医医院と学術・教育協定締結
平成17年(2005)	2月	医療法人淳良会関目病院と教育提携を結ぶ
平成19年(2007)	4月	森ノ宮医療大学開学
平成20年(2008)	2月	第1回おおさか優良緑化賞・大阪府知事賞受賞
	11月	森ノ宮医療大学コスモキャンパス第2校地取得
平成21年(2009)	4月	森ノ宮医療大学 AMRI 医療センター(アムリクリニック、アムリ鍼灸院)開院
平成22年(2010)	1月	森ノ宮医療学園附属みどりの風クリニック、みどりの風鍼灸院開院
	3月	森ノ宮医療学園アネックス校舎完成
	6月	森ノ宮医療大学メディカフェオープン
平成23年(2011)	4月	森ノ宮医療大学看護学科設置
		森ノ宮医療大学大学院修士課程保健医療学研究科設置
平成24年(2012)	2月	森ノ宮医療大学鍼灸学科スポーツ特修コース設置認可
平成25年(2013)	3月	森ノ宮医療大学 公益財団法人日本高等教育評価機構による機関別認証評価受審の結果、「適合」との判定
		森ノ宮医療学園専門学校 文部科学大臣より「職業実践専門課程」の認定

4. 森ノ宮医療学園の概要（平成26年4月1日現在）

1. 設置する学校

法人の 名称		学校法人森ノ宮医療学園		事務所の 所在地		大阪府大阪市東成区 中本4丁目1番8号	
設置する学校	学校名	学部・学科名等	修業 年限	入学 定員	編入 学定員	収容 定員	備考
	森ノ宮医療大学	大学院保健医療学研究科 保健医療学専攻（修士課程）	2	6	0	12	開設年度 平成23年
		保健医療学部鍼灸学科	4	60	0	240	開設年度 平成19年
		保健医療学部理学療法学科	4	60	0	240	
	森ノ宮医療学園専門学校	保健医療学部看護学科	4	80	0	320	開設年度 平成23年
		医療専門課程 鍼灸学科	3	180	0	540	開設年度 昭和48年
		医療専門課程 柔道整復 学科	3	180	0	540	開設年度 平成12年

2. 役員の名

役員	氏名	役員就任	寄附行為上の 選任区分	備考
理事長	清水尚道	平成22年11月	7-1-2	
理事	安雲和四郎	平成9年5月	7-1-1	森ノ宮医療学園専門学校校長
理事	荻原俊男	平成23年4月	7-1-1	森ノ宮医療大学学長
理事	安田実	平成11年5月	7-1-3	
理事	三木完二	平成9年5月	7-1-2	
理事	花谷幸比古	平成9年5月	7-1-2	
理事	中田敬吾	平成14年5月	7-1-3	
理事	尾崎朋文	平成25年4月	7-1-3	
理事	森優也	平成25年4月	7-1-2	
理事	小島賢久	平成25年4月	7-1-2	
理事	吉川徹	平成25年7月	7-1-3	
監事	日根野文三	平成11年5月		
監事	小林由幸	平成14年10月		

3. 校地・校舎の概要

学校名(所在地)	校地現有面積	校舎現有面積	備考
森ノ宮医療大学・ 大学院 (大阪市住之江区南港北 1丁目39番1号)	15,995.24 ㎡	7,209.83 (東校舎) ㎡	学生食堂は平成22年6月完成。(676.67㎡) 西(看護学棟)校舎は平成23年3月完成。(4,566.38㎡) なお、校舎面積 7,209.83㎡は大学設置認可申請書の「基本計画書」の校舎面積に加えて基準外の体育館面積433.50㎡を含む。
		676.67 (学生食堂)	
		4,566.38 (西[看護学棟]校舎)	
森ノ宮医療大学 (大阪市東成区中本2丁目5番41号)	1,329.40	198.76 (森ノ宮校舎)	(森ノ宮校舎)
森ノ宮医療大学 計	17,324.64	12,651.64	
森ノ宮医療学園専門学校 (大阪市東成区中本4丁目1番8号)	1,560.22	5,253.67 (本校舎)	
森ノ宮医療学園専門学校 (大阪市東成区中本3丁目15番11号)	530.56	936.74 (緑橋校舎)	
森ノ宮医療学園専門学校 計	2,090.78	7,445.84	アネックス校舎
(大学+専門学校) 合計	19,415.42	20,097.48	

5. 法人全体の決算概要

●正味資産の推移

(単位: 円)

	平成25年度	平成24年度	平成23年度	平成22年度	平成21年度	平成20年度
正味資産 (総資産-負債)	11,609,419,426	11,020,929,740	10,566,142,850	9,985,113,494	9,493,711,390	8,972,215,386
資産増加額	588,489,686	454,786,890	581,029,356	491,402,104	521,496,004	1,052,092,549

●平成25年度決算概要

(単位: 円)

No.		平成25年度	平成24年度	平成23年度	平成22年度	平成21年度	説明
1	帰属収入	2,842,770,824	2,735,524,015	2,637,110,025	2,462,253,774	2,267,298,934	消費収支(単年度) の収入合計
2	消費支出	2,254,081,168	2,280,737,125	2,056,080,669	1,970,851,670	1,745,802,930	消費収支(単年度) の支出合計
3	帰属収支差額	588,689,656	454,786,890	581,029,356	491,402,104	521,496,004	1-2
4	基本金組入	△ 92,940,851	△ 27,005,220	△ 132,386,708	△ 1,309,217,641	△ 477,914,987	将来存続に向けての 最低限の設備など備え
5	差引収入超過	495,748,805	427,781,670	448,642,648	△ 817,815,537	43,581,017	3+4
6	前年度繰越収入 超過額	616,848,297	183,778,597	△ 264,864,051	503,797,148	460,216,131	差引収入超過額の 累計額(支出超過は△)
7	基本金取崩	0	5,288,030	0	49,154,338	0	
8	翌年度繰越収入 超過額	1,112,597,102	616,848,297	183,778,597	△ 264,864,051	503,797,148	5+6+7

6. 森ノ宮医療学園の主な加盟団体一覧

	加盟団体		主管部署	備考
1	公益社団法人 私学経営研究会	法	本部人事室	学校関係
2	NPO法人 学校経理研究会	法	本部経営管理室	
3	全国専修学校各種学校総連合会	専	事務局	
4	社団法人 大阪府専修学校各種学校連合会	専	事務局	
5	公益財団法人 日本高等教育評価機構	大	総務室	
6	都市圏高等教育懇談会	大	総務室	
7	日本私立大学協会	大	総務室	
8	日本私立大学協会関西支部	大	総務室	
9	西日本私立大学振興協議会	大	経営企画室	
10	大阪府私立大学連絡会	大	総務室	
11	特定非営利活動法人 大学コンソーシアム大阪	大	教務室 5	
12	関西地区 FD 連絡協議会	大	経営企画室	
13	関西学生就職指導研究会	大	学生支援室	
14	日本アロマコーディネーター協会	専	事務局	
15	公益社団法人 東洋療法学校協会	専	鍼灸学科	鍼灸関係
16	公益社団法人 全日本鍼灸学会	共/大関	鍼灸学科	
17	一般社団法人 メディカル・フィットネス協会	大	鍼灸学科	理学療法 関係
18	一般社団法人 全国リハビリテーション学校協議会	大	理学療法学科	
19	一般社団法人 近畿リハビリテーション学校協議会	大	理学療法学科	
20	一般社団法人 日本私立看護系大学協議会	大	看護学科	看護関係
21	一般社団法人 日本看護系大学協議会	大	看護学科	
22	公益社団法人 全国助産師教育協議会	大	看護学科	
23	一般社団法人 全国保健師教育機関協議会	大	看護学科	
24	公益社団法人 全国柔道整復学校協会	専/大関	柔道整復学科	柔道整復 関係
25	公益社団法人 日本柔道整復接骨医学会	専	柔道整復学科	
26	私立大学図書館協会	大	図書館	図書館 関係
27	日本看護図書館協会	大	図書館	
28	一般社団法人 日本温泉気候物理学会	大	図書館	
29	一般社団法人 日本東洋医学会	大	図書館	
30	社団法人大阪市防火管理協会	専	事務局	広報関係 地域関連
31	東成防火協力会	専	事務局	
32	中本連合中本第一町会	専	事務局	
33	コスモスクエア地区開発協議会	大	経営企画室	
34	公益社団法人 日本医師会	法	附属診療所	診療所 関係
35	一般社団法人 大阪府医師会	法	附属診療所	
36	一般社団法人 東成区医師会	法	附属診療所	

7. 職員数について

●職員数(専門学校)

平成25年4月1日現在			
雇用形態	雇用形態	雇用形態	雇用形態
教員	33	63	96
職員	22	3	25
診療所職員	15	0	15
合計	70	66	136

●職員数(大学)

平成25年4月1日現在			
雇用形態	専任	兼任(またはパート)	合計
教員	76	130	206
職員	26	4	30
合計	102	134	236

8. 専門学校および大学のシステム情報系について

1. 学生用パソコンについて

① 専門学校

用途	設置場所	台数
インターネット閲覧	2階3階	9台
学内貸し出し用	教職員室	4台
図書館蔵書検索用	図書館	2台
求人検索用	2階受付前	2台
講義用（H22年度導入）	106教室	35台

② 大学

H25年度東棟401教室のパソコンを買い替えました。西棟633教室に30台追加設置しました。

用途	設置場所	台数
インターネット閲覧、レポート作成	閲覧室	45台
学生貸し出し用	図書館	10台
図書館蔵書検索用	図書館	2台
講義用	401教室	72台
講義用	633教室	30台
求人検索用	学生相談室	2台

2. 学生用無線LANアクセスポイントについて

学生対象に無線アクセスポイントを解放している。

① 専門学校

用途	設置場所	台数
インターネット閲覧	1.3.5階共用部	3台

② 大学

H25年度西棟1階共用部にアクセスポイントを追加設置しました。

用途	設置場所	台数
インターネット閲覧	東・西棟1階共用部	2台

Ⅱ. 森ノ宮医療学園専門学校 平成25年度事業報告書

平成25年度は、文部科学省が新設した、実践的で高度な職業教育を行う専修学校の課程「職業実践専門課程」の申請を行った結果、申請が受理され、年度末に認定された。ここ数年、内部業務の整備を推進し、特に平成25年度についてはより具体性を持つに至った経緯がある。そのタイミングで新設された新課程であったので、本校にとっては願ってもない良い機会でもあった。

本校においては、内部のインフラを整備し、外部に向けて開示することで、他校との優位性を見出して安定した経営基盤を構築していくことが急務であり、その意味においてはある程度の当初目的は達成できたと考えている。

今後は、内部整備をより一層推進しつつ、外部からの評価を真摯に受け止め、改善するところは改善し、伝統を守っていくことに注力していきたい。そのためにも、ヒト・モノ・カネの人財（ヒト）の部分をより強化していく必要があり、「人事考課研修会」など、次年度につながるような研修会を全員参加で実施することができた。クレドを制定し、各人が行動規範として明確化したことは、初年度としても良い傾向であったと考える。

但し、その反面、新入生募集においては、開学以来最悪の状況であったことは否めない。平成26年度においては、引き続き全員募集で体制を整え、考えていく必要がある。経営の根幹に関わる学生確保において大きな課題を残す年になった。

1. 実施行事の報告

月	日	曜日	行事
4	3	水	平成25年度入学式（アネックス校舎）、新入生オリエンテーション（～5日）
	6	土	少年柔道教室
	8	月	森ノ宮手技療法研究会
	13	土	少年柔道教室、森ノ宮柔道整復研究会
	14	日	大阪府鍼灸師会、合気道勉強会、日本臨床鍼灸懇話会
	20	土	古典鍼灸勉強会、少年柔道教室、アロマ講座、スポーツ医学研究会
	21	日	医鍼会、経絡治療クラブ、東洋はり医学会、大師流小児鍼講演会
	27	土	少年柔道教室、アロマ講座、38期昼間部勉強会
	28	日	全国鍼灸マッサージ師協会、実践臨床講習会、医鍼会、中華伝承医学 関西漢方苞徳塾、ライフステージ
	29	月	身体構造研究会
5	2	木	創立記念日の代休(3/1)
	11	土	少年柔道教室、アロマ講座
	12	日	オープンキャンパス・入試、大阪府東洋療法協同組合、大阪府鍼灸師会 臨床家育成会、日本臨床鍼灸懇話会、運動器疾患柔道整復研究会
	18	土	日本コアコンディショニング協会、森ノ宮古典研究会、アロマ講座
	19	日	森ノ宮柔道整復学術集会、医鍼会、経絡治療クラブ、東洋はり医学会 日本コアコンディショニング協会、厚生労働省研究事業、校友会代議員会
	25	土	体育実習 グリンピア三木にて（鍼灸学科）（～26日） 少年柔道教室、アロマ講座
	26	日	新入生歓迎会、森ノ宮手技療法研究会、身体構造研究会、医鍼会 関西漢方苞徳塾
	28	火	理事会・評議員会（専門学校にて）
	30	木	中医研
	6	1	土

- 2 日 オープンキャンパス・入試・A0入試
- 6 木 中医研
- 7 金 全日本鍼灸学会学術大会・福岡にて(～9日)
- 8 土 少年柔道教室、アロマ講座、メディカル野球教室(市民公開講座)
- 9 日 臨床家育成会、実践臨床講習会
- 13 木 中医研
- 15 土 大阪成蹊女子高校体験授業、少年柔道教室、アロマ講座
柔道整復師専科教員認定講習会(～16日)
- 16 日 オープンキャンパス・入試・A0入試
指定校推薦入試、アメリカ研修(柔道整復学科2年アドバンスコース)(～28日)
医鍼会、経絡治療クラブ、東洋はり医学会、厚生労働省研究事業
- 19 水 市民公開ツボ講座
- 20 木 中医研
- 21 金 アロマ市民公開講座
- 22 土 大阪成蹊女子高校体験授業、日本コアコンディショニング協会
柔道整復師専科教員認定講習会(～23日)、少年柔道教室
- 23 日 身体構造研究会、医鍼会、日本コアコンディショニング協会、関西漢方苞徳塾
- 27 木 中医研
- 29 土 大阪成蹊女子高校クリニック見学・体験授業、少年柔道教室
- 30 日 臨床リハビリテーション研究会、日本臨床鍼灸懇話会
- 7 4 木 中医研
- 6 土 少年柔道教室
- 7 日 オープンキャンパス・入試・A0入試
- 11 木 中医研
- 13 土 柔道整復師専科教員認定講習会(～15日)、少年柔道教室
- 14 日 臨床家育成会、東洋はり医学会、子どもの健康サークル
- 15 月 TPTセミナー
- 16 火 経絡治療クラブ、学内推薦入試(～19日)
- 17 水 市民公開ツボ講座
- 18 木 中医研、TPTセミナー
- 19 金 アロマ市民公開講座、市民公開ツボ講座
- 20 土 森ノ宮古典研究会、TPTセミナー、少年柔道教室
- 21 日 オープンキャンパス・入試・A0入試、スポーツ医学研究会、医鍼会
経絡治療クラブ、超音波機能解剖学研究会、身体構造研究会
厚生労働省研究事業、スポーツセミナー(市民公開講座)
- 23 火 理事会(大学にて)
- 25 木 中医研
- 27 土 少年柔道教室、森ノ宮柔道整復研究会
- 28 日 医鍼会、関西漢方苞徳塾、日本臨床鍼灸懇話会
- 30 火 サマーフェスタ(～8/1)、経絡治療クラブ(～31日)
- 8 1 木 中医研
- 3 土 スポーツセミナー(市民公開講座)
- 4 日 オープンキャンパス・入試・A0入試、大師流関西小児はりの会、日本刺絡学会
- 8 木 中医研、フェルデンクライス(～25日)
- 10 土 スポーツ医学研究会
- 11 日 大阪府鍼灸師会
- 14 水 夏季休暇(～18日)
- 18 日 オープンキャンパス・入試・A0入試、指定校推薦入試
サロンマネージメントメソッド
- 20 火 大学・専修学校等オープン講座(～21日)、経絡治療クラブ
- 21 水 市民公開ツボ講座、経絡治療クラブ

	22	木	中医研
	25	日	森ノ宮手技療法研究会、北辰会夏期研修会、身体構造研究会 日本陸連セミナー、中華伝承医学会
	26	月	太極拳部
	29	木	中医研
9	1	日	スペシャルオープンキャンパス(室伏由佳さん特別講演&トークショー) 日本刺絡学会講習会
	5	木	中医研
	7	土	柔道整復師専科教員認定講習会(~8日)、アロマ講座、少年柔道教室
	12	木	中医研
	14	土	日本鍼灸師会、少年柔道教室、アロマ講座、森ノ宮柔道整復研究会
	15	日	医鍼会、経絡治療クラブ、東洋はり医学会、日本鍼灸師会 サロンマネージメントメソッド、身体構造研究会
	16	月	オープンキャンパス・入試・A0入試、日本鍼灸師会
	18	水	市民公開ツボ講座
	19	木	中医研
	21	土	森ノ宮古典研究会、アロマ講座、少年柔道教室
	22	日	医鍼会、関西漢方苞徳塾、中華伝承医学会、大阪府東洋療法協同組合
	24	火	理事会(大学にて)
	26	木	中医研
	28	土	アロマ講座、少年柔道教室
	29	日	大阪府東洋療法協同組合、日本臨床鍼灸懇話会
10	3	木	中医研
	5	土	少年柔道教室、子どもの健康サークル、アロマ講座
	6	日	オープンキャンパス・入試・A0入試、指定校推薦入試、就職相談会、医鍼会 日本刺絡学会講習会
	10	木	中医研
	12	土	アロマ講座、少年柔道教室
	13	日	身体構造研究会、ライフステージ、厚生労働省セルフ体験プログラム アロマ講座、経絡治療クラブ
	14	月	徒手医療手技セミナー
	16	水	モーニング入試、ナイター入試
	17	木	中医研
	19	土	日本臨床鍼灸懇話会学術大会(~20日)、アロマ講座、少年柔道教室
	20	日	医鍼会、経絡治療クラブ、東洋はり医学会、森ノ宮手技療法研究会
	22	火	理事会(大学にて)
	23	水	市民公開ツボ講座
	24	木	介護労働安定センター、中医研
	26	土	アロマ講座、少年柔道教室、森ノ宮柔道整復研究会
	27	日	サロンマネージメントメソッド
	31	木	中医研
11	2	土	文化祭、学生・教職員大阪市クリーンアップ作戦(森ノ宮駅前、緑橋駅前、通学 路の清掃)、文化祭見学会(受験生対象)
	3	日	オープンキャンパス・入試・A0入試、医鍼会
	4	月	大阪府鍼灸マッサージ師会
	7	木	中医研
	9	土	アロマ講座
	10	日	財団実技審査(柔道整復学科3年)
	14	木	中医研
	15	金	市民公開アロマ講座
	16	土	森ノ宮古典研究会

	17	日	オフィスセラピー協会、医鍼会、経絡治療クラブ、東洋はり医学会 日本刺絡学会講習会、日本臨床鍼灸懇話会
	20	水	市民公開ツボ講座、モーニング入試、ナイター入試
	21	木	中医研
	23	土	身体構造研究会
	26	火	理事会・評議員会
	28	木	中医研
	30	土	東洋療法学校協会実技審査(鍼灸学科3年)、訪問リハビリテーション研修会 森ノ宮手技療法研究会、少年柔道教室
12	1	日	全日本民医連鍼灸マッサージ委員会 経絡治療学会森ノ宮研究会、美容セミナー 訪問リハビリテーション研修会
	5	木	中医研
	7	土	アロマ講座、少年柔道教室
	8	日	オープンキャンパス・入試・A0入試、大阪府鍼灸師会、実践臨床講習会 トレーナーセミナー、奨学金返還説明会
	9	月	学内推薦入試(～13日)
	12	木	袴展示会、中医研
	14	土	少年柔道教室、スポーツ医学研究会、ウェルエイジング市民公開講座
	15	日	入試、東洋はり医学会、手技療法研究会、日本臨床鍼灸懇話会、プレスクール
	18	水	モーニング入試・ナイター入試、市民公開ツボ講座
	20	金	理事会(大学にて)
	21	土	少年柔道教室
	22	日	中華伝承医学会、関西漢法苞徳塾、森ノ宮手技療法研究会、身体構造研究会 スポーツセミナー(市民公開講座)
	23	月	三旗塾大阪クラブ
	29	日	冬期休暇(～1/3)
1	11	土	少年柔道教室
	12	日	オープンキャンパス・入試・A0入試、大阪府鍼灸師会、経絡治療クラブ 第1回琉球古武術、流焔会大阪セミナー
	18	土	徳洲会病院発表会、森ノ宮古典研究会、少年柔道教室、森ノ宮柔道整復研究会
	19	日	医鍼会、東洋はり医学会、手技療法研究会、セネファお灸講座 日本臨床鍼灸懇話会、トレーナーセミナー
	22	水	モーニング入試・ナイター入試、袴展示会(～23日)
	25	土	日本コアコンディショニング協会(～26日)
	26	日	入試、新入生入学前教育(プレスクールデー)、医鍼会、関西漢法苞徳塾 中華伝承医学会、卒業生研修会、事業協同組合全国鍼灸マッサージ師会
2	1	土	アロマ講座、少年柔道教室
	4	火	献血(日本赤十字)
	8	土	少年柔道教室
	9	日	オープンキャンパス・入試・A0入試、大阪府鍼灸師会、at easeセミナー アロマ講座
	11	火	トレーナーセミナー
	15	土	少年柔道教室
	16	日	医鍼会、東洋はり医学会、身体構造研究会、日本臨床鍼灸懇話会 セイリンセミナー
	19	水	モーニング入試・ナイター入試
	21	金	ウェルエイジング市民公開講座
	22	土	日本コアコンディショニング協会(～23日)、森ノ宮柔道整復研究会
	23	日	鍼灸オープンキャンパス・入試、医鍼会、第22回はり師・きゅう師国家試験 関西漢方苞徳塾、中華伝承医学会

- | | | |
|----|---|---|
| 25 | 火 | 理事会（大学にて） |
| 3 | 1 | 土 少年柔道教室 |
| | 2 | 日 第22回柔道整復師国家試験、柔道整復学科オープンキャンパス、AO入試 |
| | 3 | 月 学内推薦入試（～7日） |
| | 8 | 土 少年柔道教室 |
| | 9 | 日 第39回卒業式式典（ホテル大阪ベイタワー） |
| 15 | 土 | 森ノ宮古典研究会、少年柔道教室、ウェルエイジング市民公開講座
オフィスセラピー協会 |
| 16 | 日 | 入試、医鍼会、東洋はり医学会、森ノ宮手技療法研究会、身体構造研究会
耳介療法セミナー |
| 18 | 火 | 就職開業支援講座「スプリングフェスタ」（～20日）、理事会（大学にて） |
| 21 | 金 | 関西杖道連盟 |
| 22 | 土 | 春のオープンキャンパス、少年柔道教室 |
| 23 | 日 | 医鍼会、関西漢方苞徳塾、中華伝承医学会、大阪府東洋療法協同組合
セネファお灸講座、琉球古武術大阪セミナー |
| 25 | 火 | 理事会・評議員会（専門学校にて） |
| 29 | 土 | 運動生体医学研究会、少年柔道教室 |
| 30 | 日 | 大阪府東洋療法協同組合、医鍼会、セイリンセミナー |

2. 専門学校 の 在籍 学生 数 と 学生 動 向 に つ い て

● 専門学校 の 在籍 学生 数

(単位:名)

平成26年 4月1日現在		1年			2年			3年			合計		
		在籍	(留年)	(休学)	在籍	(留年)	(休学)	在籍	(留年)	(休学)	在籍	(留年)	(休学)
鍼灸学科	昼	70	0	0	94	6	2	118	10	1	282	16	3
	夜	32	2	1	36	2	0	43	6	1	111	10	2
柔道整復 学科	昼	79	4	0	82	8	2	85	10	0	246	22	2
	夜	15	0	0	47	6	2	66	11	0	128	17	2
合計		196	6	1	259	22	6	312	37	2	767	65	9

* 留年および休学は在籍者数の内数

(単位:名)

平成25年 4月1日現在		1年			2年			3年			合計		
		在籍	(留年)	(休学)	在籍	(留年)	(休学)	在籍	(留年)	(休学)	在籍	(留年)	(休学)
鍼灸学科	昼	93	1	0	120	3	2	89	2	1	302	6	3
	夜	39	4	3	44	3	2	50	6	1	133	13	6
柔道整復 学科	昼	89	2	0	94	5	1	88	12	0	271	19	1
	夜	47	1	0	66	7	4	60	6	0	173	14	4
合計		268	8	3	324	18	9	287	26	2	879	52	14

* 留年および休学は在籍者数の内数

(単位:名)

平成24年 4月1日現在		1年			2年			3年			合計		
		在籍	(留年)	(休学)	在籍	(留年)	(休学)	在籍	(留年)	(休学)	在籍	(留年)	(休学)
鍼灸学科	昼	129	7	1	90	1	1	90	6	2	309	14	4
	夜	52	1	1	49	1	0	54	9	0	155	11	1
柔道整復 学科	昼	111	5	0	88	10	1	78	9	2	277	24	3
	夜	64	1	1	62	1	4	65	12	0	191	14	5
合計		356	144	3	289	13	6	287	36	4	932	63	13

* 留年および休学は在籍者数の内数

● 専門学校 の 年 度 別 退 学 者 数

(単位:名)

年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
退学者数	26	42	42	50	47
退学者比率	2.8%	4.6%	4.7%	5.4%	5.3%
在学生数	928	905	898	932	879

3. 専門学校の入試について

●森ノ宮医療学園専門学校 志願者数の推移

入学年度			H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26
学科	部	定員	志願者	志願者	志願者	志願者	志願者	志願者	志願者	志願者	志願者	志願者
鍼灸	午前	30	—	—	—	—	—	—	64	74	62	39
	ア(医療)	30	42	27	33	31	35	33	13	19	11	5
	昼	60	135	149	106	112	101	89	53	51	41	33
	夜	90	51	59	49	52	69	39	53	52	44	33
	未定	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
柔整	ア	30	41	35	31	23	22	22	30	44	43	28
	昼	60	229	189	143	115	96	90	87	96	69	58
	夜	90	103	74	71	54	57	54	68	69	60	25
	未定	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
合計		390	601	533	433	387	380	327	368	405	330	221

4. 専門学校入試事務室の事項について

専門学校募集状況について

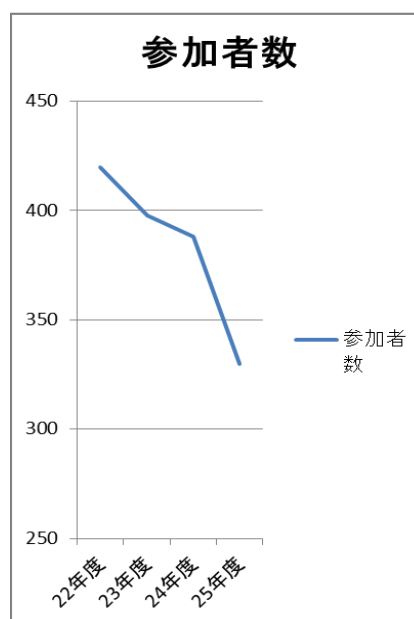
平成 25 年度（26 年度入学）の総受験者数は 221 名であった。平成 24 年度（25 年度入学）の総受験者数は 330 名、平成 23 年度（24 年度入学）総受験者数 405 名。総受験者数を大幅に減少した 24 年度 330 名よりも落ち込み、入学目標 300 名にも及ばない受験者数となった。

入試区分の比重として、A0 入試の受験者が全体の 65%を占めているのは、これまでの流れとしてみても年々増加傾向にある。

今年度のオープンキャンパス参加者数は 330 名、昨年度のオープンキャンパス参加者数は 388 名、参加者数自体減少しているが、昨年度からの傾向として、歩留まり率が大幅に低下している。

前年度の報告で「従来の人気コースであった昼間コースへの入学希望者数が大幅に減少している結果となった。」としていたが、今年度の夜間コースの落ち込みはそれ以上であった。次年度以降の対策としては、夜間コースの入学率アップが課題であり、夜間コースが集まれば必然的に午前、午後も充足率は高まるのでは、と考える。

オープンキャンパス



合格者数 前年度対比

		H26年度	H25年度	H24年度
		入学者数	入学者数	入学者数
鍼灸学科	医療資格	5	9	17
	午前	37	54	60
	昼間	31	29	43
	夜間	31	35	50
	小計	104	127	170
柔整学科	アドバンス	25	32	36
	昼間	54	54	63
	夜間	21	46	61
	小計	100	132	160
合計		204	259	330

また、今年度途中からではあったが、卒業生・在校生紹介による入学者に対して「入学金減免制度（入学金半額）」を導入して、受験者の拡大を目論んだ。結果的には、入学者の 7 割近くがその制度を利用するに至った。しかし、定員充足の起爆剤となるに至らなかった。平成 26 年度については、入学者の 7 割近くが卒業生・在校生の関係であったことから、基本的には卒業生・在校生を大切に、校友会関係とさらなる連携を深めることが重要と考える。さらに、紹介者の中には、大阪府鍼灸師会や大阪府鍼灸マッサージ師会会員からの紹介もあり、業界とのさらなる連携をはかる必要がある。その上で、オープンキャンパスの集客増を目標に、内容の見直しで巻き返しを図りたい。

5. 教務部門

平成24年度までの教務部は、教務事務を中心に学生の募集関連についても事業を展開してきたが、学務課設置および募集戦略室設置により、平成25年度以降の教務部の部門方針・事業計画については、従来と大きく異なることになった。

教務部は、入学前から在学中および就職と卒業後についても密接に関連する部署であり、顧客目線を持ち一環とした運営を心がける必要がある。

ただし、平成25年度については、組織再編に伴い、鍼灸学科、柔道整復学科、学務課を統括する部門となったことから、各学科および学務課においてさまざまな問題点を抽出し、今後の方針を立てるための1年間であった。しかしながら、教務での統括や運営が充分でなく、両学科合わせて入学者は200名を切る結果となったことは、教務部の方針が定まっていなかったことも一因と考えられる。

以下、平成25年度の実績を報告する。

【事業内容・事業実績】

1. 教員の資質向上とスキルアップについて

- ① 外部講師によるFDや研修は実施できなかった。3月に鍼灸学科の新任教員および専任教員に対し、教務一般に対する研修を実施した。（継続）
- ② 学内での両学科による相互交流の推進。（新規）
鍼灸学科および柔道整復学科の実技授業において、それぞれの治療手法の一部を教育できないか検討してきたが、25年度中に具体案を固めることは出来なかった。今後は、両学科の研修等を開催し、検討していく。

2. アロマ講座について（継続）

平成25年度も講座（春・秋）を実施した。平成26年度も継続する。

3. その他

- ① 本校独自の3Dの教材の開発と授業への応用。（継続）
解剖学や経穴等は3次元でのイメージが必須である。そのため学生の教育効果を上げる3D教材の開発とオープンキャンパス模擬授業への応用を実施した。（継続）
- ② 学務課の業務共有化を図る。（新規）
25年度については、部署統合の移行期もあり、学務課内での学生支援業務と教務事務業務が分掌された形で運営してきた。
- ③ 臨床実習
25年度については、鍼灸学科の臨床実習内容の検討をみどりの風鍼灸院と共に行った。今後については、柔道整復学科の臨床実習についても関与していく。
- ④ 海外研修
海外研修では鍼灸学科はフロリダ研修（3月）、柔道整復学科アドバンスコースが南オレゴン大学（6月）で実施した。なお、鍼灸学科の中国研修は、社会情勢を鑑み中止とした。→平成25年度も継続する。
- ⑤ 卒業研修
鍼灸学科の卒業生を対象に、3月に卒業生セミナー（美容鍼）を実施した。
- ④ 国内外の大学や病院との提携（継続）
卒業生の短期研修や海外進出のアシストや日本鍼灸・柔道整復の普及や紹介のための調査研究は不十分であった。

(1) 鍼灸学科

1. 医療資格者コースについて

平成25年度は、別カリキュラムで運営してきた3年生の昼間部選択コース（医療資格者コース）の最終年度であり、14名全員卒業することができた。また、名称を継続使用している昼間部1,2年生の医療資格者コースについては、大きな問題もなく運営することができた。

2. 昼間部・夜間部カリキュラム変更に伴う対応について

平成24年度入学生より、昼間部の定員を120名、夜間部の定員を60名に変更し、医療資格者コースを含め各コースともカリキュラムを統一して運営しているが、大きな混乱もなく順調である。旧カリキュラムで運営してきた3年生昼・夜間部についても、一部の学生を除き106名を卒業させることができた。

3. 研修・研究について

8月の東洋療法学校協会教員研修会は、京都仏眼鍼灸理療医療専門学校が主管校となり京都にて開催された。本校からは18名の教員が参加した。

また、10月の東洋療法学校協会学術大会は、神戸コンベンションセンターで開催され、3年生昼間部の学生2名がポスター発表を行ったほか、鍼灸学科学生全員を参加対象とした。一方、各学会および団体等の全国大会に対し、学生からの希望を募り、参加費の補助を行った。

4. 授業および実習等について

5月に体育実習を例年通り、昼間部・夜間部1年生を対象に救急講習を加え実施した。また、5月に解剖見学実習を昼・夜間部2・3年生および医療資格者コース2・3年に実施した。7月には例年通り、サマースクールを開催し2年生においては、医療面接の講座を開講した。さらに、11月には、3年生対象に東洋療法学校協会の実技評価委員による、外部評価実技試験と東洋療法学校協会による「東洋療法統一試験」（模擬試験）を実施した。

5. 臨床実習について

みどりの風鍼灸院にて、鍼灸学科学生413名に対し臨床実習を行った。医療資格者3年生と昼間部（午前コース）は夜間の時間帯を利用し臨床実習を行った。

6. オープンスクールの開催について

平成25年度は、13回開催された学校説明会に常勤教員が担当し、参加者に対して模擬授業等を中心に企画・構成・実行してきた。

7. 大阪府教育センター「大学等オープン講座」について

8月、大阪府の幼・小・中・高・盲・聾・養護学校の先生対象の夏期セミナーに19名の参加者があり、1日間の講座を実施した。

8. 学生指導等について

3年生の希望者に対し、勉強や生活、卒業後について相談のための面談を実施した。

3年生については、勉強を習慣づけるため教育教材（ドリル）を作成し、課題を提出させた。

9. 会議の開催について

第一回教務・職員会議（前期の出席状況および成績の報告）

第二回教務・職員会議（中期の出席状況および成績の報告）

卒業式賞決定会議

第三回教務会議・職員会議（卒業生決定）

第四回教務会議・職員会議（進級者決定）

(2) 柔道整復学科

1. 研修・研究について

教員研修会が8月24、25日に、東京メディカル・スポーツ専門学校の主管で東京ドームホテルを会場に開催され、本校から17名の教員が参加した。

また、8月6日に東京武道館で開催された柔道整復学校協会の柔道大会に学生が参加し、女子が3位(2部)の成績を収めた。

2. 授業および実習等について

3月から9月にかけて昼・夜間部3年生を対象に、みどりの風クリニックにて実習を実施した。また、新たに昼・夜間部2年生もみどりの風クリニックにて実習を実施した。(2・3年生とも夜間部は春期・夏期休暇中、昼間部は前期および中期中に実施した)

アドバンスコース3年生では8月に河村医院(整形外科)にて実習を実施した。

5月および6月に解剖見学実習を大阪大学歯学部にて昼・夜間部2・3年生およびアドバンスコース2・3年生を対象に実施した。

6月にはアドバンスコース2年生のアメリカ研修(オレゴン)を実施した。

3. みどりの風クリニックへの教員派遣について

みどりの風クリニックリハビリテーション科に、2名の教員をスタッフ助手として派遣した(1名は午前診、午後診、夜診の通しで週1日、1名は夜診で週1日)。

4. 会議について

定例会議(毎月1回)

第一回教務・職員会議(前期の成績および出席状況の報告)

第二回教務・職員会議(中期の成績および出席状況の報告)

第三回教務・職員会議(卒業判定)

第四回教務(卒業式賞決定)

第五回教務・職員会議(後期の成績および出席状況報告、進級者決定)

5. 募集計画

アドバンスコースの募集対策として、平成20年度より継続中の高等学校への出張体験授業や説明会を実施、さらに平成22年度から広報と連携して現役受験生の増加に対する取り組みを強化した。

結果、平成24年度は全員高校新卒の36名、平成25年度もほとんどが新卒者で32名の入学という成果を得た。平成26年度新入生は24名に留まったが、柔整学科全体の入学者数が募集定員の2/3に達しなかった状況を考えると一定の成果を上げているものと思われる。

6. 職業実践専門課程の申請について

文部科学省「職業実践専門課程」の申請を行い、認定を得た。

7. その他

テーピング、ストレッチや基礎的運動生理学等を含めた高校生対象の講習会を継続して開催している。

また、公益社団法人日本柔道整復師会においてNGO支援無償資金協力の支援を受け行っている海外に向けての日本伝統治療(柔道整復術)普及事業活動に支援を行った。

6. 森ノ宮医療学園専門学校の国家試験合格率の推移

●平成25年度

はり師きゆう師 国家試験(第39期)

家試験成績		平成25年度(第22回)25年2月実施		
		受験者	合格者	合格率
現役受験者	はり師	120	111	92.5%
	きゆう師	120	112	93.3%
当校のべ受験者	はり師	169	120	71.0%
	きゆう師	171	124	72.5%
全国平均	はり師	5,036	3,892	77.3%
	きゆう師	4,998	3,946	79.0%

柔道整復師国家試験(第12期)

試験成績		平成25年度(第22回)25年3月実施		
		受験者	合格者	合格率
現役受験者	柔道整復師	117	106	90.6%
全国現役受験者	柔道整復師	5,184	4,731	91.3%
当校のべ受験者	柔道整復師	177	118	66.7%
全国のべ平均	柔道整復師	7,102	5,349	75.3%

●平成24年度

はり師きゆう師 国家試験(第38期)

家試験成績		平成24年度(第21回)24年2月実施		
		受験者	合格者	合格率
現役受験者	はり師	121	114	94.2%
	きゆう師	121	115	95.0%
当校のべ受験者	はり師	166	120	72.3%
	きゆう師	170	122	71.8%
全国平均	はり師	5,157	4,005	77.7%
	きゆう師	5,235	4,138	79.0%

柔道整復師国家試験(第11期)

試験成績		平成24年度(第21回)24年3月実施		
		受験者	合格者	合格率
現役受験者	柔道整復師	106	96	90.6%
全国現役受験者	柔道整復師	5,073	4,244	83.7%
当校のべ受験者	柔道整復師	150	102	68.0%
全国のべ平均	柔道整復師	6,503	4,438	68.2%

●平成23年度

はり師きゆう師 国家試験(第37期)

国家試験成績		平成23年度(第20回)24年2月実施		
		受験者	合格者	合格率
現役受験者	はり師	135	116	85.9%
	きゆう師	135	114	84.4%
当校のべ受験者	はり師	166	114	69.9%
	きゆう師	166	114	68.7%
全国平均	はり師	5,015	3,651	72.8%
	きゆう師	4,996	3,498	70.0%

柔道整復師国家試験(第10期)

国家試験成績		平成23年度(第20回)24年3月実施		
		受験者	合格者	合格率
現役受験者	柔道整復師	115	112	97.4%
全国現役受験者	柔道整復師	4,870	4,516	92.7%
当校のべ受験者	柔道整復師	175	132	75.4%
全国のべ平均	柔道整復師	6,754	5,227	77.4%

7. 専門学校の求人と就職状況について

(1) 本校に対する求人倍率

平成 25 年度の下半期より円安で輸出企業の業績が回復したことに加え、外国人旅行者も 1,000 万人を超え、製造業とサービス業を中心に求人が増えてきている。一般職業紹介状況（職業安定業務統計）によると、2 月度の有効求人倍率は 1.05 倍で、平成 25 年平均の有効求人倍率は 0.93 倍となり、前年度の 0.80 倍を上回った。

本校の求人件数も前年より 140 件増加し、平成 25 年度の求人倍率は 6.9 倍となった。

本校の職業紹介利用者	本校の求人倍率	全国の求人倍率（参考）
150 人	6.9 倍	0.93 倍

(2) 初任給平均額

《正社員》

	月給平均（円）	最高額（円）	最低額（円）	求人数（件）
鍼灸師	199,694	300,000	92,000	556
柔道整復師	211,829	400,000	100,000	728
学生	156,968	250,000	50,000	156

《アルバイト》

	時給平均（円）	最高額（円）	最低額（円）	求人数（件）
鍼灸師	990	3,600	800	263
柔道整復師	1,008	1,800	750	303
学生	859	1,800	750	363

平成 25 年賃金構造基本統計調査（初任給）によると、「医療・福祉」の産業別で 19 万 2,700 円（大卒）となっている。本校に対する有資格者の正社員給与額は、9 万円から 40 万円と大きな開きがある。これは臨床経験の有無はもちろんのこと施術所の所在地や従業員に対しての考え方によって異なっている。

昨年度に引続き今年度も正社員の募集が前年を大きく上回っており、求職者にとって相変わらず売り手市場である。一方、施術所数はコンビニの店舗数の 2 倍以上で 1 件当たりの患者数は減少傾向にあり、施術所間で格差が生じている。そのため施術所は、自費治療のメニューを加えたり、求人を正社員ではなくアルバイト雇用にしたり、デイサービス事業へ参入したりと収益の確保を図っている。

(3) 学生動態

全国的に就職活動を開始する時期が早まる傾向にあり、国家試験を考慮して秋までに内定を目指す動きとなっている。中でも高校新卒者の入学が多い学校では夏休み中に内定を獲得するよう指導している。前年度、本校の学生は年明けから就職活動を開始し他校より遅れをとったため、学生が希望する条件の求人先は募集を終了していることが多かった。

また、最近の求職者の就職条件の傾向として、社会保険制度、実労働時間や休日数を重点において就職活動をする傾向が強くなっている。このような求職者の希望を受け、社会保険制度、シフト制、有給休暇制度を導入する施術所も増えてきているが、他業種と比べると依然として少ない状況である。そのため、社会保険制度を完備し、実労働時間の短いクリニックや病院、高齢者施設が人気となっており、このような条件が備わっている求人先から順に募集が充足し、早ければ 10 月に募集が終了するところもある。

この状況を受け、平成25年度は就職相談会を3ヶ月前倒して10月に開催し、学生の就職活動への意識付けを早期に行った。その結果、昨年度と比べ求職者が希望する条件の求人先へスムーズに就職することができた。しかし、就職活動の早期化に伴い、ピークが年内、国家試験前、国家試験後と3つに分かれ、就職活動期間が9月から3月と長期化した。

また、前年からの課題である就職活動の基本的な部分、履歴書の書き方、面接に臨む服装・身だしなみ、志望動機等が不十分な学生は多く見られ、これらの指導に時間を要するようになっている。さらに平成25年度は3月末になって就職活動の進め方がわからない学生10名程が相談に来た。これらのことを受け、平成26年度は両学科3年生に対し就職ガイダンスを実施し、学生が就職活動を円滑に進められるよう改善を図り、引き続き学生一人ひとりに合った個別指導を行っていきたいと考える。

(4) 就職・開業支援講座

平成25年度の就職・開業支援講座は、前年度の内容を踏襲しつつ学生の要望に応えるため新たな試みを2つ行った。

1つは講座内容に関して、学生の将来ビジョンが見えるよう現場で活躍する卒業生を講師に招く「ようこそ先輩講座」と、学生からぜひ話を聞きたいと要望のあった方を講師に招く「リクエスト講座」の2種を新たに加えた。もう1つは学生と卒業生が参加しやすいよう時間帯を15時と18時開始に変更し、講師が可能であれば同じ講座を同日に2回開講するようにした。その結果、3月の講座において受講者数が前年を13%上回る結果となった。

これからも引き続き学生から講座に対する要望を汲みとり、学生のこれからの役立つ就職・開業支援講座にしていきたいと考える。

7月30日(火)

『かづきれいこ監修 リハビリメイク』	受講者数 13名
『磨けば光る。あなたのコミュニケーション力』	受講者数 32名
『治療家がSNSを活用する為に必要な3つのこと』	受講者数 13名

7月31日(水)

『就職活動ガイダンス「それで大丈夫？あなたの履歴書と面接マナー」』	受講者数 11名
『ようこそ先輩講座「鍼灸師の可能性を広げる3つの方法」』	受講者数 40名
『リクエスト講座「治療に役立つ食の提案～治療家のための薬膳講座～」』	受講者数 54名

8月1日(木)

『あなたの知らないマナーの世界』	受講者数 11名
『ゆかた着付教室』	受講者数 11名
『意外と知らない!!「ローン・クレジット」』	受講者数 7名
『日経MJの活用法～なるほど！そうだったのか！ニュースが面白くなる～』	受講者数 6名

3月18日(火)

『保険請求の実情と柔道整復師を取り巻く業界事情』①	受講者数 9名
『保険請求の実情と柔道整復師を取り巻く業界事情』②	受講者数 5名

3月19日(水)

『鍼灸の保険請求の方法について』①	受講者数 19名
『鍼灸の保険請求の方法について』②	受講者数 13名
『ようこそ先輩講座「訪問鍼灸のいろは」』①	受講者数 35名
『ようこそ先輩講座「訪問鍼灸のいろは」』②	受講者数 29名

3月20日(木)

『高齢者が自立歩行する為の3つの方法』	受講者数 13名
『患者さんが多い治療院は、クレームが多い』	受講者数 13名
『これだけは知っておきたい治療家のための薬膳食療法』	受講者数 35名

(5) 就職相談と求人検索システム（平成25年4月1日～平成26年3月31日）

8月より求人検索システムをスマートフォン対応にしたことで、パソコン操作が不慣れな求職者にとって利便性が改善された。スマートフォンからのアクセス者数見ると前年の2倍の20%に増え、月間累計訪問者数の平均は前年に比べ30.3%増え1,399名となった。就職相談者数は、前年に比べると微増ではあるが、相談後のフォローを強化したことにより採用率は18%増え73.3%となった。

学生数から見ると、就職相談件数はまだ少なく感じられる。相談に来た学生から学校で就職相談ができることを知らなかったという声も聞き、学務課が就職斡旋を行っていることを学生に浸透させることが今後の課題であるとする。平成26年度は「就職相談＝学務課」を全面的に告知し、就職相談者数の増加と採用率向上に力を入れていきたい。

また、前述の求人倍率からもわかるように本校の求人件数は就職相談者数と比べると約7倍と多くアンバランスな状況である。中でも有資格者を希望する施術所の要望に応え切れておらず、これからも引続き景気に左右されず安定した求人件数を確保するためには、有資格者の紹介を恒常的に行う必要があると考える。有資格者の紹介を可能にする施策として、平成26年度から人材バンクシステムを構築していく。その一つとして求人検索システムに「転職マッチング機能」を追加し、転職を考えている卒業生と有資格者を必要とする施術所をシステム上で結び、卒業生と施術所そして本校の三者がこれまで以上に強い信頼関係を築ける転職支援を行っていきたいと考える。

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	
月間	累計アクセス数	15,486	11,901	10,881	8,231	10,429	14,588	
	累計訪問者数	1,596	1,403	1,347	1,351	1,148	1,567	
一日	アクセス数	平均	516	383	362	265	336	486
		最大	935	965	876	512	829	1,190
	訪問者数	平均	53	45	44	43	37	52
		最大	81	75	70	59	80	102
		10月	11月	12月	1月	2月	3月	
月間	累計アクセス数	19,731	7,946	11,365	14,325	11,832	16,319	
	累計訪問者数	1,541	1,145	1,349	1,428	1,173	1,737	
一日	アクセス数	平均	636	264	366	462	422	806
		最大	5,758	463	1,059	2,182	880	1,560
	訪問者数	平均	49	38	43	46	41	56
		最大	73	54	83	70	64	103

8. 森ノ宮医療学園専門学校奨学金について

(1) 日本学生支援機構奨学金

- 平成 25 年度中に本校在學生に貸与された奨学金総額（入学時特別増額含む）
4 億 4,345 万円
- 奨学生数（全学年中）
377 人
- 月額貸与額平均（併用貸与者含む）
9 万 6,032 円

《奨学生数の推移》 (前年度比)

新規採用	期末満期（卒業等）	期中異動（退学等）	次年度継続希望
126 人（26%減）	121 人（4%減）	52 人（160%増）	233 人（9%減）

《新規採用者内訳》 (単位：人)

	予約採用	定期採用	追加採用	緊急応急	合計
一種	2	6	—	0	8
二種	40	76	0	2	118
合計	42	82	0	2	126

平成 25 年度の入学者数が減少したことに比例して奨学金申込者も減少し、新規採用者数は前年度の 26%減の 126 名となった。その結果、25 年度の定期採用枠が 75%増加したことも手伝って、追加採用を待たずにして定期採用で全員が採用された。また、新規採用は減少したが本校の新規奨学生は 9 年連続 100 名超を更新することとなった。

日本学生支援機構全体での奨学金未返還者および未返還額は年々増加し続けている。平成 24 年 3 月の時点で奨学金の未返還者は全国で約 33 万 1000 人、未返還額は 876 億円となっており、10 年前に比べ約 2.5 倍にも膨れ上がっている。同時点の本校の延滞率は 8.5%となっており、全学校平均延滞率 9.8%に近づきつつある。延滞率が 8%を超えたことを受け、日本学生支援機構から職員派遣による奨学金返還説明会が前年度初めて開催された。延滞率の改善に向けての施策として、貸与修了者の返還について日本学生支援機構に協力するとともに、貸与中の在籍生には奨学生としての自覚と返還に対する意識を高めることを継続的に指導していく。

(2) その他の教育ローン

■オリコ教育ローン 新規採用者内訳 (単位：回) (単位：円)

	件数	入金総額
平成 25 年 4 月～平成 26 年 3 月	23	12,304,000

■ジャックス教育ローン 新規採用者
なし

■大阪信用金庫教育ローン 新規採用者

	件数	入金総額
平成 25 年 4 月～平成 26 年 3 月	3	4,780,000

平成 25 年度よりオリコに加えジャックスと大阪信用金庫の教育ローンを導入した。大阪信用金庫の教育ローンは店舗での申込みとなり、他の教育ローンのネット申込みと比べ利便性が悪い分 2.3%と低金利であるのが特徴である。また年度末の交渉の結果、ジャックスの教育ローンについては、平成 26 年度から金利を 4.3%から 4.0%まで引き下げることができた。学生にとって教育ローンの選択肢も増え今までより利用しやすい状況とな

っている。

また、前年度より学納金未納者への早期対応を経理課と共同で実施しており、奨学金の増額、教育ローンの申込、延納書類の提出を促してきた。その結果、前年度より未納金額と延滞納件数の割合は改善したが、延分納の申請は前年度より増え、教育ローン利用件数は前年度と比べ6割減った。しかし、学納金の納付期限を1ヶ月過ぎても連絡のない学生はまだ12.3%おり、この数字を中期計画の目標値5%にできるよう経理課と共同で学納金未納者対応を継続して行っていく。

9. 学術部について

教員が学問的向上を図ることは、教員としての資質を維持するために不可欠であり、学生のみならず社会に対して専門職として責任を果たすことの担保になると考える。

そこで学術部は、教員が積極的に学会へ参加し、新しい情報を集め、学生教育に反映させながら、本校の教員が世界に向けて情報発信するための研究活動に積極的に取り組むための支援を行った。

あわせて専門学校教員への研究費支援のみならず、森ノ宮医療大学、みどりの風クリニックならびにみどりの風鍼灸院との連携をはかりつつ、いっそうの学術活動の充実を図るための環境および制度作りを今後とも行っていく。

1. 教職員の研究意欲の向上を支援した

①校の価値を高めると共に各自の能力を維持向上させ、教員や医療従事者としての質を保つために、自発的かつ積極的に研究活動に参加することを推進してきた。

その結果平成25年度は、査読付き学術論文3編（うち英語2編）、査読なし学術論文1編、著書1編、学会発表21題であり、前年度よりも増加した。

②研究活動に対する個人学術研究費の使用について

森ノ宮医療学園専門学校個人学術研究費の規程にしたがい、個人学術研究費を支給し、研究活動の推進を図った。

支給に際しては、研究報告書ならびに計画書の提出、前年度の研究実績の報告などを義務づけており、これについて今年度も29名全員の提出があった。また個人学術研究費執行状況について適正に使用されていた。

	予算	使用	使用率
個人学術研究費	446万円	253万5千円	57%
教員数	29名	22名	

2. 研究設備の充実化を図った

研究機器の購入や研究室の設営など研究設備の充実を図っているが、今年度は新たな研究計画もなく、研究機器の購入などには至らなかった。

3. 研究成果を公表した

①本校教員が行っている研究活動を実施していることを社会にも広く公表していくために、今年度も本学ホームページ上で研究成果を報告ならびに紹介した。

なお研究成果の詳細については本学ホームページ「研究活動報告」にて報告している。

②研究状況を報告するために、国内・外の医科学雑誌への投稿を目指しているが、今年度は査読付き学術論文3編（うち英語2編）、査読なし学術論文1編の論文発表が行われた。

4. 今後の課題及び検討事項

①森ノ宮医療大学、みどりの風クリニックならびにみどりの風鍼灸院と連携した学術活動は少数個人に限定しており、システム化されているとは言い難い。これについては、連携協力の方法などについて検討していく。

②近年研究に対する倫理問題が多発しており、これに対応するため昨年度より専門学校においても倫理委員会を設置する必要性が検討されているが、今年度は設置するに至らなかった。したがって今年度は専門学校における倫理委員会の設置を実現するべく検討する。

③研究の手法や解析方法について理解を深めていくことで、より研究活動への参加を促すために、学術部主催する研修会を計画する。

10. 専門学校図書室について

1. 登録図書数 : 18186 冊

	01: 図書閲覧室	02: 貴重書室	04: 鍼灸室	05: 倉庫	07: 教務	合計
0 総記	388	13	0	17	0	418
1 哲学	439	13	0	8	0	460
2 歴史	257	11	0	2	0	270
3 社会科学	338	3	0	53	0	394
4 自然科学	12,857	1,211	134	1,299	1	15,502
5 技術	82	3	0	15	0	100
6 産業	36	5	0	1	0	42
7 芸術	429	4	0	47	0	480
8 言語	136	3	1	34	0	174
9 文学	76	11	0	3	0	90
その他	2	2	0	7	0	11
合計	15,040	1,279	135	1,486	1	17,941

- ①実質蔵書数 : 17,941 冊
- ②今年度購入数 : 119 冊
- ③除籍数 : 245 冊
- ④今年度寄贈図書 : 24 冊
- ⑤年間購読雑誌 : 23 誌

2. 年間概況

①開室 : 月～金（10：30～21：30） ※入学式など例外的に開室時間が短い日もある。

②貸出利用頻度

月	稼働日数	貸出統計								
		柔整1	柔整2	柔整3	鍼灸1	鍼灸2	鍼灸3	校友会	教職員	聴講生
4	20	20	41	64	53	136	146	77	71	1
5	20	25	38	61	44	87	100	78	60	0
6	20	5	18	35	40	52	34	48	36	0
7	22	25	44	59	48	91	77	63	35	0
8	19	1	21	34	27	55	83	42	31	0
9	19	27	29	42	31	70	87	67	67	0
10	22	12	28	20	41	78	48	69	65	0
11	20	20	7	12	41	45	25	59	46	0
12	19	19	43	6	78	107	74	45	61	0
1	19	25	39	5	56	106	37	48	35	0
2	19	34	26	4	36	60	33	60	51	0
3	20	21	39	2	51	41	0	63	16	0
合計	239	234	373	344	546	928	744	719	574	1
総合計		柔整=951			鍼灸=2,218			その他=1,294		全体=4,463

③視聴覚閲覧頻度

月	稼働 日数	視聴覚閲覧統計				
		学生	教職員	校友会	学外	聴講生
4	20	11	1	5	0	0
5	20	9	4	3	0	0
6	20	4	1	3	0	0
7	22	22	2	2	0	0
8	19	10	1	0	1	0
9	19	7	4	1	5	0
10	22	21	1	1	0	0
11	20	5	2	1	0	0
12	19	9	1	3	2	0
1	19	9	1	0	0	0
2	19	5	0	2	0	0
3	20	8	2	0	2	0
合計	239	120	20	21	10	0
総合計		全体=171				

④その他利用頻度

月	稼働 日数	学外利用者統計			コピー申込み統計				ロッカー使用状況			
		初回 利用	再利 用	計	学生・ 校友会・学外	職員	職員 遅延	計	ロッカー	利用 不備	その他 貸出	計
4	20	4	2	6	80	24	2	104	133	0	1	134
5	20	2	4	6	105	47	2	152	108	2	0	108
6	20	1	3	4	65	11	0	76	170	3	1	171
7	22	0	5	5	77	3	0	80	115	0	0	115
8	19	5	1	6	97	15	1	112	98	1	0	98
9	19	1	6	7	95	17	0	112	223	5	0	223
10	22	2	3	5	62	19	1	81	154	1	0	154
11	20	1	5	6	49	14	1	63	233	8	0	233
12	19	2	3	5	156	13	1	169	169	4	1	170
1	19	2	2	4	133	13	1	146	209	1	0	209
2	19	4	6	10	74	13	0	87	199	0	0	199
3	20	1	2	3	52	19	3	71	58	0	0	58
合計	239	25	42	67	1,045	208	12	1,253	1869	25	3	1,872

⑤医中誌利用頻度

月	稼働日数	医中誌ログイン数
4	20	
5	20	43
6	20	15
7	22	15
8	19	13
9	19	7
10	22	10

11	20	3
12	19	12
1	19	15
2	19	8
3	20	4
合計	239	145

※5月から運用の為、4月はデータなし。

3. 登録状況及び活動

- 4月 : 医中誌試用
- 5月 : 医中誌ならびにメディカルオンラインの導入・運用
- 1月 : 医道の日本(雑誌)の製本化
- 2月 : 本棚購入
- 3月 : 蔵書点検(3月14日(金)～20日(月))
新規図書購入 79種80点

4. 蔵書点検結果

- ①点検日 : 3月14日(金)～20日(月) 5日間
- ②点検範囲 : 開書書架・鍼灸室・倉庫保管分
- ③結果 : 所在不明 1点

5. その他

- ①蔵書リクエスト数 : 8名から書籍(20点程度)についてのリクエストがあった。
- ②概況報告
 - ・蔵書数の増加や書架の確保が困難であったため、今年度は図書の購入が少なかったが、これに対応するため棚を購入したことでスペース確保できたので、次年度以降は冊数を増やし、学生ならびに卒業生のリクエストに対応していきたい。
 - ・今年度から医中誌、メディカルオンラインを導入したので、学生や教職員に周知し、より積極的な活用を促していきたい。

11. はりきゅうミュージアムについて

1. 活動状況

(1) 11月：関西文化の日に参加

2. 利用状況

(1) 利用者概況

月	稼働日数	はり灸ミュージアム統計（土日は含まれず）			
		全体	通常見学者	学校見学者	紹介・その他の見学
4	20	17	6(ドイツの医師. 1)	4	7(ゼネファ 3. 関東鍼灸 1. 大学の広報 3)
5	20	15	14(university recreation center11)	1	0
6	20	5	4	1	0
7	22	33	0	33	0
8	19	107	8	5	94(大阪府大専各オープン講座 19 授業 75)
9	19	31	23	8	0
10	22	6	4	2	0
11	20	74	69	5	0
12	19	28	28	0	0
1	19	20	14	4	2(東洋紙業)
2	19	7	3	4	0
3	20	10	9	1	0
合計	239	353	182	68	103

3. その他

- ・ドイツからの見学は例年どおりである。
- ・11月の関西文化の日については、近年継続的に参加していることが一般にも少しずつではあるが浸透してきており、今年度は例年以上に盛況であった。したがって今後とも継続して参加していく。
- ・さらに「鍼灸医学」ならびに「森ノ宮医療学園専門学校」を広くアピールするためにも文化祭などの学校行事を利用し、一般に開放する機会を作ることについて今後検討していく。

12. 専門学校の広報・営業活動について

○H.25 接触者数

(資料請求者、高校ガイダンス・イベント参加者、媒体利用者)

接触者数は前年と比較して増えている。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
H.25	146	233	229	339	308	195	156	187	154	254	178	260	2,639
H.24	154	219	354	294	217	170	193	171	164	146	162	214	2,458

○接触者の属性

高校2年生が前年と比較して大幅に増えている。

	高3	高2	高1	高校生合計	社会人	大学・短大	専門学校	その他	合計
H.25	595	767	266	1,628	547	77	36	254	2,542
H.24	664	377	145	1,186	615	51	26	643	2,521

○オープンキャンパス (臨時4回を含め20回実施)

参加者数の前年比較 ※付添・保護者含めず ※参加人数のカッコ内は高校生数

H25年(昨年)			H24年(一昨年)		
実施回数	実施日	参加人数	実施回数	実施日	参加人数
第1回	H25/05/12	26 (20)	第1回	H24/05/13	18 (5)
第2回	H25/06/02	15 (9)	第2回	H24/06/03	30 (15)
第3回	H25/06/16	18 (13)	第3回	H24/06/17	29 (16)
第4回	H25/07/07	29 (19)	第4回	夜間授業見学	3
第5回	H25/07/21	18 (14)	第5回	H24/07/08	25 (13)
第6回	H25/08/04	39 (26)	第6回	H24/07/22	31 (24)
第7回	H25/08/18	31 (19)	第7回	H24/08/05	47 (26)
第8回	9月特別講演会	8	第8回	H24/08/19	35 (19)
第9回	H25/09/16	21 (9)	第9回	H24/09/17	44 (28)
第10回	H25/10/06	23 (5)	第10回	夜間授業見学	3
第11回	10月夜間授業見学	1	第11回	H24/10/08	27 (12)
第12回	H25/11/03	29 (1)	第12回	夜間授業見学	2
第13回	11月夜間授業見学	0	第13回	H24/11/04	18 (3)
第14回	H25/12/08	20 (6)	第14回	夜間授業見学	1
第15回	H26/01/12	13 (2)	第15回	H24/12/02	23 (3)
第16回	H26/02/9	18 (6)	第16回	H25/01/13	20 (3)
第17回	1・2月夜間授業見学	4	第17回	H25/02/11	15 (2)
第18回	H26/02/23	3 (1)	第18回	夜間授業見学	4
第19回	H26/03/02	4 (3)	第19回	H25/02/24	4 (0)
第20回	H26/03/22	10 (9)	第20回	H25/03/03	9 (2)
		330 (163)		合計	388 (169)

オープンキャンパスへの集客のため、案内のDMを毎月発送し、8月より午後も開催する2部制にして8回実施した。

また、保護者説明会の同時開催や、学生スタッフとのランチタイムを設けて満足度のアップを図った。

しかしながら高校生の活動が終わる9月以降は社会人の動きが鈍く、オープンキャンパス参加者は330名で前年の85%にとどまった。

○高校出張授業

高校からの依頼で、本校教員が出張授業を実施した。ホームページの実施報告掲載を見ての依頼も増えており、20校1団体に実施し、1,285名の接触者があった。(前年11校)本校の教育内容や、教員のレベルの高さを高校生や高校教員に知ってもらう貴重な機会となっており、受講者の来校、受験につながりだしている。

実施日	曜日	高校名	学年	担当	人数
4月11日	木	【出張授業】 摂津高校	1 3	井上 朝倉	80 80
5月28日	火	【出張授業】 大阪朝鮮高級学校	2	伊黒 外林	16
5月31日	金	【出張授業】 大阪朝鮮高級学校	2	外林	16
6月20日	木	【出張授業】 山田高校	全	松下	100
7月19日	金	【出張授業】 千里高校	1 2	小笠原(孝) 山本	50
8月1日	木	【出張授業】 枚岡樟風高校	1	松下	40
8月7日	水	【出張授業】 八尾市立大正中学		朝倉	40
9月28日	土	【出張授業】 大阪成蹊女子高校	2	松下 鏑木	36
10月3日	木	【出張授業】 緑風冠高校	2	松下 永岡	12
10月10日	木	【出張授業】 緑風冠高校	2	朝倉 永岡	12
10月31日	木	【出張授業】 山田高校	1 2	松下 鏑木	100
11月6日	水	【出張授業】 東大阪市学校保健会		朝倉 浅井	90
11月27日	水	【出張授業】 みどり清朋高校	3	外林 鏑木	21
1月11日	土	【出張授業】 大阪成蹊女子高校	2	朝倉 鏑木	36
1月15日	水	【出張授業】 みどり清朋高校	3	松下 鏑木	23
1月17日	金	【出張授業】 東大阪市立 西堤小学校	小6	朝倉	114
1月20日	月	【出張授業】 榛生昇陽高校	1	松下	

			2	初瀬川	47
1月22日	火	【出張授業】大阪国際滝井高校	1	伊黒 鎬木	29
1月29日	水	【出張授業】 桃谷高校		伊黒 鎬木	8
1月31日	金	【出張授業】 山田高校	1	小笠原(孝) 鎬木	40
1月31日	金	【出張授業】鳳高校	1・2	小笠原(宏)	5
2月6日	木	【出張授業】八尾市曙川南中学校	1・2	松下	133
2月12日	水	【出張授業】海南高校	1	松下 鎬木	11
2月17日	月	【出張授業】大阪成蹊女子高校	2 1	外林 松下	37 25
3月4日	火	【出張授業】伊賀市立長田小学校	1～ 5	朝倉	36
3月7日	金	【出張授業】茨木市立太田中学校	2	松下・由良 伊黒	48

○本校での高校生体験授業

大阪ジョブミュージアム企画等、本校内で高校生の体験授業を実施した。
7校1団体に実施し、251名の接触者があった。

実施日	曜日	高校名	学年	担当	人数
6月15日	土	《体験授業》 大阪成蹊女子高校	1	松下・西田 小笠原(宏)	7
6月22日	土	《体験授業》 大阪成蹊女子高校	1	松下 小笠原(宏)	37
6月29日	土	《体験授業》 大阪成蹊女子高校	3	松下・西田 森(美)	33
7月22日	月	《体験授業》 緑風冠高校	3	松下・西田 森(美)	5
7月24日	水	《体験授業》 生野工業高校	3	南方・櫛引 小笠原(宏)	28
11月14日	木	《体験授業》北河内臈が丘	2	松下 小笠原(宏)	19
11月18日	月	《見学・講演会》大正区女性会		横山 松下・由良	50
12月17日	火	《体験授業》信太高校	1	松下 小笠原(宏)	21
12月20日	金	《体験授業》成美高校	1	松下 小笠原(宏)	31
1月29日	水	《体験授業》大阪女子高校	2	松下・由良 小笠原(宏)	20

○一般公開講座

ツボ講座とアロマの講座を、毎月テーマを変えて実施した。(受講費 1,000円)
地域に貢献するとともに、受験にもつながりだしている。

実施日	曜日	内容	担当	人数
6月19日	水	「肩こり」をツボ刺激で!	南方	9
6月21日	金	メディカルアロマセラピー「痛みの緩和をねらって」	森・北村	35
7月17日	水	「冷え症」を克服しよう!	由良	9
7月19日	金	メディカルアロマセラピー「痛みの緩和をねらって」	森・北村	19
8月21日	水	「耳ツボ」でダイエット!?	弘中	23
9月18日	水	「眼精疲労」を緩和しよう!	櫛引	13
10月23日	水	知って得する「お灸」の効果	松下	11
11月15日	金	ウェルエイジング講座「コゲないカラダを作るには」	森・北村	18
12月14日	土	ウェルエイジング講座「コゲないカラダを作るには」	森・北村	26
11月20日	水	「生理痛など女性特有の症状を緩和」	松下	12
12月18日	水	ツボ刺激で「アンチエイジング!」	森・北村	16
2月21日	金	ウェルエイジング講座「脳疲労をほぐそう」	森・北村	31
3月15日	土	ウェルエイジング講座「脳疲労をほぐそう」	森・北村	46

○スポーツセミナー

高校生、一般の方、在校生、卒業生対象のスポーツセミナーを本校で開催した。
309名の接触者があり、9月1日の特別講演は臨時オープンキャンパスと組み合わせて実施した。

実施日	曜日	内容	担当	人数
6月8日	土	スポーツセミナー「メディカル野球教室」	池上・岡野	63
7月21日	日	スポーツセミナー「ストレッチ・熱中症」	外林・松下	43
8月3日	土	スポーツセミナー「コア・トレーニング」	朝倉・馬場	27
9月1日	日	特別講演「室伏由佳・アスリートと共に歩む道」	松下	116
12月22日	日	スポーツセミナー「筋力トレーニング・スポーツシューズの選び方」	岸本・山本	60

○トレーナーセミナー

トレーナーズラボ岩本先生が、在校生、卒業生対象にトレーナーセミナーを開催した。

実施日	曜日	内容	担当	人数
12月8日	日	「障害と評価」	岩本	13
1月19日	日	「ストレッチと徒手療法」	岩本	14
2月11日	火	「テーピング」	岩本	14

○卒業生対象セミナー

12月7日（土）鍼灸学科が卒業生対象にかつての授業を行う「あの日の授業をもう一度」を実施した。（16名）

○外部のイベント

外部組織や自治体とのコラボレーションで、スポーツイベント等を実施した。
紀伊國屋書店やデイリーヤマザキとコラボレーションして、他業種と交流を深めながら学校名の認知の拡大を図る。

実施日	曜日	イベント名	担当	人数
9月27日	金	[イベント]紀伊国屋グランフロント店 アロマ講座	織田・森 吉川・北村	80
10月12日	土	[イベント]大阪ウオーク 2013 はり体験	高崎・大塚	40
10月13日	日	[イベント]大阪ウオーク 2013 はり体験	向井	48
11月2日	土	[イベント]港区健康フェスタ はり・きゅう無料体験	中西・宮本 榎引・向 井	110
11月16日	土	[イベント]此花区ウオーキング大会 テーピング講座	松下・朝倉	20
11月27日	水	[イベント]デイリーヤマザキ森ノ宮駅前店 ツボ講座	松下・由良	19
3月1日	土	[イベント]東成区きらびかママセミナー 東洋医学体質チェック	松下・由良	30
3月17日	月	[イベント]紀伊国屋本町店 春の宵の連続講座 身近にあるものでツボ刺激	松下・由良	5
3月18日	火	[イベント]紀伊国屋本町店 春の宵の連続講座 スポーツシューズの選び方	山本	7
3月19日	水	[イベント]紀伊国屋本町店 春の宵の連続講座 アロマで花粉症対策	森・吉川 北村	11
3月20日	木	[イベント]紀伊国屋本町店 春の宵の連続講座 漢方・はり・きゅう 伝統医学の歴史	横山	8

○他業種との交流

大阪市主催の「すこやかパートナー」に加盟し、他業種との情報交換を行った。

○その他の営業活動

- ◆スポーツショップのゼビオ各店に定期的に訪問し、情報誌等の設置、入れ替えを行った。店頭でのイベントも提案する。
- ◆シュライカー・エヴェッサのホームゲームでのチラシ配布を実施した。
- ◆大阪市各区役所でのチラシ設置を実施した。

○Webでの広報活動

以下のWebサイトの対策強化、管理を実施した。

1. 6月にホームページのリニューアルを実施した。

- ◆トップページの画面を目立つように大型化
- ◆森ノ宮の魅力を伝える「森ノ宮の誇り10」ページを作成
- ◆カレンダー形式のイベント紹介を作成
- ◆先生方の研究活動報告を掲載
- ◆アドバンスコース、夜間コースの紹介ページを作成
- ◆専門学校公式スマートフォン・モバイルサイトの導入
- ◆SEO対策として各ページのキーワードを見直し
- ◆「鍼灸学科 大阪」、「柔道整復学科 大阪」のワードを購入し、上位にヒットさせるようにする。

2. モバイルサイトシステムの導入

- ・スマートフォンおよびガラパゴス携帯用に最適化する外部のシステムを導入することによって、これまで各キャリアに更新を行っていたものを一括管理できるようになった。

3. メルマガの配信

- ・0C前などイベント情報のお知らせを資料請求者へ配信し、来校を促した。

4. Web担当者変更と、ワーキンググループの発足により、ホームページの見直しを図り、修正作業を実施した。

5. FaceBook公式ページを設置して定期的に情報を発信し、認知度向上とファンづくりを図った。

○制作物

広報ツールとして以下のものを制作した。

1. 学校案内

学校案内・入試ガイドを4月に発行した。森ノ宮の魅力を伝える「森ノ宮の誇り10」を作成、その他学科説明、先生と在校生の対談、卒業生の活躍等を掲載する。

2. サブツール

一般女性に鍼灸への興味を促すため、女性向け冊子「きれいのツボ発見マガジン Beauty Forest」を増刷し、開業院やスポーツショップ、近鉄鶴橋駅・生駒駅構内などに設置した。
また、高校2年生対策として高校生向け冊子を制作した。

3. フリーペーパー

社会人への学校認知を高める目的で、こころとカラダにうれしい情報を発信するフリーペーパー「ここ+から」を発刊した。

9月、12月、3月に発刊。

4. ノベルティ

オリジナルのボールペン、クリアファイル、うちわを追加制作した。
モンシュール製フィナンシェはオープンキャンパスで配布した。

5. カレンダー

大学、専門学校共通のオリジナルカレンダーを作成し、高校、校友会員、
求人先等に配布した。

○まとめ

平成25年度は高校生に直接接触できる高校ガイダンスの参加を増やし、オープン
キャンパスへの誘導と職業の魅力紹介を積極的に行った。

また、高校訪問は進路担当とコミュニケーションをしっかりとって、関係を深める
方針で、担当者ごとに学校を決めて実施した。

社会人対策として外部イベントを実施し、地域貢献とともに本校の認知度を高める
ことができ、今後拡大していく基盤づくりができた。

しかし、資料請求者、ガイダンス参加者等の接触者は増えたものの、特に後半の社会人
の動きが鈍く、オープンキャンパス、個別見学者等の来校者は増えず、受験者の減少に
つながるといった結果になった。

13. 専門学校の施設設備について

専門学校の施設は、本校舎(地下1階、地上7階建一部6階)、アネックス校舎、緑橋校舎となっている。設備面では本校舎の地下は教職員及び来客用の駐車場、1階及び3階から6階は教室と実技室を配置し、各室にマイク、プロジェクターを設置して教育環境を整えている。また3階には図書室とはりきゅうミュージアムを設置し、また業者に事務用品・食品・弁当販売を委託している。学生ホールは1階と3階に設置し自由時間の勉強や団欒場所に利用されている。7階にある講堂は学生のクラブ活動に利用されている。学園では車通学を禁止しているので、アネックス校舎に学生支援対策として自転車・単車の通学生のための駐輪場を設けている。2階は柔道場、4階は液晶モニターを設置した多目的ホールがある。平屋の校舎には実技室を設けている。緑橋校舎は附属診療所を併設して地域医療としての機能を果たすため、1階は内科、整形外科を中心とした診察室、X線検査およびMR検査施設、2階は日常生活回復機能訓練設備を導入したリハビリテーション室、3階は教室と施術所があり一般患者の受け入れと学生の実習施設としての機能を果たしている。

校舎は3ヶ所に分かれているが環境衛生の向上を図るため、日常清掃(教室、廊下、机、いす、黒板等備品の清潔および破損状況の確認、ゴミ容器の回収・清掃、便所施設の清潔保持)、故障点検、排水溝施設清掃点検・定期清掃(毎月ワックス)の実施、空調機設備、エレベータ、自動ドア、消防設備、電力関係の各種定期保守点検、水道水の水質定期検査、ねずみ等の害虫定期駆除を実施している。これら委託管理を業者に依頼している。ゴミの分別も実施し医療産業廃棄物は専門業者に委託している。

省エネ対策として、本校舎講堂・3F学生ホール、アネックス校舎4F多目的ホール・柔道場など照明数の多い施設について、蛍光灯からLEDに切り替えるとともに、照明・空調機器について人力で消灯等を図り無駄なエネルギーの削減の啓発も図ってきている。

感染症対策として、各階に消毒液を設置し教職員、学生、来校者への衛生啓発を図っている。健康対策として、学校医による教職員・学生の定期健康診断と特定健康診査を実施し、保健指導を進めている。

受動喫煙対策として室内を全面禁煙とし、室外に喫煙所を設置している。更に受動喫煙対策の啓発を図り禁煙対策をすすめている。

バリアフリー対策は各校舎にエレベータと障がい者用トイレを整えている。

緑化計画として本校舎とアネックス校舎では植樹ならびにベンチを設置している。また今年度より植栽業務専門のパートタイム職員を採用し、学生や教職員のみならず、地域住民に対しても常に緑や草花が絶えることのない寛げる場所を提供している。

防災対策として、消防計画を作成し火災・地震等の災害予防と人命の安全、被害の軽減を図るとともに、今年度は全教職員を対象に災害図上訓練を実施し、教職員への更なる防火管理に対する啓蒙を行っている。また、災害時の非常用として缶入りパン300人分の備蓄や本校舎3F学生ホール・アネックス校舎設置の自動販売機を災害時対応機種に変更した。

施設のセキュリティ対策は各校舎に防犯カメラの設置とセキュリティカードによる扉の開閉を導入している。また夜間警備では機械警備を業者に委託している。

地域との連携として、秋に学生・教職員による地域清掃を学園周辺の通学路を中心に実施している。さらに東成区役所、東成区中本連合振興町会とともに地域での災害初期時における医療救護活動で連携し、東成区医師会とともに校舎利用を含めた会議を今年度も進めている。また、校舎の地域開放として土曜日に柔道場を少年柔道教室に開放し、支障のない日曜日に町会にも教室開放をしている。地域住民に秋の学園祭では校舎開放を図っている。また学園祭ではボランティア活動として教職員・学生ともに共同募金会に協力して募金活動を実施した。

Ⅲ. 森ノ宮医療大学 平成25年度事業報告書

1. 全体的な事項

(1) 自己点検・評価・FSD活動について

平成25年度において自己点検評価・FSD委員会は14回、FSDセミナーは3回、それぞれ開催された。委員会では平成25年度に受審した日本高等教育評価機構（JIHEE）による大学機関別認証評価受審に関することについて集中的に協議された。この平成25年度大学機関別認証評価については、「大学院学則において目的とする人材像の明記」および「教養教育に関する組織的取組みが不十分との記載」の2点の参考意見が付されたものの、本学の評価結果は「適合」とされ、公表された。なお上記意見が付された箇所についてはいずれも既に改善済みである。

また、FD活動の一環として平成24年度に引き続き公開授業週間および授業アンケートを実施し、その結果を全教員にフィードバックした。授業アンケートに関しては集計結果の所見（リフレクションペーパー）を学長あてに提出の上、公表、問題点の改善に努めた。

(2) 寄付金募集活動について

過去における実績と第VI期（平成25年4月1日から平成26年3月末）までの寄付者の内訳は次の通りであった。

寄付募集状況

第I期～第V期（～平成25年3月末）		第VI期（平成25年4月1日～平成26年3月末）	
区分	寄付金額	区分	寄付金額
役員	15,800,000	役員	—
教員	5,730,000	教員	—
職員	1,740,000	職員	—
非常勤	4,340,000	非常勤	—
在校生（保護者含む）	700,000	在校生（保護者含む）	—
卒業生（保護者含む）	3,970,000	卒業生（保護者含む）	40,000
法人	4,850,000	法人	3,500,000
その他	13,980,000	その他	9,800,000
計	51,110,000	計	13,340,000

(3) 森ノ宮医療大学の施設設備について

平成25年度は経済産業省のエネルギー管理システム導入促進事業費補助金を活用し、デマンド監視システム（株式会社エービル社製）を導入した。このシステムはデマンド値を抑えるため、空調の稼働を制御するものの、学習環境を極力損なわないものである。

システム導入により、各空調の電気使用量の見える化及びパソコン上で、空調の制御が可能となる。また、電力量の制御が可能のため、契約電力615kwから495kwの変更を行い、電気料金の削減を行った。

また体育倉庫兼備蓄倉庫の新築を行い、体育館に設置していた体育備品を倉庫に移動させ、スペースの有効活用を図る一方、備蓄倉庫として災害に備えた備蓄品の保管場所として活用していくこととなった。

その他、学生等の利用者保護の点から、東棟のガラス面に飛散防止フィルムを貼付及び、南校地の土壌改良を行い、砂利等を取り除くなどの処置をした。

2. 学生及び教育の事項について

【在学生数・定員充足率・退学者数等の推移】

学生数		H23.5.1	H24.5.1	H25.5.1	H26.4.1
鍼灸学科	1年生	59	59	68	68
	2年生	50	57	52	61
	3年生	56	50	53	51
	4年生	69	59	59	57
	計	234	225	232	237
定員		240	240	240	240
定員充足率		97.5%	93.8%	96.7%	98.8%
退学者数		7	14	11	-
退学率		3.0%	6.2%	4.7%	-

学生数		H23.5.1	H24.5.1	H25.5.1	H26.4.1
理学療法 学科	1年生	69	68	68	68
	2年生	68	71	67	65
	3年生	70	67	70	64
	4年生	63	64	67	82
	計	270	270	272	279
定員		240	240	240	240
定員充足率		112.5%	112.5%	113.3%	116.3%
退学者数		9	3	7	-
退学率		3.3%	1.1%	2.6%	-

学生数		H23.5.1	H24.5.1	H25.5.1	H26.4.1
看護学科	1年生	88	88	88	88
	2年生		88	88	85
	3年生			84	86
	4年生				82
	計	88	176	260	341
定員		80	160	240	320
定員充足率		110.0%	110.0%	108.3%	106.6%
退学者数		0	4	7	-
退学率		0.0%	2.3%	2.7%	-

学生数		H23.5.1	H24.5.1	H25.5.1	H26.4.1
学部計	1年生	216	215	224	224
	2年生	118	216	207	211
	3年生	126	117	207	201
	4年生	132	123	126	221
	計	592	671	764	857
定員		560	640	720	800
定員充足率		105.7%	104.8%	106.1%	107.1%
退学者数		16	21	25	-
退学率		2.7%	3.1%	3.3%	-

学生数		H23.5.1	H24.5.1	H25.5.1	H26.4.1
大学院	1年生	5	1	8	7
	2年生		5	1	8
	計	5	6	9	15
定員		6	12	12	12
定員充足率		83.3%	50.0%	75.0%	125.0%
退学者数		0	1	0	-
退学率		0.0%	16.7%	0.0%	-

3. 森ノ宮医療大学入学試験の状況について

【平成26年度入学試験受験者数】

H26年度 鍼灸学科	志願者数				受験者数				合格者	入学者
	第1	第2	第3	計	第1	第2	第3	計		
AO①	21	6	5	32	21	6	5	32	25	19
AO②	9	6	3	18	9	6	3	18	15	12
スポーツAO	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
公募推薦①	5	15	6	26	5	15	6	26	20	8
公募推薦②	1	12	3	16	1	11	3	15	14	8
公募推薦③	5	3	10	18	4	3	10	17	11	6
一般①A日程	7	4	5	16	7	4	5	16	3	2
一般①B日程	1	1	1	3	1	1	1	3	0	0
一般②	2	2	1	5	2	1	1	4	2	1
一般③	2	1	1	4	2	1	1	4	0	0
社会人①	1	0	0	1	1	0	0	1	1	1
社会人②	1	0	0	1	1	0	0	1	1	1
指定校推薦	10	0	0	10	10	0	0	10	10	10
学園内推薦	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
特別特待生	2	0	0	2	2	0	0	2	0	0
計	67	50	35	152	66	48	35	149	102	68

H26年度 理学療法学科	志願者数				受験者数				合格者	入学者
	第1	第2	第3	計	第1	第2	第3	計		
AO①	64	7	1	72	64	7	1	72	19	19
AO②	44	7	1	52	44	7	1	52	6	6
公募推薦①	85	11	1	97	85	11	1	97	21	13
公募推薦②	46	11	0	57	45	11	0	56	7	5
公募推薦③	48	19	0	67	46	19	0	65	6	5
一般①A日程	33	6	0	39	33	6	0	39	3	3
一般①B日程	14	2	0	16	14	2	0	16	2	0
一般②	13	6	0	19	9	6	0	15	2	2
一般③	6	5	1	12	6	3	1	10	2	2
社会人①	1	0	0	1	1	0	0	1	0	0
社会人②	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
指定校推薦	13	0	0	13	13	0	0	13	13	13
学園内推薦	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
特別特待生	7	0	0	7	7	0	0	7	0	0
計	374	74	4	452	367	72	4	443	81	68

H26年度 看護学科	志願者数				受験者数				合格者	入学者
	第1	第2	第3	計	第1	第2	第3	計		
AO①	90	1	2	93	90	1	2	93	14	14
AO②	83	0	1	84	81	0	1	82	8	8
公募推薦①	206	6	3	215	205	6	3	214	30	15
公募推薦②	163	1	1	165	157	1	1	159	12	7
公募推薦③	145	4	0	149	138	4	0	142	7	7
一般①A日程	94	3	0	97	90	3	0	93	22	9
一般①B日程	26	1	1	28	25	1	1	27	6	2
一般②	49	1	1	51	46	1	1	48	22	18
一般③	35	0	0	35	29	0	0	29	9	6
社会人①	1	0	0	1	1	0	0	1	0	0
社会人②	3	0	0	3	3	0	0	3	1	1
指定校推薦	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
学園内推薦	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
特別特待生	4	0	0	4	4	0	0	4	1	1
計	899	17	9	925	869	17	9	895	132	88

【平成26年度入学試験受験者数（大学院）】

H26年度 大学院研究科	志願者数	受験者数	合格者	入学者
第1次募集	5	5	5	5
第2次募集	2	2	2	2
第3次募集	0	0	0	0
計	7	7	7	7

4. 保健医療学部 鍼灸学科の事項について

(1) 学科構成

- 1) 平成25年度に高崎助手が入職した。結果的に、平成25年度末における専任教員は、教授15名、准教授4名、講師7名、助教2名、助手1名であった。
- 2) 研究員等については、客員教授4名、客員講師3名、客員研究員5名、研究員10名となった。
- 3) 鍼灸臨床系授業を中心として鍼灸師のティーチング・アシスタント(TA)7名をパート雇した。
- 4) 学科内を「臨床鍼灸部門」「基礎鍼灸部門」「教育共通部門」「スポーツ特修・教職部門」に分割し、役割分担を明確にした。「スポーツ特修・教職部門」の会議として、「スポーツ特修コース運営委員会」を構成し、定期的に会議を行った。

(2) 行事(鍼灸学科に関連するもののみ)

- | | |
|-----------|---|
| 5月26日 | みどり健康ウォーキングにて「はりきゅう体験」を実施 |
| 7月2日 | 第21回森ノ宮医療大学学術セミナー担当(宮本教授) |
| 7月20日 | 2013年度第1回市民公開講座担当(仲西教授) |
| 9月16日 | 2013年度第2回市民公開講座担当(澤田教授) |
| 10月12,13日 | 水と歴史の都 大阪ウオーク2013で「はりきゅう体験」を実施 |
| 11月2日 | 港区健康フェスタ2013にて「はりきゅう体験」を実施 |
| 11月3日 | 2013年度第3回市民公開講座担当(鍋田教授) |
| 11月2-4日 | 咲洲子どもフェスタにて「サッカー教室」を実施 |
| 11月5日 | 第24回森ノ宮医療大学学術セミナー担当(森教授) |
| 1月12日 | 大阪府立急性期・総合医療センターにおける「ふれあい病院探検隊」で「はり・きゅう施術体験」を実施 |
| 2月9日 | 食と健康フェスタにてイベントを実施 |
| 2月9日 | 住之江区民マラソンにて「はりきゅう体験」を実施 |
| 2月17日 | 第27回森ノ宮医療大学学術セミナー担当
(韓国韓医学研究院主席研究員 李明洙先生) |
| 2月23日 | はり師・きゅう師国家試験(桃山学院大学) |
| 3月22日 | 森ノ宮カップ少年サッカー大会を実施 |

(3) 教育

- 1) 担任教員は、1年生を辻・松熊、2年生を涌田・高崎、3年生を仲西・増山、4年生を澤田・辻丸が担当した。3・4年生の指導にはゼミ教員も参加した。
- 2) 1年生はキャリアデザインに一般教養試験や面接トレーニングなどを継続して実施した。
- 3) 業界セミナーを学生の仕事に対するモチベーションアップを目的として、1年生のキャリアデザインおよび基礎ゼミナールと連動して3回開催した(スポーツトレーナー、美容鍼灸、医療機関内での鍼灸師勤務)。
- 4) 附属施術所実習およびカンファレンスの充実を図った。
- 5) 2年次に附属施術所実習前評価として、客観的臨床能力試験(OSCE)を2月に実施した。
- 6) 4年次に卒業実技試験として、客観的臨床能力試験(OSCE)を8月に実施した。
- 7) 国家試験対策の一環として実力試験1回、模擬試験8回を実施した。模擬試験問題は専任教員がローテーションで分担して作成した。
- 8) 国家試験対策の補助として夏季および直前(2月)に補習授業を行った。
- 9) 模擬試験の結果を踏まえて、学習支援センターと連動して学習支援センターアシスタントによる個別指導を行った。

- 10) はり師・きゅう師国家試験の結果、受験者43名のうちはり師合格者は37名(86.0%)、きゅう師合格者は39名(90.7%)であった。国家試験を受験した私立大学内では1-3期生までは1位であったが、今回初めて5位に転落した。
- 11) 既卒者を対象として、国家試験対策授業の聴講生を受け入れた。既卒者でははり師を17名受験して7名合格(41.2%)、きゅう師を15名受験して7名合格(46.7%)であった。聴講生は1名を除き合格した。
- 12) 卒業研究の最終報告会を開催し、卒業論文を提出させた。また、卒業研究論文抄録集を発行した。

(4)研究

- 1) 学科専任教員による研究業績は、査読付き学術論文24編(うち英語13編)、査読なし学術論文22編(うち英語1編)、著書8編(うち英語0編)、専門分野における解説・記事5編(うち英語0編)、一般向け解説・記事0編、学会発表64題(うち国際8題)、講習会講師等30件であった。
- 2) 外部研究費獲得(受託研究を含む)は、研究代表者として、日本学術振興会科学研究費補助金6件(山下、中谷、鍋田、川畑、中原、上田)、兵庫県柔道整復師会研究助成金1件(川畑)、東洋療法研修試験財団助成金1件(山下)、全日本鍼灸学会研究助成1件(鍋田)、花王健康科学研究助成1件(上田)、ジョンソンヘルスケア株式会社受託研究1件(宮本)、ミズノ株式会社受託研究1件(宮本)であった。また、日本学術振興会科学研究費補助金の研究分担者として2件(宮本)であった。

(5)社会貢献・国際交流

- 1) 本学開催の3回の市民公開講座において、理学療法学科・看護学科とともに本学科の講師を派遣した。

(6)その他

- 1) 鍼灸学科会議を10回開催し、学科内の教育・研究・運営に関して議論し方針決定を行うとともに情報共有を図った。
- 2) 9月10,11日に1泊で教員研修会を開催した。学科の中期計画および今後の方針について協議した。
- 3) 9月11日に実技系の講師会議を開催した。兼任講師を交えて学科の実技教育における方針を確認した。特に態度教育の充実について統一を図った。
- 4) スポーツ特修コース運営委員会を9回開催した。
- 5) 就職指導の一環として、学科内就職ガイダンスを3年生および4年生を対象として実施した。

5. 保健医療学部 理学療法学科の事項について

平成25年度 報告

1. 人員

平成25年度採用者 2名：平木 治朗（教授）木内 隆裕（助教）
平成25年度退職者 1名：丸尾 佳奈（助手）
平成25年度昇格者 5名：上田 喜敏、三木屋 良輔、前田 薫、角田 晃啓、開田 千鶴

2. 教育

1) 授業内容

- ①授業手法の見直しと改善を行った。成績不良者に対する個人面談を実施した。
- ②試験等の評価方法と判定基準の再設定し、学生に合わせた学習方法を実施した。
- ③国家試験を意識した、講義内容の充実を目指した。

2) 国家試験対策

(1) 平成25年度 国家試験結果（全国平均83.7%、新卒者90.2%、既卒者31.5%）

全体	受験者数	62名	合格者数	56名	合格率	90.3%
新卒者	受験者数	54名	合格者数	53名	合格率	98.1%
既卒者	受験者数	8名	合格者数	3名	合格率	37.5%

- ①学科教員の半数で構成する国家試験対策委員
- ②国家試験を意識した授業を1年次から展開
- ③特別に国家試験対策授業の設定
- ④3年次から新しく「知識の入力と出力のトレーニング」を開始
- ⑤詳細なデータ分析による弱点の抽出
- ⑥定期的かつ頻回にわたる個別指導

(2) 国家試験対策行程

対象を、3年次4年次学生ならびに既卒希望者として対策を組む。

3年次の学生について、国家試験対策用オリジナルテキストを作成し、自己学習をさせ、週に一回の確認テストを実施した。また、基礎理学療法に関する業者模試および過去の国家試験問題を実施し、自分の不得意科目を認識し、学生のデータとしてフィードバックシートを作成し、現状を学生と教員がともに認識し対応した。

4年生においては、前期と後期に2回の臨床総合実習があり、学内における国家試験対策授業および模擬試験を実施し、学生の目標までの進捗状況の把握、学生個別の問題点の抽出、個人面談、問題点克服の個人指導を実施した。特に、個人面談は、学生1人あたり月1回と高頻度を実施され、充実した指導ができた。既卒者における希望者については、聴講生として、4年生と同様に実施した。模擬試験、講義、補講の年間スケジュールを以下に示す。

- ① 試験（第1回学内模試：第48回国家試験問題を使用）4月実施
- ② 試験（第2回学内模試：過去5年間の過去問からの創作問題）4月実施

国家試験対策 第1クール

- ③ 補講（37コマ）（実習2期学生対象）4～5月実施
- ④ 試験（第3回学内模試：過去10年間の過去問からの創作問題）5～6月実施

国家試験対策 第2クール

- ⑤ 補講（37コマ）（実習1期学生対象）6～7月実施

⑥ 試験（第4回学内模試：創作問題）7月31日実施

→夏期集中対策補習対象学生決定

国家試験対策 第3クール

⑦ 補講（学科主催 夏期集中講座）8月実施

⑧ 試験（第1回 外部業者模試〔医歯薬①〕）8月実施

+ α 学科教員による少人数制集中補習継続実施

+ α 学習支援センターによるセンターアシスタント継続実施

国家試験対策 第4クール

⑨ 試験（第5回学内模試：創作問題）10月実施

⑩ 授業（理学療法セミナー：45コマ）10月下旬～11月実施

+ α 学科教員による少人数制集中補習継続実施

+ α 学習支援センターによるセンターアシスタント継続実施

国家試験対策 第5クール

⑪ 試験（第2回 外部業者模試〔医歯薬②〕）12月実施

⑫ 補講（学科主催 東京アカデミー講師による冬期集中講座 4日間計20コマ）
12～1月実施

⑬ 補講（学習支援センター主催 外部講師特別講演）12月実施

⑭ 試験（第3回 外部業者模試〔アイペック①〕）12月実施

⑮ 試験（第4回 外部業者模試〔アイペック②〕）1月実施

⑯ 試験（第5回 外部業者模試〔アイペック③〕）1月実施

⑰ 試験（第6回 外部業者模試〔医歯薬③〕）2月実施

⑱ 試験（第7回 外部業者模試〔アイペック④〕）2月実施

⑲ 試験（理学療法セミナー定期試験）1～2月

+ α 学科教員による少人数制集中補習継続実施

+ α 学習支援センターによるセンターアシスタント継続実施

国家試験対策（第6クール）

⑳ 試験（理学療法セミナー追再試験）2月実施

+ α 学科教員による少人数制集中補習継続実施

+ α 学習支援センターによるセンターアシスタント継続実施

(3) まとめ

①3年次学生の国家試験対する認識が向上した。

②3年次より成績をデータとして残し、学習成果の進捗状況が把握しやすくなった。

③4年次における学習課題の設定を明確にすることで、学習効果が向上した。

④49回理学療法士国家試験の難易度が向上したが、文部科学省指定校の平均を上回り、全国の大学の上位に位置した。

3) 担任制

①担任制における問題点を踏まえ、そのあり方を検討した結果、学生からの相談や学生の生活内容が把握しやすくなった。

②各学年の担任設置の改善により、各学年の連携がとりやすくなった。

4) 臨床実習

(1) 実施期間

1年次：アーリーエクスポージャーとして施設見学を実施し、理学療法士の活動を知ることと勉学への意欲作りを目的に行う。実施は、平成25年7・8月の半日に実施した。

2年次：臨床見学実習として、1週間の実習を行う。患者と触れあいコミュニケーションをとること、施設での理学療法士の役割や理学療法部門の位置づけな

ど学習する。

実施期間 1期：平成25年8月5日～8月9日
2期：平成25年8月12日～8月16日
3期：平成25年8月19日～8月23日

3年次：臨床評価実習として、3週間の実習を行う。患者の検査測定、問題点抽出、理学療法プログラムの立案など症例レポートとして障害をまとめ考察する。

実施期間 1期：平成25年8月5日～8月23日
2期：平成25年8月19日～9月6日
3期：平成26年2月3日～2月21日

4年次：臨床総合実習として、8週間の実習を2回行う。学内および学外での実習の集大成として、理学療法の実施を含めて行う。

実施期間 1期：平成25年4月8日～5月31日
2期：平成25年6月3日～7月26日
3期：平成25年8月26日～10月18日

(2) 臨床実習検討会議の開催

臨床実習に関する種々の問題点を解決するために、12月から月1回、臨床実習検討会議を開催している。主な内容は、①全国および本学の実習の現状についての勉強会、②問題点とその解決策についての討論である。

(3) 実施内容とまとめ

- ①3年次の臨床評価実習の実施期間を、定期試験等への影響を考量し4期までから3期までに変更した。
- ②臨床実習における学生指導について、臨床実習指導者との関係を密にするよう考慮した。それにより学生の問題を把握しやすくなり、学内指導がしやすくなった。
- ③森ノ宮医療大学にて作成した「デイリーノート作成法」「ケースレポート作成法」等を用いて学生指導を行ったが、学生からの理解が得られないこともあった。今後改良する。
- ④臨床実習評価表を改定することにより、より臨床見学実習から臨床総合実習までの流れをよりわかりやすく充実したものにする。
- ⑤学外実習地との連携を強化し、連絡をより密にした。

3. 入試

- 1) 理学療法学科のアドミッションポリシーをもとに、受け入れ態勢を検討した。
- 2) 受験者数の増大
- 3) アドミッションセンターとの積極的な連携

4. 社会貢献（公開講座・啓発活動など）

- 1) 市民公開講座、保健所事業、病院患者会など
- 2) 全国リハビリテーション学校協会教育研究大会・教員研修会の主幹校として、大阪府にて開催した。

5. 広報活動

- 1) 高校訪問の実施
- 2) オープンキャンパスにて高校1年生からの参加に対応した内容を取り入れた。
また、保護者向けに簡単な理学療法士将来展望を織り込んだ企画をした

6. FC・SD活動

- 1) 教員の意思統一
- 2) 積極的な参加

7. 就職支援活動

- 1) 教員の関係する施設および実習病院などへの学生紹介
- 2) 就職情報の収集
- 3) 就職支援重点化施設を、これまでの就職実績と臨床実習内容を考慮して取りまとめた。

8. 施設連携

- 1) 南大阪病院、東大阪病院との部門連携の準備を行う。
- 2) 北野病院にて、教員・学生の臨床教育を試験的に行った。

9. 今後の課題

- 1) 卒後教育としての研究会・講習会を計画したが、すべての開催はできなかった。

6. 保健医療学部 看護学科の事項について

(1) 学科構成

- 1) 平成23年度看護学科創設時の教員は16名、平成24年度19名（5名就任し2名退職）の教員が活動、平成25年度は6名の教員と看護学科事務職員（助手）として1名が就任し、合計29名（教員28名・事務職員1名）となった。

平成25年度就任教職員

教授：上西洋子

准教授：安部辰夫

助教：外村昌子、藤本美穂、溝畑智子（平成25年9月）

助手：高橋可奈英

職員（助手）：田村淳

課題：精神看護学領域、在宅看護学領域、公衆衛生看護学領域の補充。

(2) 行事・協議会等(看護学科固有のもの)

- 1) 平成25年4月13日（土）

「基礎ゼミナール」の一環として1年生88名（当日は一部公共交通機関の運休により学生9名が欠席した）、看護学科教職員26名、広報室1名で琵琶湖方面へのバスツアーを行った。琵琶湖リゾートクラブにおいて『水蒸焼陶芸体験』を行った。

- 2) 平成25年7月1日（月）13：30～17：00 東京医科歯科大学

一般社団法人日本看護系大学協議会定時社員総会へ出席した(学科長)。

- 3) 平成25年7月12日（金）11：00～17：00 アルカディア市ヶ谷（私学会館）

一般社団法人日本私立看護系大学協会総会・講演会に出席した(学科長)。

- 4) 平成26年3月29日（土）10：30～15：00 新大阪丸ビル別館

日本看護系大学協議会 平成25年度文部科学省委託事業報告会に出席した。

(学科長・吉村副学科長)

- 5) 保健師課程教育に関する会議については以下の通り出席した（大巻教授・山田講師）。

平成25年6月1日（土）全国保健師教育機関協議会教員研修 日本教育会館（東京）

平成25年6月2日（日）全国保健師教育機関協議会スキルアップ研修 日本教育会館

平成25年10月22日（火）全国保健師教育機関協議会秋季教員研修会 津センターパレスホール（津市）

平成25年12月23日（月）全国保健師教育機関協議会

東海・北陸・近畿ブロック第2回定例会議 富山県民会館

(3) 教育

カリキュラム・シラバス・実習要項にもとづいて講義・演習・実習を行った。

- 1) 平成25年度から基礎実習に加えて、3年次領域別の臨地実習を実施した。

①基礎看護学実習Ⅰ（1年次生必須科目 1単位）

・平成25年8月26日(月)～8月30日（金）

・住友病院8G（58名）、大阪鉄道病院2G（12名）、急性期・総合医療センター3G（18名）

・88名中87名が単位を修得した。

②基礎看護学実習Ⅱ（2年次生必須科目 2単位）

・住友病院8G（53名）、急性期・総合医療センター2G(12名)、成人病センター2G（12名）

・済生会茨木病院2G(12名)

・89名中87名が単位を修得した。

③専門分野Ⅱ(3年次生必須科目)の領域別実習は7教科目が計画・以下の様に実施された。

・平成25年9月30日～平成26年3月21日の期間中、16週間（16単位）。

- ・成人看護学実習(急性期・慢性期)各 3 単位、老年看護学実習 I・II、3 単位と 1 単位、
 - ・母性看護学実習 2 単位、小児看護学実習 2 単位、精神看護学実習 2 単位
 - ・学生は 16 単位(16 週)を「看護学臨地実習要項」ならびに「各領域臨地実習要項」に基づいて実施した。医療施設 14、老人保健施設 3、保育園 8、保育所等 7、合計 32 にわたった。
 - ・学生は 15 グループ編成され (4~5 名/G) 70 名が臨地実習に臨んだ。
 - ・70 名中 2 名に各 1 科目が単位認定されなかった (先修条件が充たされず未実習者を除く)
- 課題：・1G に教員 1 名が指導するという条件に対し、専任の教員だけでは不可能なので実習助手を予算化しているがその助手が集まらない。
- ・臨床からは 1 グループの人数を少なくしてほしい要望がある。
 - ・実習謝金ならびに教員研修費が上がってきている。

- 2) 学生指導にはチューター制を導入し (1 期生 9G、2 期生 10G、3 期生 11G) 指導に当たっている。チューターは学生の学修上の問題、出席状況や成績、進路上の問題等について指導した。平成 25 年度は 3 年次生を中心に国試模試成績をもとに個別の指導を行った。また、3 年次生以外にも成績不良、単位未認定で留年が危ぶまれる学生について三者面談を行った。
- 3) 看護学科国家試験対策委員会が中心となって次のような模試と結果のフィードバックならびに特別講義を計画・実施した。
- ・模擬試験は次のように実施した。
 - 2 年次生：平成 25 年 8 月 22 日 テコム基礎力チェックテスト (88 名全員受験)
 - 平成 26 年 2 月 23 日 東京アカデミー低学年対象専門基礎科目確認テスト (87 名中 79 名受験)
 - 3 年次生：平成 25 年 6 月 14 日 テコム必須問題スピードテスト (83 名全員受験)
 - ・特別講義は 3 年次生ですでに留年が決定し、後期の臨地実習に参加していない 12 名に対し、平成 25 年 11 月から平成 26 年 3 月まで 10 回程度計画した。
 - ・上記の特別講義への出席率は極めて低く、学生の危機感は非常に少ないと考えて、学生・父兄・教員 (学科長・教務委員・チューター)・学部長・事務局次長による三者面談を実施した。
- 4) 正規のカリキュラムの他に学長からの講義を企画・実施した。
- 平成 25 年 5 月 14 日 (火) 5 限、テーマ：「健康長寿と高血圧の管理」

(4) 学科内委員会活動

学外・学園・研究科・学部その他に看護学科では以下の委員会を設けて活動をした。

① 学科会議

学科会議は学科の最高議決機関として毎月 1 回、合計 11 回開催し、教育、運営、社会活動、研究その他について審議し学科の方針を決定し機能させた。なお理事長、事務局次長が陪席されている。

② 領域代表者会議

看護学科の基礎・成人 (急性期)・成人 (慢性期)・精神・母性・小児・老年・公衆衛生・在宅の 9 領域の教授 (代表者) と学科長の 10 名で構成し、各領域の問題、領域に共通する問題、看護学科の重要課題等を審議し、方針を決定する委員会として毎月 1 回、合計 13 回開催した。

③ 基礎ゼミナール担当会議

平成 25 年度『基礎ゼミナール』担当教員 (10 グループ、19 名) がゼミナール開始前に方針を決定し、終了時単位認定に関する評価会をもった。なお、ゼミナールの一環としてオリエンテーションゼミナール (平成 25 年 4 月 13 日、琵琶湖方面) を実施した。また通常のゼミナール以外に文献検索の時間を 2 回設けた。

④カリキュラム委員会

カリキュラム委員会は主として各領域から1名の委員で構成した（解剖見学実習担当は4名）。

平成25年度は開設3年目であるが、完成年次以降の平成27年度から新カリキュラムに移行するためにカリキュラム改正作業を学科を挙げて行った。まず本学科の教育目的、特性を抽出(9項目)・確認し、それらに対応する教科目と学年配置を決め（マッピング）、現行カリキュラムを修正した。看護学科の(学びの)特性は次の9項目である。

1. 全人教育、2. 人間理解、3. 健康な心身のしくみと病態の理解、
4. 看護の知識・思考・倫理力、5. 看護の技術力、6. 看護の基礎実践力、
7. 連携・共働・チーム医療、8. 自学力、9. 東洋医療との連携

⑤臨地実習委員会

平成25年度はこれまでの基礎看護学実習Ⅰ・Ⅱに加えて3年次の領域別実習が開始された。（本稿(3)1)③参照）

本委員会は各領域代表10名（+学科長）で構成し、毎月1回、11回開催した。当該年度の臨地実習のためのグループ編成、オリエンテーション、実習までのスケジュール等を検討するとともに、平成26年度にはじまる「主題実習Ⅰ」「在宅看護論実習」に関する実習要項作成等を行った。また感染症対策や実習に伴うリスクの問題等の課題も検討した。

課題：現在の臨地実習施設が継続的に活用できるための工夫

⑥国家試験対策委員会

7名の委員で構成した。各学年に対する年度当初の国家試験ガイダンス、模擬試験の計画・実施、成績の解析・対策について資料を作成し、学科会議をはじめとする関連委員会へのフィードバックを行った。国家試験委員会の資料や見解によりチューターは個別面接を行った。P.2—4)を参照のこと。

⑦地域連携推進委員会

当該委員は地域連携（現時点では子育て支援「もりもりひろば」に興味ある教員が委員として9名参画している。毎月1回「もりもりひろば」を実施した。地域の母子（父子）の参加は増え、ニーズも多様化している。教員だけでなく学生ボランティアあるいは保健師課程の学生も一部に参加し学修を深めている。

参加する教員の負担が増加している。

⑧広報委員会

7名で構成する。オープンキャンパス、高等学校訪問、学外進学相談会その他について年間計画を立案し、教員あるいはボランティア学生を配置し、計画通り次のように実施した。

- ・オープンキャンパス：8回
- ・大学説明会（学科説明）：1回
- ・学外進学相談会：2回
- ・高校教員対象説明会：4回
- ・高校生のための授業見学会：1回
- ・高等学校出張講義：8校
- ・教員は広報室と連携して高等学校を訪問、学科長は全ての指定校を広報室と連携して挨拶回りをした。

⑨健康管理委員会

平成25年度新設の委員会、4名で構成する。新入生をはじめ学部生の感染症対策、システムづくりを行い「実習要項」等へ記述した。また感染症に対する最新情報の発信に努めた。

課題：学生支援室の専門職の職員との連携。

⑩就職委員会

平成25年度新設の委員会、4名で構成する。平成26年度は完成年次を迎え、4年生の就職活動が開始されることに伴い、学生への情報発信、適切な就職活動に向け学科の方針を模索した。

⑪親睦会

平成25年度新設の委員会、2名で構成する。看護学科教職員の冠婚葬祭、歓送迎会や、季節ごとの催しを企画実施した。

⑫大学院設置準備委員会

平成25年度臨時の委員会、4名で構成した。平成27年度から本学に大学院保健医療学研究科看護学専攻を「届出」で創設する予定で立ち上げた。文科省への事前相談の結果（3月20日）、既設の保健医療学専攻（M）の学位の分野に「保健衛生関係（看護学）」が含まれないため、「届出」ではなく「申請」が必要との結論であった。「設置申請」であれば看護学科教員の力を蓄える必要があると認識し、平成27年度を「延期」することにした。

課題：看護学科教員が業績を充実させること。

(5) 研究

1) 看護学科専任教員による研究業績は次のとおりである。

- ①学術論文16編（うち英3編）
- ②著書4編（うち英語0編）
- ③学会発表43題（うち英語9題）
- ④その他

課題：教員の研究業績が向上するような仕組みづくりが必要。領域のまとまりあるいは領域を超えた編成等。

2) 外部研究費獲得（研究代表者）は次のとおりである。

- ①日本学術振興会科学研究費補助金4件
- ②JICA 草の根事業補助金1件

(6) 社会貢献・国際交流

1) 社会貢献

- ①シルバーボランティア研究会フォーラム支援(高知県)
- ②朝日厚生事業団主催 「高齢者向け講座」支援
- ③森ノ宮医療大学「もりもり広場」企画・運営
- ④高等学校出張講義（千里金蘭高等学校・府立阪南高等学校・市立南港南中学校・府立今宮高等学校・
- ⑤神奈川腎移植レシピエントコーディネーター連絡会講師
- ⑥二次救命処置コースインストラクターで学外団体ボランティア
- ⑦大阪マラソン2013救護スタッフ
- ⑧大阪市立大学医学部付属病院「患者会」の支援活動
- ⑨大阪市交通局外部審査者「メンタルヘルス対策ラインケア研修」受託事業者選定審査
- ⑩大阪府看護協会の各種委員
- ⑪看護専門学校講師（精神保健・
- ⑫日本糖尿病療養指導士認定機構認定委員
- ⑬外国人母子集いの広場・母子相談
- ⑭大阪府助産婦会講師

2) 国際貢献

- ①IAGG ソウル大会におけるソウル大学教員との交流
- ②共同研究：ネパール民主連邦共和国 カスキ群タール村の生活改善－安全な水の供給推進
- ③JICA 研修 大阪研修においてネパール人 5名の受け入れ
- ④日本在住フィリピン人母子交流会の相談業務（通年）

(7) その他

1) 受賞

- ①「日本の院内助産における低リスク出産に対する医療の質指標（Quality Indicators）の開発」において日本私立看護系大学協会 平成25年度国際学会発表助成
- ②全国医療系 e-learning 交流会における奨励賞
- ③大阪府立大学 学長顕彰
- ④第28回日本国際保健医療学会 ベストロ演賞
- ⑤第31回日本肝移植研究会『優秀演題賞』

7. 大学院保健医療学研究科保健医療学専攻の事項について

(1) 研究科構成

- 1) 平成25年度より、大学院生への特別研究および専門演習の指導領域の幅を広げるため、少数の例外を除き専任講師以上の職位にある学部教員すべてが大学院を兼任することとなった。兼任講師（非常勤講師）は2名であった。特別研究担当が可能な教員は大学院の教授および修士以上の学位を有する大学院教員とした。ただし、実際に担当するかどうかは指導を希望する応募者が現れたときに個別に判断することとした。
- 2) 平成25年度の入学生は8名、2年生は1名であった。

(2) 行事

- 4月2日 入学式(保健医療学部入学式と合同)
- 9月11日 入学試験第一次募集 応募者5名、合格者5名
- 10月31日～11月1日 公益財団法人日本高等教育評価機構による視察と面談
- 1月14日 入学試験第二次募集 応募者2名、合格者2名
- 2月26日 入学試験第三次募集 応募者0名のため実施せず
- 1月16日 特別研究最終報告会(公聴会) 8名発表
- 3月20日 特別研究中間報告会 1名発表

(3) 教育

- 1) 保健医療学研究科のカリキュラムポリシーを文章で明確化した。
- 2) 学則第27条および第28条に定めた学位(修士)論文(以下「修士論文」という。)の提出と審査、および最終試験に関し必要な補足事項を定めた学位審査に関する細則を施行した。
- 3) 2年生1名が修士論文を執筆・提出した。これについて所定の審査過程を経て合格と判定し、修士(保健医療学)の学位を授与した。
- 4) 柔道整復や看護のバックグラウンドをもつ大学院生にも対応できるよう改訂された新カリキュラムを平成25年度入学生から導入した。
- 5) 大学院生には授業聴講と特別研究の活動以外に、ティーチング・アシスタント(TA)として保健医療学部の授業補助を行わせて、教育者の立場についても経験させた。また、一部の大学院生をリサーチ・アシスタント(RA)として雇用し、研究補助業務を通して研究活動の実際を体得させるとともに給与による経済的支援を行った。
- 6) 本学大学院生の現状にさらに適合したものとするため、平成26年度の教育課程を改定した。

(4) その他

- 1) 本大学院における人材の養成の目的を明確に示すため、大学院学則の変更を行った。
- 2) 入学試験について、小論文の要素を筆記試験に盛り込むことにより、独立した小論文科目を廃止した。
- 3) 授業料の減額、および本学園職員の授業料減免・入学金免除を実行した。
- 4) 保健医療学研究科看護学専攻の設置可能性について調査した。

8. 学術研究の事項について

1. 研究費の適正使用

学術研究委員会研究費配分ポリシーに則り、適正な研究費配分・使用を行い、研究活動を推進した。

2. 平成25年度の研究費執行状況

(平成25年度予算額:2360万円 平成24年度繰越額:218,5678万円 計:2578,5678万円)

(1) 個人研究費:1835.3万円

(2) 購入研究機器・購入備品・メンテナンス費・講師招聘費:603.566万円

- ①自動血圧計
- ②心電計
- ③13C02/12C02 安定同位体比分析ユニット
- ④酸化還元確認計
- ⑤島津無侵襲酸素モニタ(近赤外線分光装置)プローブ
- ⑥統計ソフト(IBM SPSS Statistics メディカルモデル)
- ⑦ノートPC
- ⑧蛍光顕微鏡付属PC
- ⑨セミナー講師招聘(看護)
- ⑩セミナー講師招聘(鍼灸)
- ⑪研究機器メンテナンス

(3) 動物実験施設運営費:69,2986万円

(1)～(3) 計 2508.1646万円

3. 学術セミナー・市民公開講座の実施

医学・保健医療研究を推進する取り組みとして、大学における研究促進・活性化を目的とした学術セミナーを平成23年度から定期的で開催している。鍼灸学科・理学療法学科・看護学科の各先生方からのレクチャーにより、異なる医療資格・研究分野の垣根を超えて知識を深め共有した。またセミナーは本学学生も自由に聴講でき、さらに市民公開講座として一般市民の参加できるものとしている。

- ・ 第18回 澤田優子講師 「ハイリスク新生児の発達支援」
- ・ 第19回 荻原俊男学長 「健康長寿と高血圧の管理」
- ・ 第20回 藤本陽子教授 「准看護師の看護師教育課程(通信制)進学に関する実態」
- ・ 第21回 宮本忠吉教授 「運動生理学研究の魅力～運動に対する生体適応現象のダイナミクス解析から見えてくるもの～」
- ・ 第22回 三木屋良輔准教授 「骨格筋委縮と治療の再考」
- ・ 第23回 山口大学大学院医学系研究科 山勢博彰教授 「根拠を見出すための医学的研究デザイン」
- ・ 第24回 森 俊豪教授 「経穴解剖学あれこれ」
- ・ 第25回 平木治朗教授 「関節運動療法」
- ・ 第26回 大巻悦子教授 「看護学生におけるコミュニケーション基礎力」
- ・ 第27回 韓国国立東洋医学研究所 主席研究員 李 明洙教授 「Systematic review and meta-analysis in the field of integrative medicine」
- ・ 第28回 河村廣幸教授 「運動分析:どこまで、何がわかるのか～」

4. 下部組織に関する事項

(1) 森ノ宮医療大学学術委員会研究倫理審査部会

- ・ 平成25年度新規実験計画申請数10件・承認件数10件・継続実験計画件数14件であり、活発な研究活動が継続されていた。

- ・ 研究の倫理性・透明性を確保するため、ヒト臨床研究に関する情報公開を本学HPにて行うこととした。
 - ・ 平成25年度新規研究計画申請数21件・承認件数21件・継続実験計画件数27件であり、活発な研究活動が継続されていた。
- (2) 動物実験施設・森ノ宮医療大学学術委員会動物実験倫理審査部会
- ・ 動物実験実施者対象に第3回動物実験訓練講習を実施した。
 - ・ 平成25年度実験動物慰霊祭を実施した。
 - ・ 平成25年次報告書を作成し、紀要・本学HPにて公表した。
 - ・ 関連法規・指針に則り、森ノ宮医療大学動物実験施設規程を整備し、動物実験に関する自己点検・評価報告書を策定した。
 - ・ 研究の倫理性・透明性を確保するため、動物実験に関する情報公開を本学HPにて行うこととした。
 - ・ 平成25年度新規実験計画申請数2件・承認件数2件・継続実験計画件数11件であり、活発な研究活動が継続されていた。
- (3) 紀要編集委員会
- ・ 森ノ宮医療大学紀要を年1回継続して発刊している。

5. 研究業績

(1) 文部科学省科学研究費獲得状況

「新規」5件

- ・ 基盤研究(C)「医療系大学における教員養成の意義と課題についての総合的研究」研究代表者：荻原 俊男
- ・ 基盤研究(C)「21世紀型中間看護管理者の情報活用能力変革プログラムの開発」研究代表者：伊津美 孝子
- ・ 若手研究(B)「ハイリスク新生児の運動発達と育児環境が発達軌跡に及ぼす影響」研究代表者：澤田 優子
- ・ 若手研究(B)「足底への振動刺激に対する姿勢応答の刺激部位による違い」研究代表者：中 正美
- ・ 若手研究(B)「腎移植レシピエントの妊娠・出産・育児に関する看護支援モデルの開発」研究代表者：吉川 有葵

「継続」10件

- ・ 基盤研究(C)「難治性てんかん患者の小児医療から成人医療へのトランジション・プログラムの開発」研究代表者：吉川 彰二
- ・ 基盤研究(C)「急増した鍼灸学科の医療安全教育の評価と、質の保持・向上のためのコンテンツ開発」研究代表者：山下 仁
- ・ 基盤研究(C)「転写因子HIF-1を軸とした関節拘縮分子メカニズムの解明：新規分子治療製剤開発」研究代表者：川畑 浩久
- ・ 基盤研究(C)「肝移植後のレシピエントの妊娠・出産における心理的体験と医療支援に関する研究」研究代表者：吉村 弥須子
- ・ 若手研究(B)「鍼通電刺激を用いた、心血管疾患リスク軽減のための外部制御システムの探索」研究代表者：中原 英博
- ・ 基盤研究(C)「はり師・きゅう師における多施設共用臨床実習前評価のための客観的臨床能力試験の検討」研究代表者：鍋田 智之
- ・ 基盤研究(C)「骨リモデリングにおけるRA系関与機構とARB骨保護作用：老年者高血圧治療の新概念」研究代表者：青木 元邦
- ・ 基盤研究(C)「脳卒中に伴う摂食嚥下障害発生機構の神経解剖学的解明」研究代表者：森谷 正之
- ・ 基盤研究(C)「思春期女子が受ける母親の喫煙のリスクと母娘への禁煙・防煙支援プログラムの開発」研究代表者：酒井 ひろ子
- ・ 若手研究(B)「随意的な立位姿勢制御の中枢過程へバイオフィードバック法がおよぼす影響」研究代表者：前田 薫

9. 大学各委員会の活動について

1. 自己点検評価・FSD委員会 事業報告

委員：安田（委員長）、小島、金尾、青木、山下、鍋田、村上、森谷、梶井、中川、在川、瀬川、石塚、森川、渡辺、岩崎、矢納

開催回数：14回開催

開催日：平成25年4月25日、5月23日、6月27日、7月25日、8月29日、9月23日、9月26日、10月14日、10月24日、11月21日、12月19日、平成26年1月30日、2月27日、3月27日

事業内容：

1) 公益財団法人日本高等教育評価機構の大学機関別認証評価の受審準備のため、大学各部署との連絡調整及び課題解決のための審議、検討を行った。

その結果、平成26年3月11日付で公益財団法人日本高等教育評価機構より評価結果は「適合」と判定された。

- ・自己点検報告書・エビデンス集の提出
- ・書面質問への回答
- ・実地調査（10月30日から11月1日）
- ・調査報告書案受け取り
- ・調査報告書案に対する意見申立て
- ・評価報告書案受け取り
- ・評価結果が「適合」と判定される
- ・本学ホームページにて評価報告書を掲載

2) 学内FSDセミナーの開催（計3回 開催場所は原則、本学西棟5階教室）

9月10日「高校生の現状と理解と対応例」老田教授・小山先生・松本先生
※同内容を9月19日・10月14日 計3回実施

1月15日「IRとEM」山形大学 福島真司教授

3月20日「講義の工夫」関西国際大学 中尾繁樹教授

3) 平成25年度授業評価アンケート・公開授業週間の実施

授業評価アンケートおよび公開授業週間を前期・後期に実施し、その結果を受け、全教職員へのフィードバックを平成26年5月15日に実施。なお授業アンケートに関しては教員からのリフレクションペーパーとともに結果を学生向けに掲示した。

2. 教務委員会 事業報告

委員：青木（委員長）、鍋田、前田、村上、永瀬、宮本、角田、吉川（彰）、在川、竹中
開催回数：11回開催

事業内容：

1) カリキュラムについて

- (1) 平成26年度理学療法学科・鍼灸学科入学者からの新カリキュラムの協議・策定
- (2) 平成27年度看護学科入学者からの新カリキュラムの協議・策定
- (3) 単位未修得者の対応方法についての協議・特別試験の制度化

2) 平成26年度学事関連スケジュールの協議

3) 前期卒業の制度化に伴う学事関連事項の調整

4) 能動的学修促進のためのシラバス改訂

5) 授業アンケート実施等による教育手法向上に向けた取り組み

6) 新規兼任講師採用についての協議

7) 教務規程の変更についての協議

3. エンロールメント・マネジメント委員会 事業報告書

委員： 小島（委員長）、管理運営会議

※以下は、EM委員会の下部組織である入試専門部会について記載

開催回数： 5回開催

事業内容：

- 1) 入試専門部会 小島（委員長）、山下、鍋田、金尾、吉村、宮本、瀬川、井上
 - (1) 平成25年度入試の入試結果と入学者の成績・国試合否の関連の検討
 - (2) 平成27年度入試の検討

4. 学生支援委員会 事業報告

委員： 宮本（委員長）、金尾、中川、三木屋、森川、住田、松熊、安田

開催回数： 10回開催

事業内容：

下部組織として、課外活動部会と進路支援部会があり、各部会からの以下の議案事項について協議した。

1) 課外活動部会

- (1) 部・公認サークルの設置基準および部・公認サークル関係の細則について
- (2) 部活動費の振り分けと使用状況の確認について
- (3) 学外施設の借り入れとバス運行計画について
- (4) 教室・南校地の設備設置について
- (5) 卒業記念祝賀会について
- (6) 卒業アルバムの配布について
- (7) 強化指定クラブ活動費の追加予算申請について
- (8) 入学前高校生の部活動参加保険について
- (9) スタジオ施設の管理について
- (10) 平成26年度以降の部費配分に対する予算ヒアリング実施について

2) 進路支援部会

- (1) 学生支援室の新たな取り組みについて（個別面談、学科会議参加等）
- (2) 平成25年度就職ガイダンスおよびキャリア支援セミナーの開催について
- (3) 学内合同就職説明会開催について
- (4) 平成25年度学生生活に関するアンケート実施について
- (5) 平成26年度進路支援計画について（一般教養、教員採用試験、保健師対策講座）
- (6) メディカフェアンケート実施について

5. 学術研究委員会 事業報告

委員： 青木（委員長）、山下、森谷、永瀬、澤田、前田、来栖、葉廣

開催回数： 4回開催

事業内容：

- 1) 研究推進に対応した平成25年度研究費に関する調整
- 2) 学術セミナー（11回）
 - (1) 開催11回
 - (2) 学術セミナーへの外部講師の招聘
- 3) 動物実験施設・森ノ宮医療大学学術委員会研究倫理審査部会
 - (1) 適正管理と運営
 - (2) 実験計画書の適正審査による倫理性の確保
 - (2) 関連法規・指針に対応した森ノ宮医療大学学術委員会研究倫理審査部会規程の整備
 - (3) 動物実験に関する自己点検・評価報告書の策定
 - (4) 研究の透明性確保のための本学ホームページにおける情報公開

- (5) 動物実験実施者を対象にした第3回動物実験訓練講習の実施
- (6) 平成25年度実験動物慰霊祭の実施
- 4) 森ノ宮医療大学学術委員会研究倫理審査部会
 - (1) 研究計画書の適正審査による倫理性の確保
 - (2) 研究の透明性確保のための本学ホームページにおける情報公開
- 5) 森ノ宮医療大学紀要編集委員会
 - (1) 森ノ宮医療大学紀要の発行
- 6) 平成26年度の研究費について
 - (1) 個人研究費の適正配分についての協議
 - (2) 購入研究機器・購入備品・メンテナンス費についての協議
 - (3) 動物実験施設運営費の協議

6. 人権問題委員会 事業報告

委員： 仲西（委員長）、安田、青木、藤本、河村、中、金、奥田

開催回数： 2回開催

事業内容：

- 1) 研修会について
 - 平成25年3月 「ハラスメントのないキャンパスにするためには」
本大学広報室参事 松本秀範氏
- 2) 学内における人権問題の対応
 - (1) 教職員と学生のソーシャルネットワークを用いた連絡方法についての対応の仕方。
 - (2) 学生ならびに教職員に対して学生支援室と人権問題委員会共催の「相談」ポスターを作成し西棟および東棟のエレベーターホールへ掲示した。

7. 附属図書館運営委員 事業報告

委員： 中村（委員長）、松熊、開田、伊津美、森谷、横山、藤重

開催回数： 1回開催

事業内容：

- 1) 図書館の適切な管理運営
- 2) ブックハンティング開催と報告
- 3) 学科・学年ごとに分けた月毎図書館利用数のモニタリング
- 4) 3学科1年生の図書館ガイダンスの実施

10. 研究支援室の事項について

1. 研究費等に関する説明会 参加状況について

① 独立行政法人日本学術振興会

「科学研究費助成事業実務担当者向け説明会」

日時：平成25年7月10日（水）

場所：関西大学 千里山キャンパス 第2学舎4号館BIGホール100

② 文部科学省

「平成26年度科学研究費助成事業公募要領等説明会」

日時：平成25年9月9日（月）

場所：大阪大学 吹田地区キャンパス コンベンションセンター3階MOホール

③ 文部科学省

「平成25年度公的研究費の管理・監査に関する研修会」

日時：平成25年10月21日（月）

場所：メルパルク東京 メルパルクホール

④ 文部科学省

「「研究における不正行為」「研究費の不正使用」に関するガイドラインの見直し等に係る説明会」

日時：平成26年3月14日（金）

場所：国立オリンピック記念青少年総合センター

2. 科学研究費助成事業からの交付について

（金額 単位：円）

研究代表者氏名	研究種目名	課題番号	交付額
鍋田 智之	基盤研究(C)	23501123	交付額 1,430,000 うち直接経費 1,100,000 間接経費 330,000
青木 元邦	基盤研究(C)	23590902	交付額 390,000 うち直接経費 300,000 間接経費 90,000
森谷 正之	基盤研究(C)	23592725	交付額 1,170,000 うち直接経費 900,000 間接経費 270,000
酒井 ひろ子	基盤研究(C)	23593352	交付額 2,080,000 うち直接経費 1,600,000 間接経費 480,000
山下 仁	基盤研究(C)	24590644	交付額 1,170,000 うち直接経費 900,000 間接経費 270,000
川畑 浩久	基盤研究(C)	24590906	交付額 2,080,000 うち直接経費 1,600,000 間接経費 480,000
吉村 弥須子	基盤研究(C)	24593344	交付額 650,000 うち直接経費 500,000 間接経費 150,000

荻原 俊男	基盤研究(C)	25350867	交付額 3,250,000 うち直接経費 2,500,000 間接経費 750,000
伊津美 孝子	基盤研究(C)	25463382	交付額 2,210,000 うち直接経費 1,700,000 間接経費 510,000
前田 薫	若手研究 (B)	23700649	交付額 650,000 うち直接経費 500,000 間接経費 150,000
中原 英博	若手研究 (B)	24700768	交付額 1,690,000 うち直接経費 1,300,000 間接経費 390,000
澤田 優子	若手研究 (B)	25750243	交付額 1,170,000 うち直接経費 900,000 間接経費 270,000
中 正美	若手研究 (B)	25750244	交付額 780,000 うち直接経費 1,400,000 間接経費 420,000
吉川 有葵	若手研究 (B)	25870952	交付額 520,000 直接経費 700,000 間接経費 210,000
吉川 彰二 (繰越)	基盤研究(C)	22592505	直接経費 492,754

3. その他の外部資金研究費等について

(金額 単位：円)

研究者の氏名	研究種目等	交付額等	備考
前田薫	科学研究費助成事業 (基盤研究(B)) 課題番号 23300238 研究分担者 分担金	分担金配分額 26,000 うち直接経費 20,000 間接経費 6,000	研究代表者所属 金沢大学 医学系 教授・藤原 勝夫
	科学研究費助成事業 (挑戦的萌芽研究) 課題番号 23650365 研究分担者 分担金	分担金配分額 26,000 うち直接経費 20,000 間接経費 6,000	研究代表者所属 金沢大学 医学系 教授・藤原 勝夫
宮本忠吉	科学研究費助成事業 (基盤研究(B)) 課題番号 24300237 研究分担者 分担金	分担金配分額 65,000 うち直接経費 50,000 間接経費 15,000	研究代表者所属 東洋大学 理工学部 教授・小河繁彦
宮本忠吉	委託研究費	1,000,000	ミズノ株式会社
上田真也	奨学研究寄付金	500,000	花王株式会社ヒューマンヘルスケア研究センター
青木 元邦	奨学研究寄付金	2,000,000	武田薬品工業株式会社
青木 元邦	奨学研究寄付金	1,000,000	第一三共株式会社
青木 元邦	経済産業省 近畿経済産業局 平成19年度 地域コンソーシアム	補完研究	NPO 法人 近畿バイオインダストリー 振興会議

4. 調書等提出状況

提出月	書類名	提出先
4 月	平成 25 年度科学研究費助成事業交付申請書 平成 25 年度科学研究費助成事業交付請求書	独立行政法人日本学術振興会
5 月	「平成 24 年度科学研究費助成事業実績報告書（収支決算報告書）」提出	独立行政法人日本学術振興会
6 月	「平成 25 年度学術研究助成基金助成金交付申請書」 「平成 25 年度学術研究助成基金助成金支払請求書」	独立行政法人日本学術振興会
	科学研究費助成事業「研究成果報告書」	独立行政法人日本学術振興会
	「競争的資金に係る間接経費執行実績報告書（平成 24 年度）」提出	文部科学省
7 月	平成 25 年度科学研究費補助金に係る分担金 受領委任状・振込依頼書	東洋大学 金沢大学
9 月	「体制整備等自己評価チェックリスト」提出	文部科学省
3 月	平成 24 年度科学研究費助成事業に係る分担金経理報告書	東洋大学 金沢大学

5. その他

国立情報学研究所 ILL 文献複写等料金相殺サービス利用の経理責任を担っている。

ReaD に研究機関として登録し機関管理を担っている。

科学研究費管理システムにて、科学研究費のうち研究代表者が本学に所属の研究課題および内部資金研究費のうち個人研究費の管理を行っている。

1.1. 教務室の事項について

(1) 学生の単位修得状況について

平成25年度における単位修得状況は以下の通りである。

【1年次】

学部	学科	在籍者数	0単位		1～10単位		11～20単位		21～30単位		31～40単位		41～50単位		51単位以上		留年者数 人数	休学者数 人数
			人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%		
保健医療学部	鍼灸学科	62	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	1.6	6	9.7	55	88.7	0	0.0	0	0
	理学療法学科	65	0	0.0	1	1.5	0	0.0	0	0.0	3	4.6	61	93.8	0	0.0	0	0
	看護学科	85	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	1.2	84	98.8	0	0.0	0	0
保健医療学部計		212	0	0.0	1	0.5	0	0.0	1	0.5	10	4.7	200	94.3	0	0.0	0	0
合計		212	0	0.0	1	0.5	0	0.0	1	0.5	10	4.7	200	94.3	0	0.0	0	0

【2年次】

学部	学科	在籍者数	0単位		1～10単位		11～20単位		21～30単位		31～40単位		41～50単位		51単位以上		留年者数 人数	休学者数 人数
			人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%		
保健医療学部	鍼灸学科	52	1	1.9	0	0.0	2	3.8	22	42.3	22	42.3	4	7.7	0	0.0	0	1
	理学療法学科	65	2	3.1	0	0.0	2	3.1	0	0.0	61	93.8	0	0.0	0	0.0	0	0
	看護学科	87	0	0.0	0	0.0	1	1.1	3	3.4	31	35.6	51	58.6	1	1.1	0	0
保健医療学部計		204	3	1.5	0	0.0	5	2.5	25	12.3	114	55.9	55	27.0	1	0.5	0	1
合計		204	3	1.5	0	0.0	5	2.5	25	12.3	114	55.9	55	27.0	1	0.5	0	1

【3年次】

学部	学科	在籍者数	0単位		1～10単位		11～20単位		21～30単位		31～40単位		41～50単位		51単位以上		留年者数 人数	休学者数 人数
			人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%		
保健医療学部	鍼灸学科	52	0	0.0	1	1.9	4	7.7	33	63.5	13	25.0	0	0.0	0	0.0	0	1
	理学療法学科	69	0	0.0	0	0.0	0	0.0	68	98.6	1	1.4	0	0.0	0	0.0	0	0
	看護学科	82	0	0.0	0	0.0	3	0.0	11	0.0	68	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0
保健医療学部計		203	0	0.0	1	0.5	7	3.4	112	55.2	82	40.4	0	0.0	0	0.0	0	1
合計		203	0	0.0	1	0.5	7	3.4	112	55.2	82	40.4	0	0.0	0	0.0	0	1

【4年次】

学部	学科	在籍者数	0単位		1~10単位		11~20単位		21~30単位		31~40単位		41~50単位		51単位以上		留年者数	休学者数
			人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%		
保健医療学部	鍼灸学科	50	1	2.0	1	2.0	1	2.0	45	90.0	2	4.0	0	0.0	0	0.0	5	1
	理学療法学科	66	0	0.0	0	0.0	6	9.1	60	90.9	0	0.0	0	0.0	0	0.0	13	0
	看護学科	0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0
保健医療学部計		116	1	0.9	1	0.9	7	6.0	105	90.5	2	1.7	0	0.0	0	0.0	18	1
合計		116	1	0.9	1	0.9	7	6.0	105	90.5	2	1.7	0	0.0	0	0.0	18	1

【大学院】

年次	在籍者数	0単位		1~10単位		11~20単位		21~30単位		31~40単位		41~50単位		51単位以上		留年者数	休学者数
		人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%		
1年	8	0	0.0	0	0.0	7	87.5	1	12.5	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0
2年	1	0	0.0	1	100.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0
保健医療学研究科計	9	0	0.0	1	11.1	7	77.8	1	11.1	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0
合計	9	0	0.0	1	11.1	7	77.8	1	11.1	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0

(2) 追・再試験受験者数について

平成25年度における追・再試験受験者数、実施科目数については以下の通りである。

①平成25年度再試験実施状況

学科	前期・後期	対象科目数	対象者数 (延べ人数)	対象者数 (実数)
鍼灸学科	前期	44	371	137
	後期	41	350	125
理学療法学科	前期	37	278	115
	後期	28	187	93
看護学科	前期	41	331	134
	後期	30	286	123
大学院	前期	0	0	0
	後期	0	0	0

②平成25年度追試験実施状況

学科	前期・後期	対象科目数	対象者数 (延べ人数)	対象者数 (実数)
鍼灸学科	前期	0	0	0
	後期	0	0	0
理学療法学科	前期	1	1	1
	後期	5	5	1

看護学科	前期	18	18	2
	後期	9	9	3
大学院	前期	0	0	0
	後期	0	0	0

(3) 特別試験受験者数について

平成25年度における特別試験受験者数、実施科目数については以下の通りである。

学科	前期・後期	対象科目数	対象者数 (延べ人数)	対象者数 (実数)
鍼灸学科	前期	27	94	49
	後期	42	181	100
理学療法学科	前期	0	0	0
	後期	17	47	35
看護学科	前期	6	15	15
	後期	16	54	39
大学院	前期	0	0	0
	後期	0	0	0

(4) 学生の資格取得状況について

平成25年度における学生の資格取得状況については以下の通りである。

資格名称	学科	資格取得者数	備考
スポーツリーダー	鍼灸学科	1	看護学科では取得不可
	理学療法学科	7	
健康食品管理士	鍼灸学科	4	
	理学療法学科	9	
	看護学科	1	
アロマコーディネーター	鍼灸学科	1	※大学での申込者
	理学療法学科	0	
	看護学科	0	

(5) 授業アンケートについて

平成25年度における授業アンケートについては以下の通りである。

①平成25年度授業アンケート実施概要

学科名	前期 (6/7~7/23) 後期 (11/28~12/19)	科目数	回答者数 (延べ)
鍼灸学科	前期	25	809
	後期	18	545
理学療法学科	前期	21	1022
	後期	15	661
看護学科	前期	22	1367
	後期	14	947

②鍼灸学科授業アンケート結果概要（肯定意見を%で表示している）

	鍼灸学科							
	4年生		3年生		2年生		1年生	
	前期→	後期	前期→	後期	前期→	後期	前期→	後期
□授業運営についての評価								
「問1」授業の開始・終了時間を守っていたと思うという学生は	96 → 95 ↓	95 → 90 ↓	96 → 100 ↑	96 → 97 ↑				
「問2」授業の内容はよくわかったと思う学生は	85 → 89 ↑	87 → 94 ↑	85 → 76 ↓	75 → 75				
「問3」シラバスにそった授業と思う学生は	92 → 89 ↓	96 → 94 ↓	98 → 96 ↓	93 → 92 ↓				
「問4」教科書・教材が適切に使用されていたと思う学生は	85 → 89 ↑	87 → 90 ↑	84 → 84	87 → 82 ↓				
□教員について								
「問5」担当教員の熱意を感じた学生は	92 → 92	94 → 97 ↑	93 → 92 ↓	92 → 87 ↓				
「問6」学生の提出課題や質問等に適切に対応していると感じた学生は	91 → 91	91 → 91	92 → 93 ↑	88 → 88				
「問7」教員からのプレゼンテーション（板書、映像、事前配布資料等）はわかりやすく、話し方も聞き取りやすかったですか	90 → 92 ↑	87 → 90 ↑	85 → 81 ↓	77 → 77				
□自らの履修態度について								
「問8」わからないことは、質問をしたり、調べた学生は	76 → 89 ↑	82 → 81 ↓	72 → 62 ↓	69 → 69				
「問9」熱意をもって授業に臨んだ学生は	86 → 89 ↑	89 → 90 ↑	72 → 77 ↑	83 → 85 ↑				

③理学療法学科授業アンケート結果概要（肯定意見を%で表示している）

	理学療法学科							
	4年生		3年生		2年生		1年生	
	前期→	後期	前期→	後期	前期→	後期	前期→	後期
□授業運営についての評価								
「問1」授業の開始・終了時間を守っていたと思うという学生は	96 → —	99 → 93 ↓	97 → 91 ↓	90 → 96 ↑				
「問2」授業の内容はよくわかったと思う学生は	100 → —	91 → 88 ↓	80 → 97 ↑	81 → 97 ↑				
「問3」シラバスにそった授業と思う学生は	100 → —	97 → 97	95 → 98 ↑	94 → 99 ↑				
「問4」教科書・教材が適切に使用されていたと思う学生は	96 → —	96 → 93 ↓	91 → 93 ↑	86 → 95 ↑				
□教員について								
「問5」担当教員の熱意を感じた学生は	100 → —	98 → 99 ↑	95 → 98 ↑	89 → 97 ↑				
「問6」学生の提出課題や質問等に適切に対応していると感じた学生は	91 → —	96 → 98 ↑	88 → 98 ↑	92 → 98 ↑				
「問7」教員からのプレゼンテーション（板書、映像、事前配布資料等）はわかりやすく、話し方も聞き取りやすかったですか	96 → —	92 → 91 ↓	79 → 96 ↑	84 → 96 ↑				
□自らの履修態度について								
「問8」わからないことは、質問をしたり、調べた学生は	83 → —	93 → 91 ↓	87 → 94 ↑	66 → 81 ↑				
「問9」熱意をもって授業に臨んだ学生は	91 → —	95 → 95	91 → 97 ↑	79 → 91 ↑				

※理学療法学科4年生は後期に実施対象科目がないため、アンケートを実施していない

④看護学科授業アンケート結果概要（肯定意見を%で表示している）

	看護学科								
	3年生		2年生		1年生				
	前期→	後期	前期→	後期	前期→	後期			
□授業運営についての評価									
「問1」授業の開始・終了時間を守っていたと思うという学生は	94	→	—	97	→	98 ↑	92	→	92
「問2」授業の内容はよくわかったと思う学生は	75	→	—	87	→	79 ↓	82	→	91 ↑
「問3」シラバスにそった授業と思う学生は	88	→	—	96	→	94 ↓	94	→	97 ↑
「問4」教科書・教材が適切に使用されていたと思う学生は	76	→	—	92	→	82 ↓	83	→	95 ↑
□教員について									
「問5」担当教員の熱意を感じた学生は	84	→	—	95	→	87 ↓	91	→	98 ↑
「問6」学生の提出課題や質問等に適切に対応していると感じた学生は	83	→	—	94	→	85 ↓	90	→	94 ↑
「問7」教員からのプレゼンテーション（板書、映像、事前配布資料等）はわかりやすく、話し方も聞き取りやすかったですか	73	→	—	87	→	77 ↓	79	→	88 ↓
□自らの履修態度について									
「問8」わからないことは、質問をしたり、調べた学生は	76	→	—	88	→	80 ↓	73	→	74 ↑
「問9」熱意をもって授業に臨んだ学生は	78	→	—	93	→	86 ↓	87	→	92 ↑

※看護学科3年生は後期に実施対象科目がないため、アンケートを実施していない

⑤平成25年度授業アンケート結果概要

各質問において、ほとんどの学生が8割以上の肯定的な回答を行っている。おおむね、授業に対する満足度は高いと推測される。しかしながら、問8の設問については肯定ポイント7割代の学年も見られ、また、学生からの自由記載コメントでは板書や配布資料等の改善を求める声もあり、学生が理解できるため、能動的な学習に取り組めるために授業運営に工夫や改善が求められている。

(6) 公開授業について

平成25年度、公開授業を以下の通り実施した。後期より授業アンケート対象科目を公開授業対象科目とし、学生目線、教員目線の双方で授業分析を行える体制を整備した。

①平成25年度前期公開授業実施概要

日程	曜日	授業形態	区分	科目名	学科	見学者数
7月9日	火	講義	専門	神経系理学療法学	看護	12
7月10日	水	講義	専門	運動器系理学療法学	理学	11
7月15日	月	演習	専門	スポーツ鍼灸学総論	鍼灸	15
7月16日	火	講義	専門	基礎きゅう実技	鍼灸	8
		演習	専門	周手術期援助論	看護	7
		演習	専門	母性看護援助論Ⅱ	看護	16
7月17日	水	演習	専門	鍼灸医学演習Ⅰ	鍼灸	16
		演習	専門	キャリアデザイン	理学	11
7月18日	木	講義	専門基礎	形態機能学(脳神経系)	看護	17
		講義	学部共通	統合医療概論	看護	15

②平成25年度後期公開授業実施概要

日程	曜日	授業形態	区分	科目名	学科	見学者数
12月16日	月	講義	専門基礎	(選)食品栄養学	理学	7
		演習	専門	小児看護援助論Ⅰ	看護	10
		演習	専門	物理療法学演習	理学	7
12月17日	火	演習	専門	理学療法評価学総論	理学	11
12月18日	水	講義	学部共通	(選)運動生理学	看護	5
		講義	専門基礎	人体の構造Ⅳ(中枢神経)	理学	11
		演習	専門	母性看護援助論Ⅰ	看護	8
		演習	専門	運動器系理学療法学技術論	理学	6
		演習	専門基礎	フィジカルアセスメント	看護	10
12月19日	木	講義	専門基礎	感覚器の医学	鍼灸	11
		演習	専門	老年看護援助論Ⅰ	看護	7
12月20日	金	演習	専門	終末期援助論	看護	12
		講義	専門	基礎鍼灸学	鍼灸	7
12月23日	月	演習	専門	経絡経穴学	鍼灸	9

(7) 教員の配置等について

①平成25年度教員の専兼比率について

	大学院	鍼灸学科	理学療法学科	看護学科	学部共通
専兼比率	92.6%	51.2%	58.7%	69.9%	57.2%

②平成25年度常勤教員の一人あたりの担当授業時間数について


区分	教 授	准教授	講 師	助 教	備 考
最 高	14	10	12	7	1授業時間 90 分
最 低	0	1	1	2	
平 均	6.375	5.684	6	4.9	

(8) 補助金の獲得状況について

平成25年度において、以下2件の補助金を申請し文部科学省より交付決定がなされました。


①平成24年度「ICT活用推進事業」(平成24年度申請、平成25年度執行)

事業名	学生の主体的な学びから学修効果を高めるためのICT環境整備(東棟401教室改修工事)
補助金交付額	5,870,000円
工事等概要	OAフロア設置、什器(パソコン用デスク)設置、ノートPC・ディスプレイ・プロジェクター設置、ドア改修工事等

	写真NO	5
	場 所	401教室
	観察・所見	
	納品後、工事完了	

②平成25年度私立大学等教育研究活性化設備整備費補助金

タイプ名称	タイプ1「建学の精神を生かした大学教育の質向上」(eラーニングシステムの導入)
補助金交付額	7,258,000円
工事等概要	サーバ設置、ソフトウェア購入等

	写真NO	3
	場 所	401教室(多目的室)
	観察・所見	
	学生用PCおよび携帯電話での画面表示状況	

(9) その他、教務室の運営に関する事項について

①授業における出欠管理方法について

平成26年度からの導入に向け、タブレット端末と学生証（ICチップ）を活用した出欠管理システムの導入に向けて準備を進めた。

②授業スケジュールについて

平成25年度においては4日間、祝日開講にて授業を実施した。

③学務システムの運用について

平成26年度稼働に向け課題配布やレポート提出などが行える機能を追加し、システム機能の強化を図った。

④各種会議体の運営について

教務室管轄となっている教授会、研究科委員会、教務委員会について滞りなく運営業務を行った。

会議名	年間開催数
教授会	18回
研究科委員会	12回
教務委員会	12回

⑤職員の育成について

平成25年度、職員育成、自己啓発を目的とし以下の研修会に出席した。

日時	研修内容等	主催者	出席者
平成25年 5月29日（水）	私学におけるコンプライアンスと労務管理	公益社団法人 私学経営研究会	室員1名
平成25年 6月7日（金）	携帯電話での授業評価アンケート、出欠確認見学会	FDメディア研究 サブグループ	室員1名
平成25年 6月21日（金）	教育システム導入実践事例発表	内田洋行株式会社	室員1名
平成25年 7月19日（金）	I Rの活用による退学者・留年者抑止対策	富士通株式会社	室員1名
平成25年 8月19日（月）	学校『経営品質』向上研究会 （株式会社開倫塾見学会）	公益財団法人 関西生産性本部	室長1名
平成25年 9月18日（水）	学校『経営品質』向上研究会 （金沢工業大学見学会）	公益財団法人 関西生産性本部	室長1名
平成25年 10月10日（木） ～11日（金）	学務システムユーザー 研修会	日本システム技術 株式会社	室員1名
平成25年 10月16日（水） ～18日（金）	教務担当部課長研修会	日本私立大学協会	室長1名
平成25年 12月4日（水）	学務システム勉強会	日本システム技術 株式会社	室員1名
平成26年 2月19日（水）	学務システム基礎講座受講	日本システム技 術株式会社	室員1名

1.2. 学生支援室の事項について

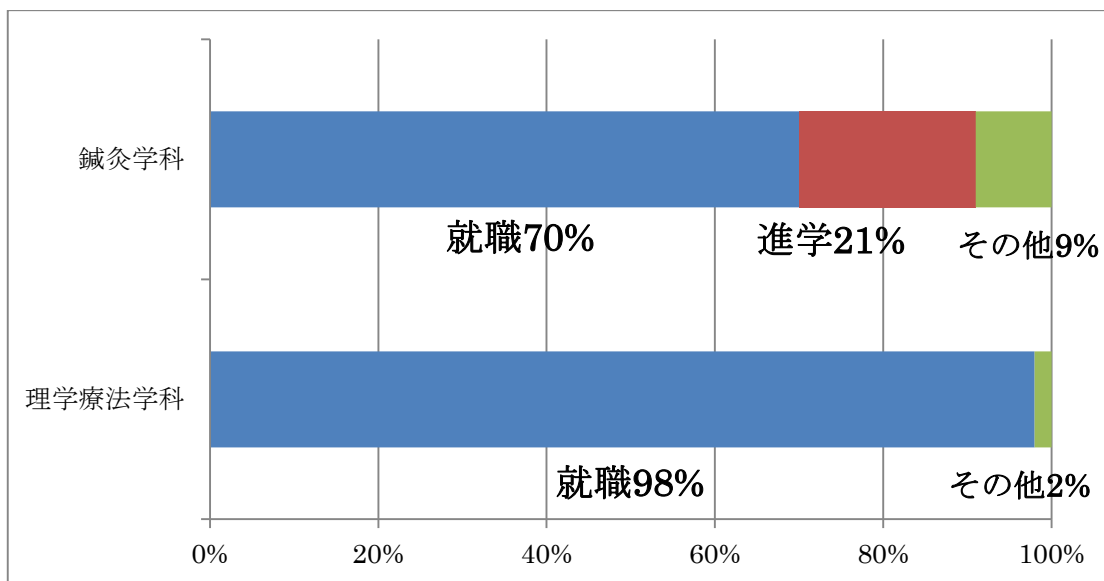
1. 森ノ宮医療大学キャリア支援事業

1) 卒業生の進路状況について

(1) 進路状況について（平成26年3月31日現在）

平成25年度就職内定および進学等の進路が決定した学生は、理学療法学科で98%、鍼灸学科においては91%となった。理学療法学科のその他2%と鍼灸学科のその他9%については、自己都合により就職を見送ったものである。

※平成25年度卒業生の学科別進路状況



(2) 就職内定先の業種分類について

就職内定先の業種分類については、鍼灸学科が鍼灸整骨院、理学療法学科は病院（回復期）での就職を決めた学生が大半であった。鍼灸師の求人は、病院・クリニックの求人の割合が少なく、理学療法士は、病院（急性期）の求人が全体的に減ってきており、学生の希望に合う求人情報を提供できなかった可能性もある。平成26年度の求人情報収集の際は、各学科中期計画の就職先施設を中心に求人票を得て、学生の要望に応じた求人情報収集に努めたい。

※鍼灸学科就職内定先 業種一覧

	鍼灸整骨院	鍼灸院	クリニック	整骨院	訪問	福祉施設
鍼灸学科	16	5	4	2	2	1

※理学療法学科就職内定先 業種一覧

	病院（急性期）	病院（回復期）	病院（慢性期）	病院（急性期～慢性期）	介護老人保健施設	整形外科・クリニック
理学療法学科	12	21	2	13	3	1

2) 求人情報収集について

平成25年度も下記の通り求人情報の収集を行っている。

(1) 求人情報の収集方法について

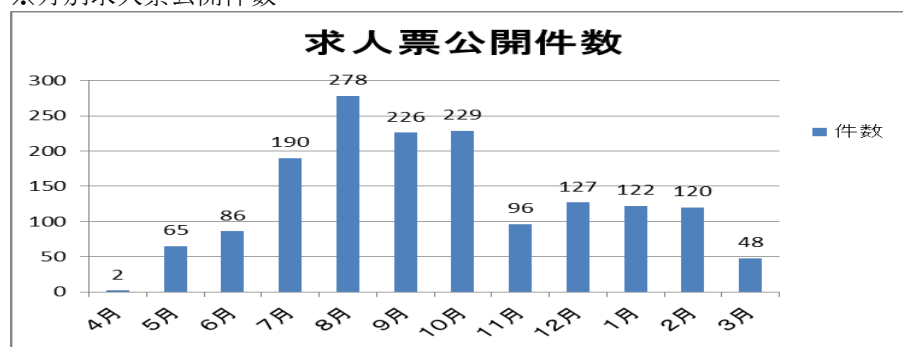
本学において保有する名簿および専門学校の求人情報も活用して、合計 9,175 通 (合計 3 回) の求人依頼のダイレクトメールを送送し、次の通り成果を得た。平成 26 年度は依頼先を限定して行う。

収集方法	採用対象	実施時期	送付対象	返信数
ダイレクトメール発送 (2学科6,532通)	鍼灸学科 理学療法学科	平成25年 6月中旬	近畿2府4県にある医療施設および、一般企業	567件
ダイレクトメール発送 (2学科1,111通)	鍼灸学科 理学療法学科	平成25年 10月中旬	近畿2府4県にある医療施設	183件
ダイレクトメール発送 (1学科1,532通)	鍼灸学科	平成26年 1月中旬	大阪府下にある医療施設 一般企業(次年度分)	51件

(2) 求人票公開件数について(平成25年3月31日現在)

平成25年度卒業予定者に対する求人情報について、以下の通り求人情報を公開した。公開方法は、本学学務システムの企業求人検索で公開のほか、本学1階の就職用掲示板への掲示および学生支援室の企業・施設別ファイル、求人票ファイルで学生に開示している。特に、学生支援室での求人票ファイルの公開には工夫を凝らし、学生の来室数が大幅に増えた。

※月別求人票公開件数



(3) 職種別求人件数について

本学宛に送付されてきた求人職種別件数は以下のとおりである。はり師、きゅう師・理学療法士・看護師・保健師に加えて、介護士・作業療法士・柔道整復師・助産師などの医療資格が必要な求人や、大学生卒業者を対象とする事務職、営業・販売職など多彩な求人情報が本学に寄せられている。

※職種別求人件数一覧

職種	件数
理学療法士	703
看護師	324
はり師・きゅう師	272
その他の保健医療従事者	216
保健師	28
事務職	19
販売職	4
営業職	3
その他	20
総計	1589

(4) 有効求人倍率について（平成26年3月31日現在）

本学に寄せられた各学科の求職者数に対する有効求人倍率は、全国の大学卒業予定者向けの平均求人倍率を大きく上回る結果となっている。

	鍼灸学科	理学療法学科
求人件数（件）	268	700
求職者数（人数）	30	52
求人倍率（倍）	8.9	13.5

※参考数値 平成25年度大学卒業予定者の求人倍率全国平均1.27倍
（リクルートワークス社調べ）

3) キャリア支援セミナーの実施について

森ノ宮医療大学教育後援会の協力を得て、在校生のキャリア支援の一環として医療現場の専

門家によるセミナーを実施した。詳細は、「11. 平成25年度学生支援室行事報告」に記載している。

4) 専門学校内部推薦説明会の開催について

森ノ宮医療学園専門学校への内部推薦説明会を5月31日と6月6日に予定していたが、開催時期が早かった可能性もあり、参加学生はいなかったが、年末に希望学生が出たため、個別に対応を行なった。

5) 就職ガイダンスの開催について

学生支援室において、就職に必要な知識技術の習得を目的とした就職ガイダンスを実施した。

詳細は、「11. 平成25年度学生支援室行事報告」に記載している。

6) 学生支援室による進路に関する個別指導について

平成25年度は学生一人ひとりに対する個別面談を強化し、鍼灸学科と理学療法学科の3年生・4年生および看護学科の3年生を対象に進路に関する面談を行なった。また、求人医療施設に関する質問や就職に関する書類作成、および面接指導や進学相談などを実施している。

学科	学年	相談者延べ人数
鍼灸学科	4	94件
	3	60件
理学療法学科	4	153件
	3	67件
看護学科	3	69件

7) 学内就職説明会の開催について

森ノ宮医療大学教育後援会協力のもと、本学に求人情報を提供いただいている医療施設を本学体育館にお招きし、学生と求人先との情報交換を目的とした学内就職説明会を8月と12月に開催した。

8) 就職活動テキストの作成について

4年生に対して、就職活動に必要な知識や技術（ビジネスマナー、履歴書の書き方、労働法規等）を記載した就職活動テキストを作成し、配布した。当テキストを就職ガイダンスや個別指導の際に活用している。

9) 進路支援事業総括

平成25年度は、本学の進路支援事業の方針に則り、各学科の臨床情報を豊富に有する就職担当教員と連携をとりながら、進路支援を実施した。特に、今年度から学生支援室では学科毎に担当制を実施し、徹底した個別面談指導を主軸に進路支援を行なった。結果、就職活動を開始する学生は例年に比べ遅かったものの、平成26年4月上旬には全員の進路が最終決定したため、平成24年度に比べ効果があったと考えている。

就職・進学情報については、学生の希望する業種や職種に絞り込みを行ない、医療施設の訪問およびダイレクトメールによる求人情報の収集を実施した。求人件数については、年々増加傾向にあるが学生のニーズに沿った求人が収集できるよう、さらなる改善を行ないたい。

また、今年度も引き続き、森ノ宮医療大学教育後援会の協力を得て、大学内に医療施設を招き学内就職説明会を実施した。平成24年度からの改善点として、鍼灸学科学生が希望するクリニックや整形外科の鍼灸師求人を行なっている参加施設を増やすことができた。理学療法学士求人については、再度大阪市内や大学病院の急性期施設に参加頂けるようにしていきたい。

学生への就職指導については教育後援会などの協力などもあり、金銭的な支援を受けることができたことから、医療現場で活躍されている方々の講演やキャリアコンサルタントによる講演会など学内だけでなく、学外からの様々な情報を学生に提供することができ、学生のキャリア形成に寄与できたと考えている。平成26年度も学生相談室をうまく活用し、引き続き進路支援強化に努めたい。

2. 課外活動

1) 平成25年度は、本学施設と舞洲スポーツアイランドの利用に加え、大阪市立中央体育館およびセレッソ大阪グラウンドの利用を開始した。また、舞洲アリーナの年間利用回数を120回、舞洲運動広場を60回利用した。

さらに、部活動の学生連盟登録等、課外活動の活発化による学生のニーズに応えるため、施設利用および送迎バスの運行を増便を行なった。平成26年度以降も、全部活動が学生連盟またはそれに準ずる連盟に加盟し、活動の活性化が予想されるため、バスの一部運用見直しを検討している。

2) 課外活動に関する規定の見直し

以下の課外活動に関する規定を見直した。

- ・森ノ宮医療大学課外活動規則
- ・森ノ宮医療大学部活動・公認サークル細則
- ・森ノ宮医療大学部活動・公認サークル顧問細則

3. 学生相談

1) 産業カウンセラー有資格者を中心に、心理カウンセリングによる学生相談を実施してきた。年々、学生の相談件数が増えており、継続的にカウンセリングを実施することで、学生の心理的改善につながってきている。平成26年度より、新しい産業カウンセラーが週3日間勤務することで、一人でも多くの問題をかかえている学生の早期対応ができるようにし、退学生を減らしていきたい。

学科	相談人数	相談件数
鍼灸学科	8人	22件
理学療法学科	4人	6件
看護学科	4人	33件
合計	16人	61件

4. 福利厚生

1) 学生食堂の運営について

学生食堂 Medi CAFE（メディカフェ）は運営5年目を迎えた。昨年同様、食堂利用満足度アンケートを実施し学生の意見を聴取した結果、多くの学生が満足しているという肯定的な意見が聞かれた。反面、メニューの多様化等に対する要望が継続的にあるため、引き続き改善に努めたい。また、食堂とは毎週金曜日の14:30から打合せを継続して情報交換や学生の意見を吸い上げる様になっている。なお、食堂運営会議は5回開催され、日々の運営についての報告や協議がなされた。さらには、小島室長よりメディカフェスタッフに対して、平成26年2月20日に株式会社ねぎしフードサービスの社員教育に関する勉強会が行われた。

2) 売店の運営について

株式会社三省堂書店が本学内に売店を設置して2年間が経過したが、教科書や文具、実技道具、食料品に加えて、平成25年度より乳製品の取り扱い、東棟キャナルクラブ内に設置された食品自動販売機の管理を開始する等、利用率の維持に努めている。また、売店運営会議は4回開催され、日々の運営についての報告や協議がなされた。

なお、平成26年度は契約期間満了の3年目を迎える。次年度以降の運営についても株式会社三省堂書店と日々協議しながら、さらなる学生サービスの向上に繋げたい。

5. 奨学金

1) 概況報告

<森ノ宮医療大学独自の奨学金制度>

- (1) 平成25年度新規採用件数は、4年間の学費全額免除型(特別特待生)奨学金が3件、ひとり住まい支援奨学金が1件、成績優秀者(在学生特待生)奨学金が3件であった。その他キャリア活用社会人奨学金および森ノ宮医療大学教育ローン利子補給奨学金については申請がなかった。

<日本学生支援機構奨学金制度>

- (1) 平成25年度予約採用件数は第一種奨学金が16件、第二種奨学金が98件であった。
- (2) 平成25年度在学定期採用推薦内示数については第一種奨学生が18名、第二種奨学生が40名であった。日本学生支援機構推薦方針により、1年を優先し割り当てることとなったが、申請者数は全学年で第一種奨学金8件、第二種奨学金12件であり、奨学金規程に基づき厳選な審査を行った結果、学力および家計基準を満たしていたため、申請者全員が採用された。
- (3) 平成25年度臨時採用希望調査が行われた結果、第一種奨学生1名、第二種奨学生3名の推薦内示数が与えられ、申請があった第一種奨学金1件、第二種奨学金1件が採用された。
- (4) 家計急変により緊急に奨学金を必要とする学生を対象に採用される緊急・応急採用については随時募集が行われており、5月に1件、12月に1件の計2件が採用された。
- (5) 平成25年度大学院第一種奨学金返還免除候補者選考規程に基づき、選考委員会にて審議した結果、修士課程1名を返還免除候補者として推薦することとなった。
- (6) 継続願提出者に関して適格認定を実施した結果、激励22件、警告6件、継続願未提出による廃止1件、辞退19件、退学(見込)5件であった。したがって平成25年度日本学生支援機構の継続奨学生数は合計361名となっている。
- (7) 平成25年度の日本学生支援機構奨学金貸与総件数は445件である。本学における奨学金貸与者の割合は約6割を占めており、年々増加傾向にある。

2) 森ノ宮医療大学独自の奨学金制度(平成25年度新規採用) (単位:件)

名称	合計
4年間の学費全額免除型(特別特待生)奨学金	3
ひとり住まい支援奨学金	1

キャリア活用社会人奨学金	0
成績優秀者（在学生特待生）奨学金	3
森ノ宮医療大学教育ローン利子補給奨学金	0
合計	7

3) 日本学生支援機構奨学金制度

《平成25年度新規採用》

(単位:件)

	第一種（無利子）	第二種（有利子）	合計
予約採用	16	98	114
定期採用	8	12	20
追加・臨時採用	1	1	2
緊急・応急採用	0	2	2
合計	25	113	138

《平成25年度返還予定》

(単位:件)

	第一種（無利子）	第一種（大学院）	第二種（有利子）	合計
貸与満期	14	1	44	59

《平成25年度適格認定》

(単位:件)

	第一種（無利子）	第二種（有利子）	合計
継続	53	280	333
激励	2	20	22
警告	0	6	6
廃止	0	1	1
辞退	2	17	19
退学(見込)	2	3	5
合計	59	327	386

《平成25年度貸与総数》

(単位:件)

	第一種（無利子）	第一種（大学院）	第二種（有利子）	合計
貸与総数	73	1	371	445

4) 関連規程

以下の奨学金に関する規定を見直した。

【改訂】

- ・ 森ノ宮医療大学 特別特待生奨学金制度規程
- ・ 森ノ宮医療大学大学院 第一種奨学金返還免除候補者選考規程

【新規】

- ・ 森ノ宮医療学園 ファミリー奨学金制度規程
- ・ 森ノ宮医療大学 スポーツ特別奨学金制度規程
- ・ 森ノ宮医療大学 入学時成績優秀者奨学金制度規程

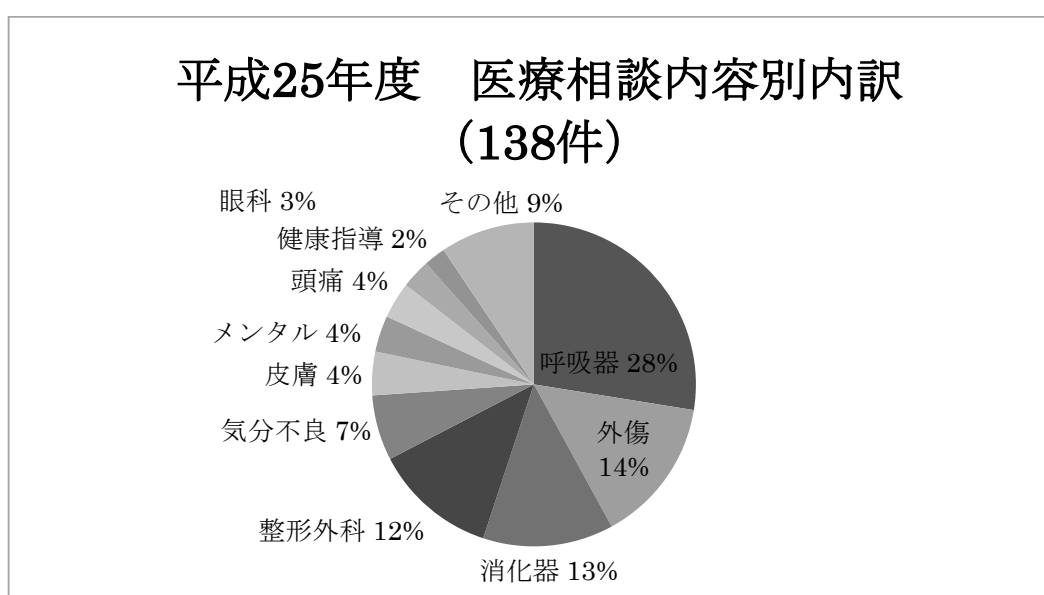
6. 医務室

1) 平成25年度の医務室利用件数は、138件（学生134件、教職員4件）で、最も利用者数が多いのは6月（28件）、10月（27件）、11月（23件）であった。登校者数の少ない8・9月、

1～3月は利用者数も減少している。

相談内容別にみると呼吸器系（発熱・頭痛を伴うもの含む）が28%と最も多く、次いで外傷14%、消化器13%、整形外科系12%であった。学内外での活動に起因する外傷と整形外科系の傷病を合わせると26%にのぼり、呼吸器疾患と合わせて全発生件数の半数を占めていた。また、傷害は前期に、呼吸器系疾患の発生は後期に発生頻度が高いのは身体活動の活発な前期と呼吸器系疾患の流行が認められる後期（冬季）といった季節性が反映されていると考えられる。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	総計
鍼灸学科	4	10	12	4	1	2	13	5	2	0	0	0	53
理学療法学科	1	2	8	2	1	1	3	15	5	1	0	0	39
看護学科	6	4	8	6	1	1	10	2	2	2	0	0	42
教職員	0	0	0	0	0	0	1	1	2	0	0	0	4
月別合計	11	16	28	12	3	4	27	23	11	3	0	0	138



医療相談者のうち、WILL 障害保険の利用学生数は24件であった。

7. 情報収集

1) 学生満足度調査の実施について

平成25年度も在学生向けに学生生活満足度調査を実施した。

実施日：4年生・・・3月13日

3年生・・・2月13日、看護学科3年生・・・3月26日

2年生・・・2月13日

1年生・・・2月13日

※平成25年度のアンケート結果は、現在集計中である。

8. 印刷物

1) 学生便覧

平成25年度も引き続き、学生便覧の作成を各部署と連携をとり学生支援室中心で作成をした。今年度は、「キャンパスライフ」にソーシャル・ネットワーキング・サービス（SNS）やハラスメントの注意事項の記載を追加した。また、「就職」の項目を追加し内容の充実化をはかった。

2) 就職テキスト

平成26年度より、看護学科の卒業生も出るため内容の充実を図るとともに、履歴書の練習を就職活動テキスト内でも記入し持ち運びができるように工夫した。

3) 企業用パンフレット

平成25年度も、平成26年度用の企業訪問および求人依頼用の企業パンフレットを作成した。今年度は企業や施設に興味を持つ、学科別の学生の出身エリア等を追加情報として載せることで、大学案内をする際の充実化をはかった。

9. 大学関係諸団体との連携

1) 学生会

平成25年度は、課外活動用利用施設の利用回数増数を行ない学生の声に応えてきた。また、大学祭は例年通り11月に実施したが、第7回目を迎えた今年度は、天候の関係もあり参加学生および来場者が減少した。施設・設備に対する点については、部活動数も増えたことにより、南校地の部活動倉庫の棚の増設等を行なう等、引き続き学生会と連携しながら可能な限り学生の要望に応えたい。

(1) 大学祭実行委員会

11月3日(日)の大学祭に向け、6月6日(木)より大学祭までの毎週木曜日昼休みに集まり、大学祭に向けての話し合いや準備を学生会中心に実施した。

・森ノ港祭前夜祭

実施日時：平成25年11月2日(土) 13:00~17:00

場所：森ノ宮医療大学 体育館兼講堂

参加人数：本学学生、教職員 約50名

・第7回森ノ港祭(大学祭)

実施日時：平成25年11月3日(日) 10:00~16:00

場所：大学コスモキャンパス、体育館兼講堂、南校地

参加人数：本学学生、教職員、地域住民 約400名

(2) 平成26年度課外活動用予算ヒアリングの実施(新規)

部活動団体の増加等により、平成26年度より学生会を中心に課外活動用予算ヒアリングを12月16日(火)~19日(金)までの4日間実施した。合計14団体の予算および昇部・昇格申請に対し、平成26年度は12部・1公認サークルが部の継続および公認サークルへの昇格が認められ、予算が確定した。

(3) 卒業記念事業

各学科4年生の4名ずつ、合計8名の卒業記念事業実行委員を中心に、6月下旬より1月上旬までの約半年間をかけ、卒業アルバム制作を実施した。また、3月の卒業式後に行われる卒業記念祝賀会や大学への卒業記念品について、卒業記念事業実行委員と協議した上で、実施した。

2) 教育後援会

大学と保護者との連携を密にして大学における教育事業を援助し、併せて会員相互の親睦を図ることを目的として運営されている教育後援会は、通算第11回総会を平成25年9月23日(月・祝)に開催し、保護者、役員、教職員合わせて67名が出席された。大学の動向や進路支援に関する情報提供や事業中間報告、新役員の改選が行われ、総会後には学科別懇談会や担当教員による個別面談会等が実施された。また、通算第12回役員会を平成25年9月23日(月・祝)に、第13回役員会を平成26年4月17日(木)に各々開催し、平成25年度事業報告および決算報告、平成26年度事業計画案および予算案等が承認された。

3) 委員会の開催について

平成25年度は、以下の委員会を開催した。

①学生支援委員会・・・10回

②進路支援部会・・・1回

③課外活動部会・・・5回

10. その他

1) 日本赤十字社主催 団体献血の実施について

社会貢献、地域貢献活動の一環として、また医療人として献血運動の推進に取り組むため、団体献血を以下の通り実施し、多くの学生、教職員の皆様に協力していただき、社会貢献の一環として有意義なものとなった。献血への理解を深め、今後も継続して積極的に献血推進に取り組んでいきたい。

	平成 25 年 11 月 14 日
受付数 (人)	61
採血数 (人)	51

2) 禁煙活動に対する巡回について

平成 25 年度は、学生の大学敷地内および周辺の喫煙に対する巡回および指導を実施した。特にセブンイレブンおよび A コープから、年間 5 回程度の指摘が入った。平成 26 年度も継続して喫煙に対する巡回を実施するとともに、禁煙セミナー等の実施を検討していきたい。

3) オープンキャンパスへの参加について

平成 25 年度もオープンキャンパスへ参加し、保護者へ奨学金、進路、学習支援センターについて説明会を 9 回実施した。また、説明会後は東棟 1F 学生ホールにて、学費や奨学金の個別相談を受け付けた。

11. 平成 25 年度学生支援室行事報告

【進路支援】

1) 鍼灸学科および理学療法学科 4 年生 第 1 回就職ガイダンス

実施日時：平成 25 年 4 月 3 日 (水) 10:40~12:20

場 所：森ノ宮医療大学 東棟 415 教室

参加人数：学生 125 名、職員 2 名

概 況：就職活動スタートに伴い、現在の就職活動を取り巻く環境や昨年度の就職状況、4 年生の過ごし方等について説明した。

2) 第 2 回就職ガイダンス (履歴書の書き方講座) 希望者のみ

実施日時：①平成 25 年 5 月 22 日 (水) 18:00~19:30

②平成 25 年 5 月 27 日 (月) 18:00~19:30

③平成 25 年 6 月 06 日 (木) 18:00~19:30

④平成 25 年 6 月 10 日 (月) 18:00~19:30

場 所：森ノ宮医療大学 東棟 412 教室

参加人数：① 23 人 ② 11 人 ③ 13 人 ④ 13 人

概 況：大学書式の履歴書を使用し、学歴・職歴などの正しい書き方や、志望動機・自己PRなどの注意事項について、例文を用い説明した。

3) 専門学校内部推薦説明会

実施日時：①平成 25 年 5 月 31 日 (金)

②平成 25 年 6 月 6 日 (木)

概 況：姉妹校の森ノ宮医療学園専門学校の内部推薦説明会を企画。開催時期が早かったためか、希望者がなく中止となった。

4) 病院、鍼灸院、施設、企業等求人票送付

実施日時：平成 25 年 6 月 11 日 (火)

- 内 容：学生の就職施策の一環として、求人情報収集の為に、4期生勤務希望地の病院、鍼灸院、施設、企業等に対し求人票、DMを6,532件送付した。
- 5) 森ノ宮医療大学教育後援会主催 第1回キャリア支援セミナー
クリニックで働く理学療法士の講演会実施
実施日時：平成25年6月13日（木）18:00～19:30
場 所：森ノ宮医療大学 東棟201教室
参加人数：学生26名、教職員3名
概 況：みどりの風クリニック リハビリテーション科の岡野雅俊氏をお招きして、スポーツ障害の診方や他医療職との連携についてお話や、スポーツ選手へのリハビリテーションプログラムの実演を行なって頂き、学生にとって有意義な講演となった。
- 6) 第3回就職ガイダンス（就活マナー講座）希望者のみ
実施日時：①平成25年6月19日（水）14:40～16:10
②平成25年6月24日（木）16:20～17:50
場 所：森ノ宮医療大学 東棟414教室
参加人数：①0人 ②2人
概 況：参加者はリクルートスーツを着用し、就職活動、試験時に必要なビジネスマナーについて、ロールプレイングを交えて指導した。
- 7) 森ノ宮医療大学教育後援会主催 第2回キャリア支援セミナー
スポーツトレーナー講演会の実施
実施日時：平成25年6月21日（金）13:00～14:30
場 所：森ノ宮医療大学 東棟415教室
参加人数：学生70名
概 況：森ノ宮医療学園専門学校卒業生の辻本智樹氏をお招きして、スポーツ現場における鍼灸師トレーナーの現状、学生時代にやっておくべきことをお話頂き、学生にとって有意義な講演となった。
- 8) 第4回就職ガイダンス（模擬面接）希望者のみ
実施日時：平成25年8月9日（金）11:00～13:30
場 所：森ノ宮医療大学 東棟101教室
概 況：実施予定であったが、キャンセルが出たため中止となった。
- 9) 森ノ宮医療大学教育後援会主催 第3回キャリア支援セミナー
就職活動マナー実践講座の実施
実施日時：平成25年8月11日（日）10:00～11:30
場 所：森ノ宮医療大学 西棟631、632教室
参加人数：鍼灸学科45名、理学療法学科50名
概 況：病院や大学で数々のマナー講座を実施しておられるキャリア・ラボの小松仁美様、大場淑代様をお招きし、就職活動に必要なマナー等について講義および実演していただいた。午後の学内合同就職説明会にすぐ実践できる、有意義な講座となった。
- 10) 第1回学内合同就職説明会（森ノ宮医療大学教育後援会協賛）
実施日時：平成25年8月11日（日）13:00～15:30
場 所：森ノ宮医療大学 体育館兼講堂
参加人数：鍼灸学科45名、理学療法学科50名
参加施設：鍼灸師募集18施設、理学療法師募集35施設
概 況：病院・施設等の人事担当者から、事業内容、求める人材、特色、採用試験

等情報を得ることができ、学生にとって貴重な経験となった。

- 11) 森ノ宮医療大学教育後援会主催 第4回キャリア支援セミナー
医療接客マナー講座の実施
実施日時：平成25年9月26日（木）16:20～17:50
場 所：森ノ宮医療大学 西棟532教室
参加人数：学生32名、教職員5名
概 況：キャリア・ラボの小松仁美様のお招きし、医療人として重要な接客マナーや患者様・職場の方々とのコミュニケーションの取り方について講義をしていただいた。挨拶トレーニングや身だしなみ、親しみやすい表情や言葉遣い等について実践し、演習も行なった。

- 12) 3回生第1回就職ガイダンス
実施日時：①平成25年10月3日（木）
②平成25年10月21日（月）
概 況：鍼灸学科と理学療法学科の3年生を対象に、就職ガイダンスを実施。就職活動の始め方や求人探し方等について説明をした。

- 13) 病院、鍼灸院、施設等求人票送付
実施日時：平成25年10月10日（木）
概 況：学生の就職施策の一環として、求人情報収集の為、学生の進路希望先を踏まえた病院・鍼灸院、施設等に対し、求人票DMを1,111件送付した。

- 14) 森ノ宮医療大学教育後援会主催 第5回キャリア支援セミナー
実施日時：平成25年12月15日（日）10:00～11:30
場 所：森ノ宮医療大学 東棟415教室
参加人数：鍼灸学科3名、理学療法学科26名
概 況：企業や大学で数々のマナー講座を実施しておられる西岡亜矢子様をお招きし、就職説明会でのマナーや活用方法等について講義および実演していただいた。鍼灸学科に関しては、同時刻に学科でガイダンスが行われていたため、少人数であった。

- 15) 第2回学内就職説明会（森ノ宮医療大学教育後援会協賛）
実施日時：平成25年12月15日（日）13:00～16:00
場 所：森ノ宮医療大学 体育館兼講堂
参加人数：両学科4年生22名、3年生59名
参加施設：鍼灸学科20施設、理学療法学科19施設、総合職募集1施設、
専門学校生募集1施設、校友会鍼灸室1施設
概 況：病院・施設等の人事担当者から、事業内容や特色、採用試験等の情報を得ることができた。4年生は目の前の就職に向けて、3年生は就職について考える貴重な経験となった。

- 16) 森ノ宮医療大学教育後援会主催 第6回キャリア支援セミナー
救急看護認定看護師の講演
実施日時：平成26年1月7日（火）10:40～12:10
場 所：森ノ宮医療大学 西棟532教室
参加人数：学生33名
概 況：大阪府立中河内救命救急センターの富岡小百合様にお招きして、救命救急センターでの看護師の仕事内容、他職種との連携、学生時代にやっておくべきこととお話頂き、学生にとって有意義な講演となった。

- 17) 学生支援室主催 第7回キャリア支援セミナー
卒業生の講演
実施日時：平成26年1月9日（木）14：40～16：10
場 所：森ノ宮医療大学 西棟414教室
参加人数：学生4名
概 況：セイリン株式会社の寺田充孝氏をお招きして、営業職を目指した理由や
仕事内容、就職活動の体験談などをお話いただいた。これから就職活動
を始める学生にとって、非常に参考となる講演になった。
- 18) 学生支援室主催 第8回キャリア支援セミナー
人事採用担当者の講演
実施日時：平成26年1月16日（木）13：00～14：30
場 所：森ノ宮医療大学 西棟414教室
参加人数：学生9名
概 況：ミズノ株式会社大阪総務課の石戸隆様、永井慎也様をお招きして、企業
が求める人材、スポーツ分野へ就職する学生への心構えをお話いただい
た。理学療法士の資格を持って開発部門で働いておられる方の声も交え
てお話いただき、医療資格を取得して企業で働くことが実際にイメージでき
る貴重な講演となった。
- 19) 病院、鍼灸院、施設等求人票送付の件
実施日時：平成25年1月28日（火）
内 容：求人情報収集の為、病院・鍼灸院・企業等に対し、求人票DMを1,588
件送付した。

【奨学金】

- 1) 日本学生支援機構 新入生対象 予約採用申込説明会
実施日時：平成25年4月4日（木）16：00～17：00
場所：森ノ宮医療大学 西棟532講義室
参加人数：学生120名、職員2名
- 2) 日本学生支援機構 新入生対象 定期採用申込説明会
実施日時：平成25年4月4日（木）16：00～17：00
場所：森ノ宮医療大学 西棟531講義室
参加人数：学生30名、職員2名
- 3) 日本学生支援機構 在学生対象 定期採用申込説明会
実施日時：①平成25年4月12日（金）12：15～13：00
②平成25年4月17日（水）12：15～13：00
場所：森ノ宮医療大学 東棟414講義室
参加人数：学生20名、職員2名
- 4) 日本学生支援機構 予約採用決定者 採用説明会
実施日時：①平成25年6月6日（木）12：15～13：00
②平成25年6月7日（金）12：15～13：00
場所：森ノ宮医療大学 東棟415講義室
参加人数：学生115名、職員2名
- 5) 第1回奨学金選考会議
実施日時：平成25年6月11日（火）13：00～14：00
場所：森ノ宮医療大学 東棟102演習室

参加人数：教員 12名、職員 3名

- 6) 日本学生支援機構 定期採用決定者 採用説明会
実施日時：①平成25年7月25日(木) 12:15~13:00
②平成25年7月26日(金) 12:15~13:00
場所：森ノ宮医療大学 東棟415講義室
参加人数：学生 20名、職員 2名
- 7) 日本学生支援機構 返還説明会
実施日時：①平成25年10月29日(火) 13:00~14:00
②平成25年10月31日(木) 13:00~14:00
場所：森ノ宮医療大学 西棟533講義室
参加人数：学生 58名、教職員 1名
- 8) 日本学生支援機構 臨時採用申込説明会
実施日時：平成25年11月25日(月) 12:15~13:00
場所：森ノ宮医療大学 東棟101演習室
参加人数：学生 3名、職員 1名
- 9) 第2回奨学金選考会議
実施日時：平成25年12月5日(木) 12:15~12:45
場所：森ノ宮医療大学 東棟102演習室
参加人数：教員 4名、職員 3名
- 10) 日本学生支援機構 適格認定継続願説明会
実施日時：平成25年12月10日(火) 12:25~13:00
平成25年12月11日(水) 12:25~13:00
平成25年12月12日(木) 12:25~13:00
平成26年1月7日(火) 12:15~12:45
場所：森ノ宮医療大学 東棟415講義室
森ノ宮医療大学 西棟632講義室
参加人数：学生 386名、職員 2名
- 11) 第1回大学院第一種奨学金返還免除候補者選考委員会
実施日時：平成26年3月14日(木)
参加人数：教員 3名、職員 2名

【教育後援会】

- 1) 平成25年度第1回(通算第12回)教育後援会役員会
実施日時：平成25年9月23日(月・祝) 13:30~13:50
場所：森ノ宮医療大学 東棟理事長室
参加人数：役員 10名、職員 3名
- 2) 平成25年度第1回(通算第11回)教育後援会総会
実施日時：平成25年9月23日(月・祝) 14:00~15:00
場所：森ノ宮医療大学 西棟531講義室
参加人数：役員 10名、保護者(正会員) 44名、教職員 13名
- 3) 平成25年度第2回(通算第13回)教育後援会役員会
実施日時：平成26年4月17日(木) 18:00~19:00
場所：森ノ宮医療大学 東棟理事長室
参加人数：役員 12名、職員 4名

12. 森ノ宮医療大学 平成25年度部活動活動状況

1. 部活動（大学公認）

1) バドミントン部

顧問：上田喜敏

学生代表者：吉田浩司

昇部：平成20年4月

人数：27名（男性10名、女性17名）

活動日：毎週 火、金

活動場所：①本学体育館、②舞洲アリーナ、③大阪市中央体育館、④住吉スポーツセンター、⑤港区スポーツセンター

実績：練習試合

2) 柔道部

顧問：宮本忠吉

学生代表者：榎谷貴史

昇部：平成20年4月

人数：2名（男性1名、女性1名）

活動日：不定期

活動場所：①本学体育館、②本学スタジオ、③修道館

実績：昇段試合

3) バレーボール部

顧問：在川洋平

学生代表者：東本裕弥

昇部：平成21年6月

人数：29名（男性12名、女性17名）

活動日：不定期

活動場所：①舞洲アリーナ、②港スポーツセンター、③大阪市立中央体育館、④小平尾南体育館

実績：ドリーマーズカップ参加

4) 陸上部

顧問：三木屋良輔

学生代表者：北川崇

昇部：平成21年7月

人数：12名（男性8名、女性4名）

活動日：不定期

活動場所：①本学外周、②本学体育館

実績：大学周辺での練習

5) ハンドボール部

顧問：澤田規

学生代表者：阪本祐平

昇部：平成21年9月

人数：1名（男性1名、女性0名）

活動日：未実施

活動場所：なし

実績：なし

6) 硬式テニス部

顧問：尾崎朋文
学生代表者：南淵友美
昇部：平成22年6月
人数：37名（男性21名 女性16名）
活動日：毎週木曜日
活動場所：①ミズノクリスタテニスコート、②長居公園テニスコート
実績：ローズフェスタカップ2013、第50回大阪スポーツ祭典参加

7) 男子バスケットボール部

顧問：中原英博
学生代表者：石川智大
昇部：平成22年6月
人数：11名（男性11名、女性0名）
活動日：不定期
活動場所：①本学体育館、②舞洲アリーナ、③他大学
実績：関西学生リーグ6部より5部へ昇格

8) 女子バスケットボール部

顧問：中原英博
学生代表者：東浦瑠依
昇部：平成22年6月
人数：18名（男性0名、女性18名）
活動日：毎週 月、水、金
活動場所：①本学体育館、②舞洲アリーナ、③他大学
実績：秋季トーナメント、関西女子リーグ戦

9) 軽音楽部

顧問：辻涼太
学生代表者：片山尚哉
昇部：平成22年11月
人数：33名（男性16名、女性17名）
活動日：不定期
活動場所：①本学構内、②各学外ライブ施設
実績：大学祭、学外イベントライブ

10) ライフサポート部

顧問：吉川有葵
学生代表者：白上哲平
昇部：平成24年11月
人数：40名（男性12名、女性28名）
活動日：不定期
活動場所：①本学教室、②大阪市立大学、③近畿ブロック血液センター
実績：学外でのAED講習会

11) サッカー部

顧問：上田真也
学生代表者：西原一晃
昇部：平成25年3月
人数：20名（男性17名、女性3名）
活動日：毎週 月、水、金
活動場所：①舞洲運動広場、②本学南校地、③セレッソグラウンド、④J-GREEN 堺
実績：関西学生サッカーリーグ3部

12) 茶道部

顧問：村上生美
学生代表者：坂本佳代
昇部：平成25年7月
人数：8名（男性1名、女性7名）
活動日：毎週 水、木
活動場所：①西棟4F 在宅演習室
実績：大学祭

2. 公認サークル（大学公認）

1) ボランティアサークル IRIS

顧問：藤本陽子
学生代表者：西村美里
昇部：平成26年3月
人数：28名（男性2名、女性26名）
活動日：不定期
活動場所：①西棟3F 実習室、大阪府立急性期総合医療センター、港区民センター
実績：もりもり広場手伝い、病棟ボランティア、ふれあい福祉広場

3. 同好会（サークル）

同好会（サークル）は、（準硬式野球、吹奏楽、スポーツボランティア、アコースティックギター、英会話、軟式野球、エアロビクス（ヨガ）等）がある。

13. 大学の広報・営業活動について

①資料請求者数（オープンキャンパス・ガイダンス等の直接接触者数を含む）

平成23年から平成24年にかけて13.6%と大きく増加した資料請求者数は、平成25年度では、さらに受験生・高校生等への本学の認知度が高まった結果、12,652件となり昨年比24.8%と大幅に上昇し、目標数値であった11,000件を上回ることができた。

※1月から次年度募集の対象となる高校生からの資料請求が多いこともあり、年度比較ではなく、年比較の数字になっています。

②オープンキャンパス

オープンキャンパスは、平成24年度の反省を踏まえ、一部日程を変更して実施した。具体的には、6月の鍼灸・理学療法W体験オープンキャンパスを高校総体の日程を考慮して1週遅らせたほか、来場者数が芳しくなかった8月3週目の開催を2週目に変更し土日の連日開催、9月のオープンキャンパスをAO入試・公募推薦入試の日程も踏まえて1週早めた3週目の開催で行った。この日程変更によって来場者が大きく伸びた学科もあり、一定の効果があったといえる。しかし、全体で見れば、理学療法学科では昨年比15.2%増となったものの、鍼灸学科では昨年比6.7%減、看護学科では12.1%減となり、昨年度を下回る結果となった。また、鍼灸学科は特別オープンキャンパスを1月12日開催し、3名の参加があった。その他、通常のオープンキャンパスとは別に実施した大学説明会(11/3・11/24)、推薦・一般入試対策講座(9/16・9/22・12/15・12/22)、祝日授業見学会(7/15・10/14)の参加者総数は406名にのぼった。

③進学相談会

進学相談会はオープンキャンパスや入試出願への誘引として大きな役割を果たすことから、参加会場数を平成24年度の44会場から49会場に増やすと同時に昨年度の結果を踏まえた参加会場の選定を行った。その結果、相談者数の合計が438名から600名（目標は昨年から100名増）、1会場あたりの相談者数が9.95人から12.24人と大きく伸びる結果となった。※なお、相談者には後日、次回のイベント告知も兼ねたサンクスレターDMを発送している。

④高校内ガイダンス（大学見学会も含む）

広報室員の増員によって、より多くの高校ガイダンスへの参画が実質的に可能となったこともあり、実施回数、受講者数とも昨年度を大きく上回る156校・2,607名（目標は100校・1,500名）に対してガイダンスを実施することができた。アンケート等で取得する本学資料送付希望者数は、アンケート不可となっていたガイダンスが多かった（51校のガイダンスがアンケート不可）こともあり、合計596名に留まったが、これまで以上に多くの高校生・保護者に対して、医療分野の理解・本学の認知を高めることができた。

⑤高校・予備校（塾）訪問

年間を通して広報室員5名で、近畿2府4県の高等学校488校、そして、新たな試みとして、17校の看護医療系予備校・塾へ訪問を行った。1校への訪問回数については、本学への出願・入学実績、エリア等を踏まえて、1～3回に区分けし、のべ訪問数としては1208校となった。また、昨年度よりもより深い情報提供を行えるように努め、本学と高校・予備校・塾とのパイプ強化を図った。

※昨年度は443校（のべ958校）に訪問。

⑥高校・予備校（塾）教員対象説明会

高校・予備校（塾）の教員に本学の入試・教育内容をより理解していただくために開催。平成25年度は、昨年度と同様の3会場（本学・大阪北・大阪南会場）で実施した。内容としては、昨年度まで実施していた外部講演を取りやめ、本学の説明に時間を費やしたほか、本学会場への参加者数の増加を狙って、はり・きゅう体験・キャンパスツアーに加え、本学教員

による特別講義を行った。結果、3会場での参加者合計は90校92名、うち本学会場の参加者数は23校23名となり、平成24年度の参加者数合計87校91名、本学会場参加者数18校19名から微増となった。各会場の参加者数は以下の通りである。

⑦地域連携

地域貢献・本学認知度の向上を目的に、大学経営企画室等とも連携して以下の地域連携イベントに取り組んだ。

- ・御堂筋 kappo (5/12)
- ・大阪府主催「みどり健康ウォーキング」(5/26)
- ・大阪府立急性期・総合医療センター連携事業「市民公開講座」(7/20・9/16・11/3)
- ・中学生サマーセミナー(7/29・8/1・8/2・8/20)
- ・幼／小中高／支援学校の教職員自主研修支援「オープン講座」(8/27)
- ・水と歴史の都 大阪ウォーク(10/12～13)
- ・港区健康フェスタ(11/2)
- ・咲洲こどもフェスタ(11/2～4)
- ・大阪ヘルスジャンボリー(10/20)
- ・ふれあい病院探検隊(1/12)
- ・食と運動健康フェスタ(2/9)
- ・住之江区民マラソン(2/11)

⑧まとめ

平成25年度の広報活動を通して、資料請求者数・WEBサイトへのアクセス数などが大幅に伸びたことから、本学の認知度向上について一定の成果をあげることができたと考えている。しかし、学生募集においては、オープンキャンパス参加者数・受験者数が減少しており、平成26年度の広報活動では、より本学の情報・魅力を明確に伝え、受験者数を回復させることが大きな課題となる。

14. アドミッションセンターの事項について

現在の組織体制と業務の遂行状況

業務分掌としては多岐にわたるが、実質的には、アドミッションセンターが直接業務遂行をしておらず、広報室業務の学内コンセンサス機関となって、広報室業務遂行の支援を中心として、実務遂行できる組織への業務移管が進行している。すなわち、広報室で起案している各種企画の内容的な報告・連絡・相談とその確定および学科内への業務依頼、情報の提供を平成25年度は12回開催したアドミッションセンター会議において確定し、それを各学科および部署にフィードバック報告する体制となっている。また、入試実務については総務室が全学的な実施体制を取っており、教員組織もその指示依頼に応じて入試運営を行っている。アドミッションセンターを構成するメンバーは、法人側からと、各学科、共通教育部門、大学院、及び事務局からメンバーを選抜し、辞令を発令している。

通常の委員会組織とはせず、教職合同の事務組織としているのは、具体的内容について当センター内で内容のチェックや問題点等は構成メンバーに諮問し、審議するが、最終的には、理事長およびセンター長による判断、決定としている。また具体的企画内容について当センターでの意見集約をすることで各種企画がスムーズに運営されることを意図している。具体的な組織構成メンバーと活動内容は以下の通り。

1. アドミッションセンター組織構成メンバー

所属部署	メンバー(19)		
法人本部(2)	(清水)	安田	小島
広報室(6)	石塚	金	廣澤
	小山	松本	大塚
事務局(3)	中川	在川	瀬川
鍼灸学科(1)	鍋田		
理学療法学科(2)	金尾	前田	
看護学科(2)	村上	伊津美	
共通教育部門(2)	宮本	老田	
大学院(1)	山下		

2. 具体的活動内容

1. 各入試日程とそれに付随する手続締め切り日等の提案と確定
2. オープンキャンパス、授業見学会、大学説明会の日程の確定
3. 広報室起案の学外へ発信する大学パンフレット等各種印刷物の学科内での検討依頼
4. 本年度における指定校推薦入試における対象校の決定および当該校の評定平均値の基準の見直しと確定
5. 広報室で企画立案しているオープンキャンパス、授業見学会・大学説明の内容のチェック・検討とその決定
6. オープンキャンパス以外の会の調整と確定
7. 高等学校から本学への見学会の内容調整
8. 高大連携の出張講義の内容の検討と学科間調整と確定
9. 広報室起案の教員対象説明会の企画実施についてのプレゼン内容打ち合わせと予行演習、企画の最終決定
10. 広報室起案の入学生アンケートについての内容のチェックとその結果報告会の実施

- 1 1. 学内推薦入試の日程の調整と決定
- 1 2. 広報室起案のWEBサイトの企画充実、調整と各学科への依頼指示
- 1 3. 本学への志願者のアプローチ状況、オープンキャンパス来学者数等データ報告
- 1 4. WEBサイト、ブログ訪問者数等のデータ分析結果の報告
- 1 5. 広報室の高校訪問等の営業活動の報告
- 1 6. 広報室立案の志願者数減少対策についての検討と学科調整業務について指示依頼
- 1 7. 広報室起案の広告戦略についての検討報告
- 1 8. 大学経営企画室、広報室起案の地域貢献・連携イベント（「ふれあい病院探検隊」、「食と健康フェスタ」、「住之江区マラソン」、「森ノ宮カップサッカー大会」、「中学生サマーセミナー」、「小中高教員対象オープン講座」、「大阪ウォーク」）の確認と報告
- 1 9. 広報室提案の入学前教育の検討と確定
- 2 0. 各入試の志願者状況の報告
- 2 1. 受験雑誌等を発刊する各事業者への出稿についての内容確認依頼と報告
- 2 2. ライバル他校の情報収集結果の報告と外的環境分析等情報の共有
- 2 3. 鍼灸特別入試の実施日程の企画と管理運営会議で承認いただくように提案
- 2 4. オープンキャンパス、入試等の実施にあたり学生スタッフへの非常時対応相談
- 2 5. 入試時における保護者説明会の実施

3. アドミッションセンターの業務分掌における現状と課題

業務分掌	主担当	実務運営部署	課題
(1)入学試験問題の作成に関する事	小島	EM委員会入試専門部会	機密保持と問題作成チェック作業の外注化についてのコスト削減、
(2)オープンキャンパスの企画立案、運営に関する事	石塚	広報室	学科特性に応じた内容の掘り下げと特色の打ち出し
(3)学生募集にかかる企画立案、運営に関する事	石塚	広報室	状況分析の結果、当初の計画を変更する場合での機動的な修正対応策の実施
(4)大学の広報業務全般に関する事	石塚	広報室	学内・現場からのからの情報の発信力の増強
(5)志願者のデータ管理に関する事	瀬川	総務室	入学後在学時の成績との分析、国試合格とのデータ比較
(6)大学教員への取材対応に関する事	石塚	広報室	
(7)高大連携に関する事	石塚	広報室	
(8)学外との交流に関する事	小島	大学経営企画室	ブランド構築に向けてのさらなる実質化
(9)公開講座及び生涯学習に関する事	小島	大学経営企画室	学内の有効な意識向上策の提示と実行

4. 会議開催日と参加者数

回数	会議開催日	会議参加者数
第1回	平成25年4月25日	14
第2回	平成25年5月23日	13
第3回	平成25年6月27日	16
第4回	平成25年7月25日	16

第 5 回	平成 25 年 8 月 29 日	17
第 6 回	平成 25 年 9 月 26 日	15
第 7 回	平成 25 年 10 月 24 日	16
第 8 回	平成 25 年 11 月 21 日	17
第 9 回	平成 25 年 12 月 19 日	18
第 10 回	平成 26 年 1 月 30 日	19
第 11 回	平成 25 年 2 月 27 日	19
第 12 回	平成 25 年 3 月 27 日	17

15. 地域連携・社会貢献・他組織（病院等との）連携事業について

(1) 地域連携・社会貢献事業について

1) 市民公開講座

第一線で活躍する大阪府立急性期・総合医療センターの医師と本学の研究者が、身近な病気の治療や予防についてわかりやすく講演する市民公開講座「予防・治療から社会復帰へのケア—最近の進歩—」（年3回シリーズ）を7月、9月、11月に開催した。平成24年度に始まった同センターとの連携事業で、本年度が2年目。大阪府・大阪市の後援、住之江区役所の共催で実施し、参加者は3回でのべ200名だった。

より多くの市民に参加してもらうため、「大阪府政記者クラブ」「大阪市政記者クラブ」「大阪科学・大学記者クラブ」に対するプレスリリースを実施し、読売新聞、神戸新聞が案内記事を掲載した。また、ATCが編集・発行する南港新聞、住之江区の広報紙「さざんか」にも開催案内が掲載された。さらに、大阪市健康局の「すこやかパートナー」制度を利用して同市内22区の区役所にチラシ設置を行った。

各回の開催概要は以下のとおり。

第1回 糖尿病			
開催日時	平成25年7月20日（土）	13:30～15:30	
開催場所	森ノ宮医療大学	西棟531	
参加人数	69名		
開催内容	基調講演「糖尿病診療の進歩」	馬屋原 豊	大阪府立急性期・総合医療センター 糖尿病代謝内科部長
	講演Ⅰ「糖尿病と鍼灸治療」	仲西 宏元	森ノ宮医療大学 保健医療学部 鍼灸学科 教授
	講演Ⅱ「糖尿病と理学療法」	河村 廣幸	森ノ宮医療大学 保健医療学部 理学療法学科 教授
	講演Ⅲ「糖尿病と看護—フットケア—」	藤本 陽子	森ノ宮医療大学 保健医療学部 看護学科 教授

第2回 認知症			
開催日時	平成25年9月16日（月祝）	13:30～15:30	
開催場所	森ノ宮医療大学	西棟531	
参加人数	93名		
開催内容	基調講演「認知症診療の進歩」	狭間 敬憲	大阪府立急性期・総合医療センター 脳卒中センター長、神経内科部長
	講演Ⅰ「認知症と鍼灸治療」	澤田 規	森ノ宮医療大学 保健医療学部 鍼灸学科 教授
	講演Ⅱ「認知症と理学療法」	三木屋 良輔	森ノ宮医療大学 保健医療学部 理学療法学科 准教授
	講演Ⅲ「認知症と看護」	上西 洋子	森ノ宮医療大学 保健医療学部 看護学科 教授

第3回 肺ガン			
開催日時	平成25年11月3日(日)	13:30~15:30	
開催場所	森ノ宮医療大学	西棟531	
参加人数	38名		
開催内容	基調講演「肺ガン診療の進歩」	谷尾 吉郎	大阪府立急性期・総合医療センター 医務局長・主任部長
	講演Ⅰ「肺ガンと理学療法」	金尾 顕郎	森ノ宮医療大学 保健医療学部 理学療法学科 教授
	講演Ⅱ「肺ガンと看護」	吉村 弥須子	森ノ宮医療大学 保健医療学部 看護学科 教授
	講演Ⅲ「緩和ケアにおける鍼灸治療」	鍋田 智之	森ノ宮医療大学 保健医療学部 鍼灸学科 教授

2) もりもりひろば

本学看護学科の教員が中心となり、近隣に住む0歳~1歳半の子どもとその家族を対象に絵本の読み聞かせや交流などを行う「もりもりひろば」を、平成23年11月からほぼ毎月1回のペースで開催しており、平成25年度も10回にわたって実施した。毎回様々なテーマが設定され、育児に関する実用的な情報提供に加え、母親の心身のケアにも配慮した内容になっている。

平成25年度の開催日程とテーマは以下のとおり。

回	年	月	日	テ ー マ
17	平成25年	4月	6日	「良いかげん」「ゆったり」「イキイキ」子育ての秘訣
18		5月	11日	赤ちゃんの運動発達について
19		6月	8日	熱中症の予防
20		7月	6日	赤ちゃんのスキンケアについて一緒に考えてみませんか
21		8月	3日	親子で楽しむ絵本の読み方
22		10月	5日	小児鍼から学ぶファミリーケア
23		11月	9日	今日は思いっきりママトーク!! ママのこころとからだ
24	平成26年	1月	11日	ベビーマッサージ
25		2月	8日	育児の「あるある」語りませんか?
26		3月	1日	おかあさんのヨガ

3) みんなで kappo! 御堂筋フェスタ 2013

開催日時 平成25年5月12日(日) 13:00~17:00

開催場所 御堂筋(久太郎町3交差点南側~新橋交差点北側)

主催 御堂筋 kappo 実行委員会(大阪府、大阪市、大阪商工会議所等で構成)

全体参加者数 40万名(主催者発表)

訪問者数(本学ブース) 478名(理学療法学科178名、看護学科300名)

本学参加者 教員6名(理学3:上田喜、河村、開田、看護3:吉川有、藤本美、高橋)、職員3名(小島、金、大塚)、学生19名

御堂筋の一部を歩行者天国とし、企業や各種団体がブースを出展。本学は「各種体験ゾーン」において、理学療法学科が「寝たきりにならないための体力測定と相談会」、看護学科が「一時救命処置体験」を運営した。

4) みどりと健康ウォーキング 2013

開催日時 平成25年5月26日(日) 10時開会(終了15時半ごろ)

開催場所 相愛大学(スタート)~森ノ宮医療大学(ゴール)

主催 大阪府、大阪市
共催 相愛大学、森ノ宮医療大学
全体参加者数 約200名
本学参加者 教員5名（理学2：金尾、平木、鍼灸3：仲西、松熊、高崎）、
職員5名（小島、寺井、廣澤、大塚、石川）、学生10名

相愛大学をスタートし、大阪府咲洲庁舎、大阪南港野鳥園などのチェックポイントを通過して森ノ宮医療大学にゴールするウォーキングイベント。6kmと10kmのコースがあり、本学はゴールの運営を担当。鍼灸学科の学生による参加者への血圧測定と、理学療法学科教員によるストレッチ体操の指導のほか、附属施術所では鍼灸無料体験を実施した。

5) 水と歴史の都 大阪ウォーク 2013

開催日時 平成25年10月12日（土）～13日（日）
メイン会場 大阪城西の丸庭園
主催 大阪ウォーク実行委員会（大阪市、日本ウォーキング協会、朝日新聞社）
後援 厚生労働省、大阪府、大阪市教育委員会など
全体参加者数 約2万2800名（ウォーキング不参加の「その他来園者」等含む）
訪問者数（本学ブース） 88名（2日間の合計：1日目＝41名、2日目＝47名）
本学参加者 教員1名（高崎）、職員2名（小島、大塚）、卒業生3名

大阪城西の丸庭園をスタート&ゴールとする市民ウォーキング。各日4コース（30km、20km、10km、4km/5km）に分かれ、コースによっては淀川や長居公園、中之島公園など大阪の名所を巡る。西の丸庭園では企業や団体が様々なブースを設け、本学も専門学校と合同で「無料鍼灸体験」を実施。ゴール後のウォーキング参加者の腰下肢に、貼るタイプの鍼での施術を行った。

6) 住之江区みんなの健康展&食育フェスタ

開催日 平成25年10月26日（土）
場所 住之江区役所（区民ホールなど）
主催 住之江区みんなの健康展実行委員会
全体参加者数 135名
本学参加者 教員5名（大巻、山田、住田、奥川、藤本美）、学生1名

体脂肪、動体視力測定など健康に役立つコーナーと、子どもと楽しめるおやつ作りなどの食育コーナーが設けられた住之江区のイベント。本学からは「もりもりひろば」を運営する教員や学生が参加し、手作りおもちゃを作れる「遊びの広場コーナー」を出展した。「もりもりひろば」の活動を紹介するパネル展示も行った。

7) 港区健康フェスタ 2013

開催日 平成25年11月2日（土）
場所 大阪府中央体育館
主催 港区健康づくり推進会議・健康フェスタ2013実行委員会
訪問者数（本学ブース） 100名以上
本学参加者 教員3名（仲西、宮本、辻丸）、職員1名（石塚）、学生9名

港区で11月を「港区健康月間」と定めているのにあわせ、区民の健康保持・増進を目的に開催された健康イベント。本学は協賛団体となっており、森ノ宮医療学園専門学校と共同で「心身からみる健康状態～東洋医学 体質チェック」と、「最新の呼気ガス分析装置（ダグラスバッグ法）を用いた基礎代謝量の測定・評価」の2ブースを出展した。

8) 咲洲子どもフェスタ

開催日 平成25年11月2日（土）～4日（月振）
場所 ATC、大阪府咲洲庁舎、ミズノ、森ノ宮医療大学
主催 咲洲子どもフェスタ実行委員会（大阪府、大阪市、ATC、森ノ宮医療大学、ミズノ）

訪問者数（本学コーナー） 心肺蘇生&AED講習会…2日間で130名以上、
ピザ作り教室…10名（先着20名）、サッカー教室…8名
本学参加者 教員2名（吉川有、上田真）、職員3名（小島、森川、大塚）、学生45名

咲洲地区の官民が連携し、子どものチャレンジを応援していくプロジェクト「咲洲キッズチャレンジ」を始動することになり、そのキックオフイベントとして企画された3日間の催し。開催期間と大学祭が重なった本学でも、子どもが参加できる3つの企画「心肺蘇生&AED講習会」「ピザ作り教室」「サッカー教室」を実施した。

9) ふれあい病院探検隊

開催日時 平成26年1月12日（日）10時～16時

会場 大阪府立急性期・総合医療センター

主催 大阪府立急性期・総合医療センター

協力 大阪府立大学、相愛大学、森ノ宮医療大学

訪問者数（本学ブース） 鍼灸学科…140名、理学療法学科…80名、
看護学科…ブース来場218名（クイズ参加153名）

本学参加者 教員13名（鍼灸4…松熊、増山、辻、高崎、理学4…金尾、平木、三木屋、前田、看護5…藤本陽、伊津美、田中、吉川有、藤本美）、職員5名（小島、廣澤、小山、金、大塚）、学生…25名（うち15名は病院側の手伝い、10名は本学ブースの手伝い）

医療機関の仕事に興味を持つ高校1、2年生（定員500名）を対象とした職業体験イベント。病院の各科や薬局、事務局などが体験やクイズなどを用意し、高校生が自由に見て回れる。3大学が講堂でブースを出し、本学は看護学科が「ナースのたまごウルトラクイズ」、理学療法学科が「からだか床から受ける力の分布は、姿勢によってどう変わる？」、鍼灸学科が「①はり・きゅうを体験しよう！②自分でできるツボ療法」を出展した。

10) 食と運動健康フェスタ

開催日時 平成26年2月9日（日）午前10時～16時

場所 ポートタウンショッピングセンター セントラルコート

主催 相愛大学、森ノ宮医療大学

訪問者数（本学コーナー） 約70名

本学参加者 教員2名（中原、上田真）、職員1名（金）、学生7名

本学と相愛大学が連携し、「生活習慣病」や「メタボリックシンドローム」の改善に欠かせない食と運動について、地域住民に考えてもらおうというイベント。平成23年から開催され、今年が3回目。本学は最新の呼気ガス分析装置を用い、基礎代謝量の測定・評価をテーマにしたブースを出展した。

11) 住之江区民マラソン大会

開催日 平成26年2月11日（火祝）

場所 南港中央公園からポートタウン内

主催 住之江区体育厚生協会

協賛 ミズノ

訪問者数（本学ブース） 30名以上

本学参加者 教員2名（高崎、吉川有）、職員2名（小島、廣澤）、学生17名

南港中央公園を発着点に、10km、5km、3km、2km、1.5kmの5部門で競うマラソン大会。本学学生が救護助手などの運営スタッフとして参加したほか、ランナーを対象とした「はり・きゅう無料体験」を出展した。

(2) 他組織との連携について

1) 北野病院

平成25年5月27日（月）、大阪市の「公益財団法人田附興風会医学研究所 北野病院」と相互連携協定を結び、北野病院で調印式を行った。覚書では以下の事業を行うことを確認した。

- ①保健医療・医学分野における共同研究の実施
- ②森ノ宮医療大学から北野病院への医師・鍼灸師・理学療法士・看護師等派遣による医療活動
- ③森ノ宮医療大学保健医療学部学生の実習、および大学院保健医療学研究科学生に対する北野病院による研究指導の受入れ
- ④保健医療・医学分野に関する講義・講演等を通じた人材の相互派遣
- ⑤森ノ宮医療大学卒業生に対する北野病院の就職受入れ
- ⑥双方の施設の相互有効利用

2) 住之江区

平成26年1月9日（木）、住之江区役所と包括連携協定を締結し、本学理事長室で調印式を行った。覚書では以下の事業を行うことを確認した。

- ①住之江区保健福祉センター主催の「みんなの健康展」等、健康づくりに関する市民啓発事業への森ノ宮医療大学の教員の協力及び学生ボランティアの派遣
- ②住之江区と森ノ宮医療大学による市民公開講座の共催
- ③森ノ宮医療大学から住之江区内の学校への学生ボランティアの派遣
- ④住之江区内の学校から森ノ宮医療大学への職業体験の受入れ
- ⑤森ノ宮医療大学、同大学院の教育・研究事業への協力
- ⑥森ノ宮医療大学から住之江区のまちづくり・まちおこしに関する企画・運営等への学生参加の促進
- ⑦大学が実施する地域子育て広場と、区保健福祉センターが実施する母子保健事業の連携、協力
- ⑧その他

3) 協和会

平成26年1月15日（水）、医療法人協和会と相互連携協定を締結し、協和会で調印式を行った。覚書では以下の事業を行うことを確認した。

- ①保健医療・医学分野における共同研究の実施
- ②森ノ宮医療大学から協和会への医師・鍼灸師・理学療法士・看護師等派遣による医療活動
- ③森ノ宮医療大学保健医療学部学生の実習、および大学院保健医療学研究科学生に対する協和会による研究指導の受入れ
- ④保健医療・医学分野に関する講義・講演等を通じた人材の相互派遣
- ⑤森ノ宮医療大学卒業生に対する協和会の就職受入れ
- ⑥双方の施設の相互有効利用

16. 学習支援センターの事項について

1. 学習支援センター利用に関する説明会

- ①平成 25 年度オリエンテーション時に、新入生に対し学習支援センター員より学習支援センターの概要等を説明した。

2. 学習支援センター会議の運営について

- ①平成 25 年度は下記の通り学習支援センター運営のための会議を行った。

回数	日程	時限	場所
第 1 回学習支援センター会議	平成 25 年 5 月 9 日 (木)	15:00～16:00	東棟 102 教室
第 2 回学習支援センター会議	平成 25 年 7 月 11 日 (木)	15:00～16:00	東棟 102 教室
第 3 回学習支援センター会議	平成 25 年 9 月 12 日 (木)	15:00～15:40	東棟 102 教室
第 4 回学習支援センター会議	平成 25 年 11 月 14 日 (木)	15:00～15:30	東棟 102 教室
第 5 回学習支援センター会議	平成 26 年 1 月 9 日 (木)	15:00～15:40	東棟 102 教室
第 6 回学習支援センター会議	平成 26 年 3 月 6 日 (木)	15:00～16:00	東棟 102 教室

3. 平成 25 年度学習支援センターアドバイザーについて

氏名	業務	回数	勤務時間
前川 葉子	学生からの学習相談初期対応および 学習指導	58 回	毎週木・金曜日 13:00～20:00
松原 勝美	学生からの学習相談および学習指導	32 回	毎週月曜日
高橋 照美	レポートの書き方、メモの取り方、小論文	31 回	毎週水曜日 18:00～19:30

4. 平成 25 年度学習支援センターアシスタントについて

1) 鍼灸学科

卒業生を学習支援センターアシスタントとして雇用し、定期的実施される国家試験模擬試験成績の下位 20%の学生に対して、きめ細かい少人数制指導を行った。アンケートの結果から、センターアシスタント対応について大半の学生が満足しており、多くの学生の成績を向上させる結果となった。

2) 理学療法学科

4 年次に臨床総合実習が配置されているため、10 月より指導開始。担当制はとらず、10 人程度の小クラスを組み、学生フォローを実施した。その結果、学習支援対象者からも大変好評であり、実際に成績が向上した学生も多数みられた。

5. 学習支援センターアシスタント利用対象者のアンケート結果

学習支援センターアシスタントを利用した学生から、以下の 5 項目についてアンケート調査を年度末に実施した。

【鍼灸学科】

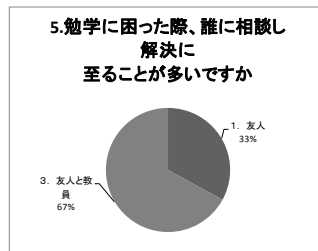
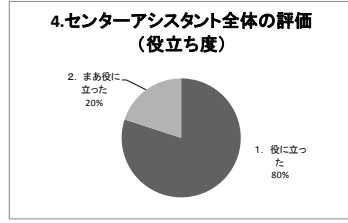
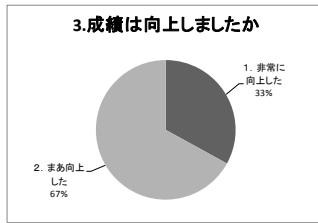
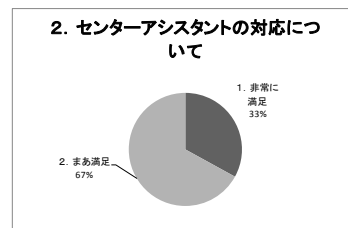
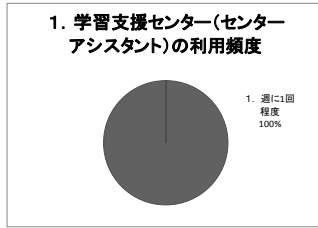
1. 学習支援センター(センターアシスタント)の利用頻度		
	人数	%
1. 週に1回程度	33	100%
2. 2週間に1回程度	0	0%
3. 月に1回程度	0	0%
4. 半年に1回程度	0	0%
5. 年に1回程度	0	0%

2. センターアシスタントの対応について		
	人数	%
1. 非常に満足	5	33%
2. まあ満足	10	67%
3. やや不満	0	0%
4. 非常に不満	0	0%

3. 成績は向上しましたか		
	人数	%
1. 非常に向上した	5	33%
2. まあ向上した	10	67%
3. あまり向上しなかった	0	0%
4. まったく向上しなかった	0	0%

4. センターアシスタント全体の評価(役立ち度)		
	人数	%
1. 役に立った	12	80%
2. まあ役に立った	3	20%
3. あまり役に立たなかった	0	0%
4. 役に立たなかった	0	0%

5. 勉学に困った際、誰に相談し解決に至ることが多いですか		
	人数	%
1. 友人	4	33%
2. 友人とセンターアシスタント	0	0%
3. 友人と教員	8	67%
4. 友人と先輩	0	0%
5. 教員とセンターアシスタント	0	0%



【理学療法学科】

1. 学習支援センター(センターアシスタント)の利用頻度		
	人数	%
1. 週に1回程度	6	100%
2. 2週間に1回程度	0	0%
3. 月に1回程度	0	0%
4. 半年に1回程度	0	0%
5. 年に1回程度	0	0%

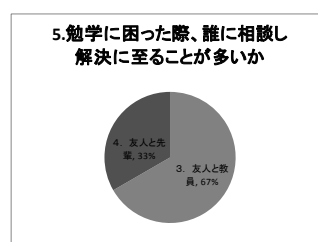
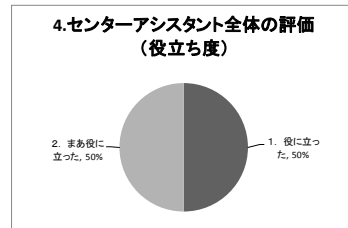
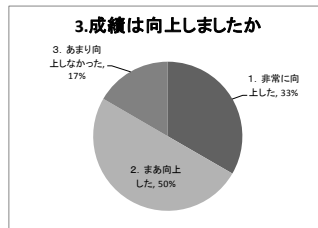
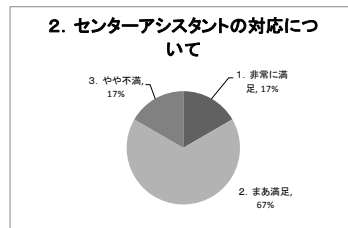
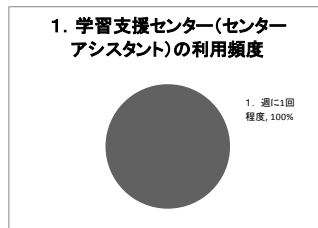
2. センターアシスタントの対応について		
	人数	%
1. 非常に満足	1	17%
2. まあ満足	4	67%
3. やや不満	1	17%
4. 非常に不満	0	0%

3. 成績は向上しましたか		
	人数	%
1. 非常に向上した	2	33%
2. まあ向上した	3	50%
3. あまり向上しなかった	1	17%
4. まったく向上しなかった	0	0%

4. センターアシスタント全体の評価(役立ち度)		
	人数	%
1. 役に立った	3	50%
2. まあ役に立った	3	50%
3. あまり役に立たなかった	0	0%
4. 役に立たなかった	0	0%

5. 勉学に困った際、誰に相談し解決に至ることが多いですか		
	人数	%
1. 友人	0	0%
2. 友人とセンターアシスタント	0	0%
3. 友人と教員	4	67%
4. 友人と先輩	2	33%
5. 教員	0	0%

6. 「学習支援センター」を利用した全体としての満足度		
	人数	%
1. たいへん満足	2	33%
2. 満足	4	67%
3. 満足していない	0	0%
4. まったく満足していない	0	0%



【全体結果】



7. 学習支援センター主催のステップアップ講座について

学生の学習支援としてのニーズに応えるため、高等学校国語科教員や本学の専任教員、兼任講師及び学習支援センターアドバイザーにより、「国語力アップ講座」、「理学療法士に必要な物理学講座」、「レポートの書き方講座」など多彩な学習関係の講座を開講した。

1) 数学力アップ講座について

永瀬センターアドバイザーより数学に関する講習を実施した。

	日時	場所	タイトル	参加者数
第1回	平成25年4月11日(木) 18:00~19:00	東棟102教室	やり直し数学講座	5名
第2回	平成25年5月11日(木) 18:00~19:00	東棟102教室	やり直し数学講座	2名
第3回	平成25年6月6日(木) 18:00~19:00	東棟102教室	やり直し数学講座	0名
第4回	平成25年7月4日(木) 18:00~19:00	東棟102教室	やり直し数学講座	1名
第5回	平成25年10月3日(木) 18:00~19:00	東棟102教室	やり直し数学講座	0名
第6回	平成25年11月7日(木) 18:00~19:00	東棟102教室	やり直し数学講座	1名
第7回	平成25年12月5日(木) 18:00~19:00	東棟102教室	やり直し数学講座	0名

2) 授業の聞き方講座について

高橋アドバイザーより授業の聞き方講座を実施した。

	日時	場所	タイトル	参加者数
第1回	平成25年4月17日(水) 18:00~19:00	東棟102教室	授業の聞き方講座	3名
第2回	平成25年4月24日(水) 18:00~19:00	東棟102教室	授業の聞き方講座	2名
第3回	平成25年5月8日(水) 18:00~19:00	東棟102教室	授業の聞き方講座	0名
第4回	平成25年6月12日(水) 18:00~19:00	東棟102教室	授業の聞き方講座	2名
第5回	平成25年6月26日(水) 18:00~19:00	東棟102教室	授業の聞き方講座	0名
第6回	平成25年7月10日(水) 18:00~19:00	東棟102教室	授業の聞き方講座	0名

3) 理学療法士に必要な物理学講座について

角田センターアドバイザーより理学療法に必要な物理学について講習を実施した。

	日時	場所	タイトル	参加者数
第1回	平成25年4月18日(木) 18:00~19:00	東棟102教室	理学療法に必要な物理学	4名
第2回	平成25年5月9日(木) 18:00~19:00	東棟102教室	理学療法に必要な物理学	3名
第3回	平成25年6月20日(木) 18:00~19:00	東棟102教室	理学療法に必要な物理学	2名

運動学の理解に必要な範囲での力学、特に「てこ」について

4) 国語講座について

前川アドバイザーより国語講座を実施した。

	日時	場所	タイトル	参加者数
第1回	平成25年4月19日(金) 18:00~19:00	東棟102教室	国語講座	3名
第2回	平成25年5月17日(金) 18:00~19:00	東棟102教室	国語講座	3名
第3回	平成25年5月31日(金) 18:00~19:00	東棟102教室	国語講座	1名
第4回	平成25年6月7日(金) 18:00~19:00	東棟102教室	国語講座	1名
第5回	平成25年6月21日(金) 18:00~19:00	東棟102教室	国語講座	3名

5) ノートの取り方講座について

高橋アドバイザーよりノートの取り方講座を実施した。

	日時	場所	タイトル	参加者数
第1回	平成25年5月22日(水) 18:00~19:00	東棟102教室	ノートの取り方講座	3名

6) 配布資料のファイリング講座

来栖アドバイザーより配布資料のファイリング講座を実施した。

	日時	場所	タイトル	参加者数
第1回	平成25年5月21日(火) 18:00~19:00	東棟102教室	配布資料のファイリング講座	4名
第2回	平成25年6月11日(火) 18:00~19:00	東棟102教室	配布資料のファイリング講座	6名
第3回	平成25年7月2日(火) 18:00~19:00	東棟102教室	配布資料のファイリング講座	5名

⑥ レポートの書き方講座

森川・澤田アドバイザーよりレポートの書き方講座を実施した。

	日時	場所	タイトル	参加者数
第1回	平成25年5月23日(木) 18:00~19:00	東棟102教室	レポートの書き方講座	20名
第2回	平成25年6月27日(木) 18:00~19:00	東棟102教室	レポートの書き方講座	5名
第3回	平成25年9月26日(木) 18:00~19:00	東棟102教室	レポートの書き方講座	0名
第4回	平成25年10月24日(木) 18:00~19:00	東棟102教室	レポートの書き方講座	5名
第5回	平成25年11月28日(木) 18:00~19:00	東棟102教室	レポートの書き方講座	0名

17. 附属図書館の動向について

(1) 平成25年度事業計画事項状況の報告

平成25年度は看護学科が3学年になり、全体の学生数の増加に加え図書館を日常的に利用する学生が多くなってきている。それに伴い、絶対的なスペースの不足が生じている。また蔵書のスペースも少なく、一般書を書架から外して専門書のスペースにすることも止むを得ない状況となっている。以前からの懸案である絶対的なスペース不足と開館時間の延長、この2件に関しては次年度持越しとなり、実現は平成26年度となる。増改築計画では2階建て書架で収容量が倍増、また、スタッフを増員して開館時間午前8時～午後8時30分が可能となる。平成25年度はそれらの準備段階だったと言える。

また校友会からの図書の寄贈もありがたく、蔵書の内容も国試対策を中心に充実してきている。

(2) 平成25年度 図書館の状況報告

1) 図書館サービスについて

①開館日数と開館時間数

平日 8:00～19:30 / 土曜日 11:00～17:00 (※休日はオープンキャンパス等)

	平日	土曜	休日※	合計
開館日数(日)	235	43	3	281
開館時間数(時間)	2,703	258	18	2,979

②入館者数

H19年度	H20年度	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度
測定せず	28,141	49,233	72,126	79,346	72,034	63,759

(単位 人)

③貸出状況

	H19年度	H20年度	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度
教員	350	1,134	1,081	1,056	1,539	1,576	2,167
学生	888	3,150	6,670	10,520	10,157	9,104	10,318
校友会員	0	6	10	32	435	560	325
その他	0	0	1	5	8	0	6
計	1,238	4,290	7,762	11,613	12,139	11,240	12,816

(単位 冊)

④予約貸出・購入希望・複写

	H19年度	H20年度	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度
貸出予約(冊)	19	60	113	170	260	62	66
購入希望(冊)	7	93	135	58	55	10	20
館内コピー(枚)	1,529	3,540	17,441	32,030	11,860	21,700	14,659

⑤-1 レファレンス件数

	H19年度	H20年度	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度
教員	4	60	62	75	85	93	54
学生	1	173	448	546	451	614	260
計	5	233	510	621	536	707	314

※平成24年度までは毎年増加傾向にあったが、平成25年度は激減した。次の内訳件数の表から、所在調査や利用指導の減少が顕著にみられ、学生がOPAC検索やデータベース検索で自ら資料を入手する傾向が読み取れた。これはガイダンスの効果が現れた結果の減少と考えられる。

⑤-2 レファレンスの内訳

	H19年度	H20年度	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度
文献所在調査		158	284	328	275	317	141
事項調査		36	59	46	43	77	22
検索方法							46
利用指導		31	112	159	167	271	56
その他		8	55	88	51	42	49
計		233	510	621	536	707	314

⑥相互利用

		H19年度	H20年度	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度
文献複写	依頼	33	169	391	498	468	468	693
	受付	1	26	61	62	76	76	116
相互貸借	依頼	0	3	1	4	0	0	0
	受付	0	0	0	1	4	4	8
相互利用	依頼	0	0	0	1	0	0	0
	受付	0	2	0	1	0	0	0

※平成25年度よりリンクリゾルバ SFX を導入し、図書館への文献複写依頼のメールが自動的に作成できるようになったため、文献複写の依頼件数が急増した。また、NACSIS-ILL 参加館情報にサービスの詳細を追加したため、他館からの複写依頼件数も増加の傾向にある。

⑦学外利用者

		H19年度	H20年度	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度
学外利用者の来館数		9	75	90	78	561	549	371
内訳	大学卒業生	0	0	0	0	516	530	353
	専門学校生	3	4	17	5	7	5	4
	専門学校卒業生	0	0	2	12	0	0	2
	一般・実習先職員等	6	71	71	61	38	14	12
学外利用者への貸出数		0	2	8	25	284	402	331
内訳	校友会員	0	2	8	25	284	402	328
	実習先職員等	0	0	0	0	0	0	3
学外からの照会件数		4	10	17	6	6	22	6

⑧データベース

(文献ダウンロード件数)

	H19年度	H20年度	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度
メディカルオンライン		43	275	540	967	1,546	8,138
CiNii(サイニイ)			117	168	435	453	517
CiNAHL(シナール)					39	86	123
計	0	43	392	708	1,441	2,085	8,778

※メディカルオンラインは、平成24年度後期からフリーアクセス契約となり利用件数が激増した

2) 図書館資料の所蔵状況

①図書

項目		H19年度	H20年度	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	
登録図書(冊数)		4,814	6,419	7,474	11,697	14,667	16,345	19,423	
内訳	うち購入図書	3,336	4,366	4,886	6,006	7,810	8,915	11,508	
	内訳	和書	2,784	3,736	4,229	5,312	6,399	7,146	9,461
		洋書(中国語含)	465	473	487	520	549	666	638
		製本雑誌	0	0	0	0	464	660	904
		視聴覚資料	87	157	170	174	398	443	505

	うち寄贈図書	1,478	2,053	2,588	5,691	6,857	7,430	7,915	
	内訳	和書	1,433	1,994	2,485	5,368	6,530	7,097	7,581
		洋書(中国語含)	9	13	15	100	104	104	113
		製本雑誌	10	16	35	35	35	41	33
		視聴覚資料	26	30	53	188	188	188	188

②雑誌

項目		H19年度	H20年度	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	
受入雑誌総タイトル数		91	110	135	153	233	260	336	
内訳	購入雑誌タイトル数	48	55	53	63	100	104	102	
	内訳	和雑誌	36	43	41	50	74	75	73
		洋雑誌	12	12	12	13	18	18	19
		電子ジャーナル	0	0	0	0	8	11	10
	寄贈雑誌タイトル数		43	55	82	90	133	156	234
	内訳	和雑誌	36	47	72	79	123	143	208
洋雑誌		7	8	10	11	10	13	26	
データベース		1	2	3	3	5	5	5	

3) 図書館の活動状況

①学内の活動状況

日程	概要	場所
4月	新学年オリエンテーション	各教室
4月～5月	図書館利用ガイダンス(1年生学習方法論)	東401、図書館
4月～5月	OPAC・文献検索ガイダンス(1年生学基礎ゼミ)	東401、図書館
6月	文献検索ガイダンス中級(医中誌 Web)	東401
7月	第11回ブックハンティング	MARUZEN ジュンク堂
7月～8月	教員対象雑誌アンケート(メール)	
9月～10月	指定図書・推薦図書の案内	
11月	第12回ブックハンティング	MARUZEN ジュンク堂
12月	学生対象利用者アンケート	
3月	蔵書点検(3/24～3/28)	図書館

③学外での活動状況

日程	概要	場所
5月24日	私大図協 西地区 2013年度第1回阪神地区定期総会	流通科学大学
6月18日	私大図協 西地区阪神地区相互利用担当者会議	太成学院大学
6月25日	サンメディア 第9回学術情報ソリューションセミナー	ヒルトンプラザウエスト オフィスタワー8F
7月26日	私大図協 西地区 2013年度第1回京都地区協議会研究会	メルパルク京都
8月9日	私大図協 西地区 2013年度第1回阪神地区研究会	三宮研修センター
8月10日 -2日	第44回大学図書館問題研究会全国大会	つくば国際会議場
8月27日	ブレインテック「情報館」短期集中セミナー	協和テクノロジズ大阪本社
9月6日	丸善 学術情報ソリューションセミナー	ラマダホテル大阪 2F 大淀の間
9月11日	丸善 大学職員向けワークショップセミナー	大阪大学中之島センター 404 会議室
10月18日	医図協 平成25年度医図協・薬図協・近畿病院図協共催シンポジウム	大阪市大医学情報センター
10月29日 -31日	第15回図書館総合展	パシフィコ横浜
11月6日 -8日	第20回医学図書館研究会・継続教育コース	九州大学病院キャンパス 総合研究棟

12月19日 -20日	平成25年度レファレンス研修	国立国会図書館関西館
3月11日	私大図協 西地区阪神地区 第4回学習支援プロジェクト研修	武庫川女子大学附属図書館 (中央図書館)

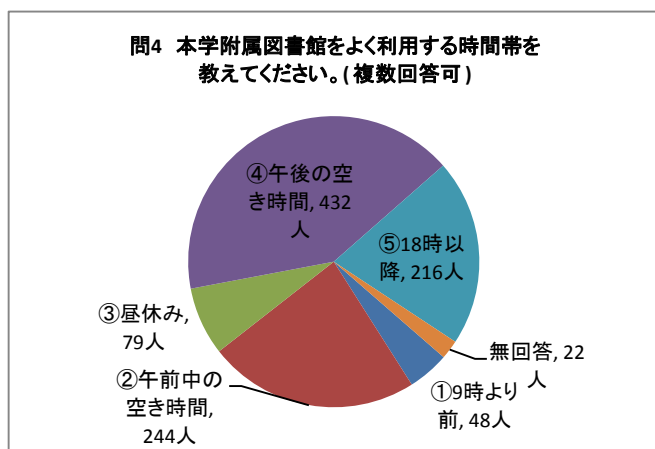
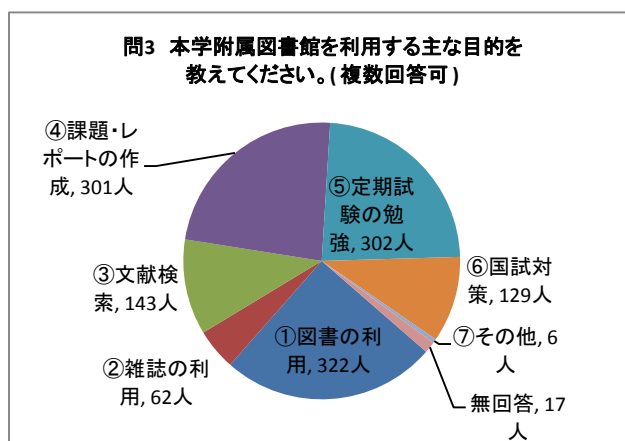
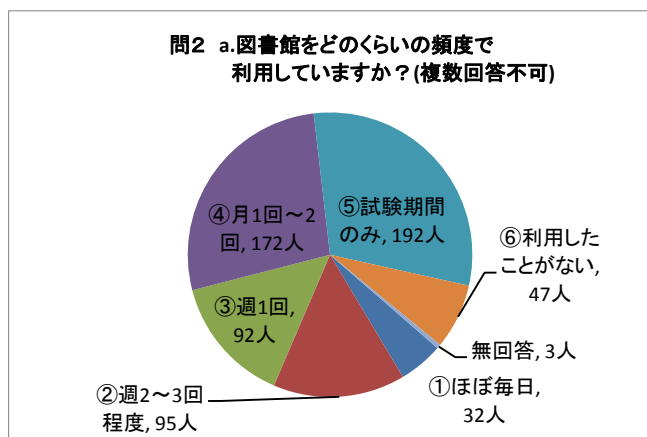
4) 図書館アンケート結果 (抜粋)

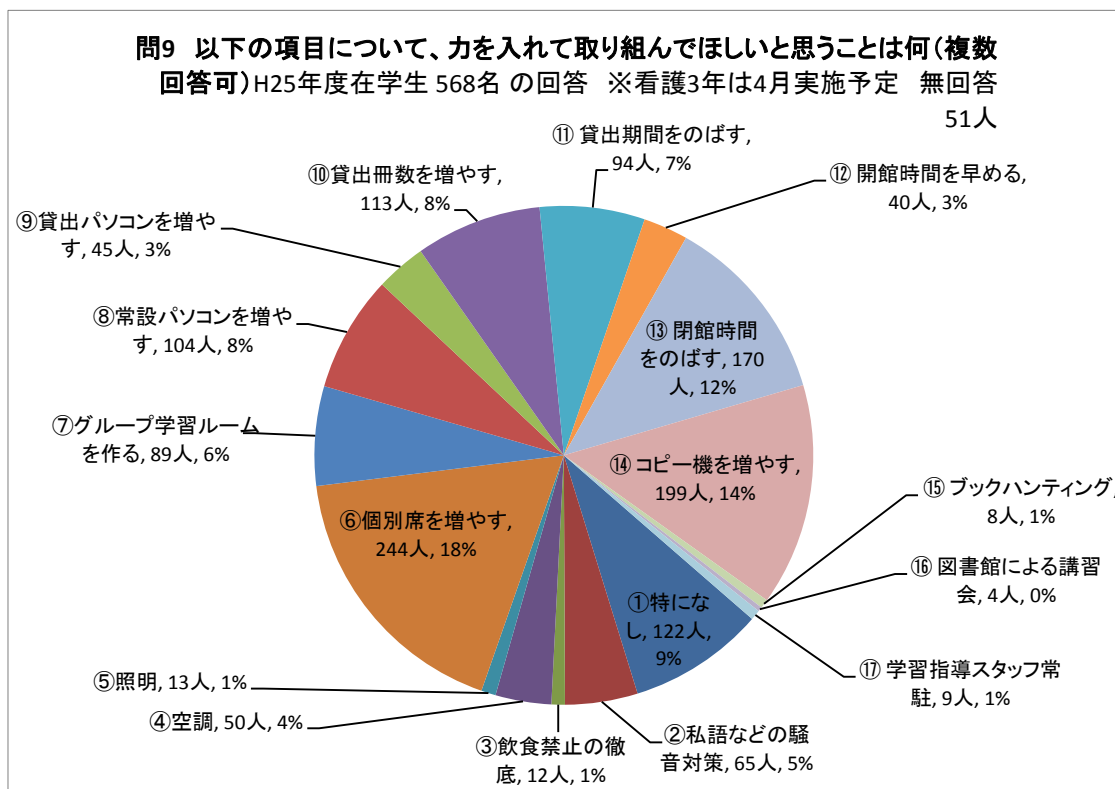
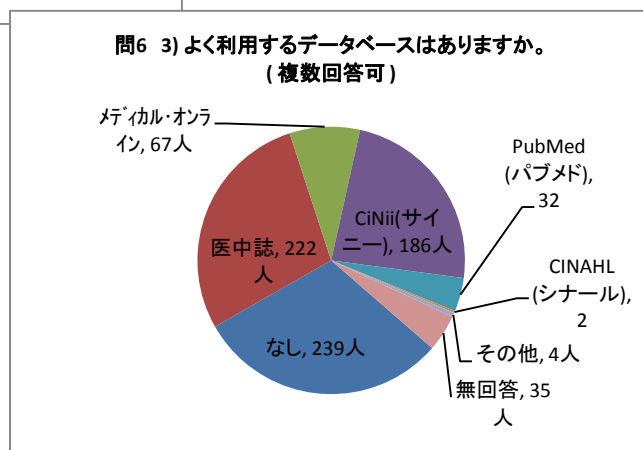
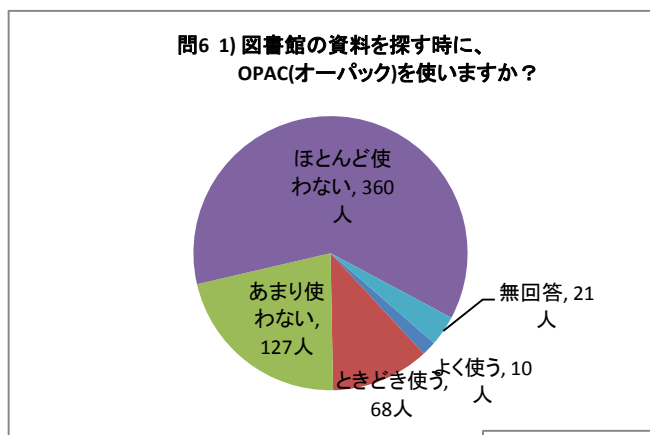
実施：平成25年12月24日～平成26年1月17日

対象：学部生・院生 (745名)

回答：633名 (回収率85%)

以下、集計結果をグラフ化する





アンケートから読み取れる学生の要望から、開館時間の延長、貸出用及び常設パソコンの増設、パソコンの動作環境の改善等課題が見えてくるので、今後の部門方針策定に活かしていく。尚、図書館資料がわかりやすく配置されているかという質問に 462 名 (79%) がわかりやすいと回答し、職員の対応に対しては 496 名 (84%) が満足と回答する等、学生の図書館に対する満足度は高い。

18. 森ノ宮医療大学 附属鍼灸施術所(はり・きゅうコスモス治療院)について

1. 組織

鍼灸師免許を有する鍼灸学科専任教員および技術職員、研究員、卒後研修生がローテーションで、鍼灸施術を行った。施術者の内訳は、鍼灸学科教授5名(坂本、澤田、仲西、鍋田、山下)、准教授1名(松熊)、講師3名(辻丸、増山、涌田)、助教1名(辻)、助手1名(高崎)、技術職員1名(紀野)、研究員2名(天野、大月)、卒後研修生4名(中村、清水、森木、大川)である。人員配置の平均は1日3.6名で実施した。

2. 施術時間および料金体系

施術時間

曜日	施術時間		
	10時～12時	13時～16時	
		12時～15時	16時～18時
月(学生実習)	辻丸、仲西	辻丸、坂本	
火(学生実習)	辻丸、鍋田	辻丸、鍋田、澤田	
水(大学院生実習)	山下、松熊	山下、増山、松熊	
木	(涌田、紀野)、高崎	涌田、辻丸、辻、(湧田、高崎)	
金(学生実習)	坂本、(涌田、増山)	(涌田、増山)、辻	

実習協力料金の設定：臨床実習への協力を承諾した上記(2)(3)の患者は1,500円

提携施設・団体：近隣で社会的連携が緊密になると予想される、あるいは患者紹介をさせていただけるような施設や団体などを提携施設・団体として施術料の優遇を行っている。現在指定した施設・団体は以下のとおり。

近鉄ビルサービス 悦(株式会社ガイア)
 リバーガーデン ローレルスクエア大阪ベイタワー
 山口コスモデンタルクリニック 全労災大阪府本部
 関西インターメディア(FM COCOLO) NTTドコモ
 シーサイドレジデンスコスモスクエア咲洲

3. 主な宣伝活動

大学正面玄関の看板、大学ホームページ、学園校友会報への掲載などを行った。

4. その他の活動

咲洲ウォーキング、大阪府立急性期・総合医療センター「ふれあい病院探検隊」、市民参加型のイベント「大阪ヘルスジャンボリー」に鍼灸治療ブースを開設し、鍼灸治療に対する啓発を行った。

IV. 学校法人森ノ宮医療学園附属診療所 平成25年度事業報告書

1. 業務日程

●みどりの風クリニック

- ①診療日数 243日
- ②休診日
 - 休日・祝日 67日
 - 土曜休診日(第1, 3土曜日) 23日
 - 木曜休診日(第2, 4木曜日) 24日
 - 夏季休診日 4日(8月13日～16日)
 - 年末年始休診日 6日(12月29日～1月3日)
- ③職員健康診断
- ④専門学校学生検診
- ⑤日本東洋医学会
- ⑥日本肩関節学会
- ⑦日本関節鏡・膝・スポーツ整形外科学会
- ⑧毎月第4(or第5)土曜:クリニック・鍼灸院定例会議
- ⑨柔道整復学科臨床実習(昼間部・夜間部)
- ⑩みどりの風クリニック・鍼灸院 新卒者研修会(3月9日)

●みどりの風鍼灸院

- ①診療日数 240日
- ②休診日
 - a) 日曜・祝日 67日
 - b) 土曜休診日(第1・第3) 23日
 - c) 木曜休診日(第2・第4) 24日
 - d) 夏期休診日 4日(8/13～8/16)
 - e) 年末年始休診日 6日(12/29～1/3)
 - f) 全日本鍼灸学会:九州福岡大会 2日(6/7・6/8)
- ③全日本鍼灸学会九州大会(福岡県):3日間(平成25年6月7日～9日)
- ④日本臨床鍼灸懇話会全国集会(大阪大会):2日間(平成25年10月19日、20日)
- ⑤みどりの風鍼灸院「東洋医学基礎ゼミ」
(専門学校2・3年対象:H25年10月4, 11, 18, 25日、H26年1月10, 17, 24, 31、2月7日)
- ⑥毎月第4土曜:クリニック・鍼灸院合同定例会議
- ⑦隔月:みどりの風クリニック・鍼灸院、漢方専門医師と鍼灸師による勉強会
- ⑧専門学校鍼灸学科臨床実習(午前コース・昼間コース・医療資格者コース・夜間コース)

2. 診療体制について

● みどりの風クリニック診療体制

標榜科

内科：一般内科・漢方内科・心療内科

整形外科：整形外科・リハビリテーション科

休診日(日曜・祝日・第1, 3土曜日、第2, 4木曜日) 内科、水曜日午後診予約制

診療受付時間	月	火	水	木	金	土
午前 9:00～11:00(内科、整形)	○	○	○	○	○	○
午後 1:30～ 4:30(内科)	○	○	○	○(整形も)	○	×
夜間 4:30～ 7:30(整形)	○	○	○	×	○	×

● みどりの風鍼灸院施術体制

受付時間	月	火	水	木	金	土
午前診 9:00～11:00	○	○	○	○	○	○
午後診 1:30～4:00	○	○	○	○	○	×
夜間診 4:30～7:30	○	○	○	×	○	×
休 診 日	日曜日、祝日、第1・3土曜日、第2・4木曜日					

3. 平成25年度患者動向について

● みどりの風クリニック

患者総数は28,376人(前年度26,178人)で、前年比は108.4%であった。内訳は内科7,857人(前年度7,803)、整形外科20,519人(前年度18,375人)となっている。初診患者数は3,251人で、初診率(初診患者数の割合)は11.5%(前年度11.0%)であった。内訳は内科980人(同:14.3%)、整形外科2,271人(同:11.1%)である。

● みどりの風鍼灸院

平成25年度の年間利用患者総数は4,141人(月平均345.1人)となる。前年の3,908人(月平均325.7人)と比べて233人(6.0%増)と患者数は増加した。新患者数は109人で前年の142人と比べて33人(23.2%減)減少となる。1日平均利用者は17.3人で前年の16.2人と比べて1.1人(6.4%増)増加した。

4. 平成25年度収入動向について

● みどりの風クリニック

平成25年度の保険診療報酬売上収入(予定)は141,571,330円(前年130,804,188円)で、内訳は内科44,330,580円(前年43,624,442円)、整形外科97,240,750円(前年87,179,766円)である。その他、事故・労災等の自費診療収入(見込み)が14,704,028円となっている。

● みどりの風鍼灸院

平成25年度の年間利用患者総数は4,141人(月平均345.1人)となる。前年の3,908人(月平均325.7人)と比べて233人(6.0%増)と患者数は増加した。新患者数は109人で前年の142人と比べて33人(23.2%減)減少となる。1日平均利用者は17.3人で前年の16.2人と比べて1.1人(6.4%増)増加した。

●その他の収入

平成25年度の臨床実習収入は、クリニック1,372,000円、鍼灸院17,000,000円であった。健康診断による収入は6,192,000円であった。

5. 主な支払について

●みどりの風クリニックの主な支出

平成25年度クリニックにおける支出の中で予算外の支出は特になかった。

●みどりの風鍼灸院材料費

平成24年度の鍼灸院施術消耗品費は1,261,369円で予算案1,300,000円と比較して38,631円(3.0%減)減となった。

V. 学校法人森ノ宮医療学園出版部 平成25年度事業報告書

1. 概況報告

平成25年度は部員2名体制のなか、看板雑誌である『鍼灸 OSAKA』4号の発行をはじめ、自らのミッション遂行を第一に業務に取り組んだ。結果としては、年間売上額が示すように、達成率は80%に留まった。この数字に関しては、年度当初に企画した書籍の発行が次年度へ持ち越しとなったことが大きく影響していると推察する。

売上を具体的に見ると、その推移が4.月別売上に如実に現れているように、50万円未満の月が2月、その他24年度と比してマイナスとなっている月も多い。大手出版社においても書籍の売上減少が声高に叫ばれて久しいが、ここにきてそれを実感するものである。大手では、コマ（書籍の種類）数を増やすことで、乗り切っているとのことであるが、東洋医学、なかでも鍼灸という限られたマーケットに限定されないものなど書籍に多様性を持たせることが必要と思われる。さらに既刊本においても重版するものが多く、ある意味需要を満たしつつあることも考えられ、内容刷新に留まらず新企画も要検討事項と思われる。また『鍼灸 OSAKA』の定期購読者数が下げ止まりの観があり、それを脱却すべく部内で企画等検討する必要性もある。

その他、制作・編集としては、校友会報2号は、専門学校・大学教職員の協力の下、無事納品することができた。教科書販売・参考図書販売も昨年同様無事遂行した。大学・専門学校図書室（館）図書の販売は昨年より微増となった。図書館書籍については、昨年同様、収蔵スペースという根本的課題が言及されており、出版部としても必要書籍の順調な購入と閲覧を含めた法人としての検証検討を期待している。

次年度については、継続となっている企画の実行を第一に、『鍼灸 OSAKA』の新購読者獲得、その他提案いただいた企画内容を十分に検討して出版活動に取り組んでいく所存である。またイベント等としては、昨年発行した『鍼灸 OSAKA』110号に掲載した「モクサアフリカ」の記事を契機に、26年度全日本鍼灸学会愛媛大会をはじめ、本学（大学・専門学校）および他校で講演会が開催される。鍼灸界を1つに結び付ける画期的な取り組みとして今後も、東洋医学の普及発展に寄与するとともに、医療界をボーダレスとする出版ならではの企画を提案していきたい。また、本学のPRとしては、グランフロントで行った「アロマ講座」などを好例として広報および各学科との協働によるセミナー等にも可能な限り取り組んでいきたい。

2. 制作・出版物報告

1) 「鍼灸 OSAKA」の発行（109～112号 各1800部 発行）

No	発行日	特集
第109号	2013/5/31 発行	がんへのアプローチ
第110号	2012/9/20 発行	鍼灸とコンセプトデザイン
第111号	2013/12/13 発行	お灸の再生
第112号	2013/03/10 発行	鍼灸院に求めるスタンダードとは

2) 編集・制作

* 「校友会報」（年2回 No. 11 No. 12）

3) 次年度継続制作中の出版物タイトル

* 『中国針灸学術史大綱』（黄龍祥著 日本語訳）：第1部翻訳完了・校正進行中

- * 『はりきゅう Q&A』(森ノ宮医療学園出版部編)
- * 『ポケット鍼灸臨床ガイド iphone アプリ版』：一部進行中
- * 『ツボ暗記カード 他言語(ポルトガル語等) iphone アプリ版』：依頼中
- * 『鍼灸 OSAKA 絶版号のデジタル版』：準備中(デジタル化済み)
- * 『経絡経穴取穴 Study』：編集制作中
- * 『フェルデンクライスメソッド・顎編 CD』：制作中

3. 平成25年度事業計画進捗状況

	24年度計画制作物・事業	実績・進捗状況	
季刊誌	鍼灸 OSAKA109	発刊	了
季刊誌	鍼灸 OSAKA110	発刊	了
季刊誌	鍼灸 OSAKA111	発刊	了
季刊誌	鍼灸 OSAKA112	発刊	了
書籍販売	教科書販売	予定通り完了	了
書籍販売	図書図書販売	予定通り完了	了
単行本	中国針灸学術史大綱第1巻 (翻訳)	26年度に校了予定	継続
単行本	はりきゅう Q&A	26年度に出版予定	継続
単行本	経絡経穴取穴 Study	26年度に出版予定	継続
CD	フェルデンクライスメソッド顎編	26年度に出版予定	新
デジタル	ツボ暗記カードアプリ他言語(ポルトガル語等)版	26年度出版予定	継
デジタル	鍼灸 OSAKA 絶版号	26年度発売予定	継
デジタル	鍼灸臨床ポケットガイド アプリ	25年度出版予定	継

● 書店訪問・営業

学会出展時に開催地を中心として、時間的余裕に応じてその近郊書店を訪問し、出版部発行書籍のPRを行っている。また、新刊発行予定についても、取次書店担当者はもちろん、各小売書店の医学書担当者と対面して事前PRすることで、発行時に委託等注文がスムーズ得られる。

〔取扱書店一覧〕

WEB書店

Amazon
Fujisan (鍼灸 OSAKA のみ)
紀伊国屋 BookWEB 7&I
メテオメディカルブックセンター YAHOO! ブックス など

店舗

北海道	MARUZEN&ジュンク堂書店札幌店 蔦屋書店函館店 丸善札幌南一条店 ジュンク堂書店旭川店	岐阜県	喜久屋書店・大垣店
岩手県	MORIOKATUTAYA	三重県	ワニコ書店
宮城県	アイエ医書センター 丸善・仙台アエル店 ジュンク堂書店・仙台店	京都府	紀伊國屋書店・京都御池店 ジュンク堂書店・京都店 ジュンク堂書店・京都 BAL 店
福島県	八重洲ブックセンター・郡山店		アバンティブックセンター
栃木県	大学書房メビウス	大阪府	紀伊國屋書店・梅田本店
群馬県	喜久屋書店・太田店		紀伊國屋書店・本町店

千葉県	三省堂書店・そごう千葉店 丸善・津田沼店 宮脇書店・印西牧の原店	ジュンク堂書店・大阪本店 ジュンク堂書店・難波店 関西医書
東京都	三省堂書店・神保町本店 文進堂 東方書店 亜東書店 いざわ書林 燎原書店 新樹社書林 丸善・本店 八重洲ブックセンター・本店 有隣堂・渋谷医学書センター 旭屋書店・池袋店 ブックファースト渋谷店 紀伊國屋書店・本店 紀伊國屋書店・新宿南口店 ジュンク堂書店・池袋店 たにぐち書店 オリオン書房・ノルテ店	丸善・なんばOCAT店 神陵文庫・大阪支店 田村書店・千里中央店 神陵文庫・本社 ジュンク堂書店・三宮店 ジュンク堂書店・三宮駅前店 ジュンク堂書店・姫路駅前店 島根県 岡山県 泰山堂書店 泰山堂書店・鹿田店 丸善・シンフォニービル店 喜久屋書店・倉敷店
兵庫県		井上書店 井上広文館 フタバ図書・TERA 医書
島根県		徳島県
岡山県		久米書店 久米書店・医大前店
広島県		香川県
徳島県		宮脇書店・本店 宮脇書店カルチャースペース 宮脇書店・南本店
香川県		愛媛県
愛媛県		丸三書店
福岡県		福岡県
丸善・福岡ビル店 紀伊國屋書店・福岡本店 紀伊國屋書店・福岡天神店 ジュンク堂書店・福岡店 喜久屋書店・小倉店		長崎県
長崎県		紀伊國屋書店・長崎店
新潟県		大分県
富山県		ジュンク堂書店・大分店
石川県		鹿児島県
静岡県		ジュンク堂書店・鹿児島店
愛知県		沖縄県
大竹書店 丸善・名古屋栄店 三省堂書店・高島屋店		考文堂
		韓国
		釜山 栄光図書